

SEA-DOO®



2017 オペレーターズ ガイド

安全性、ウォータークラフトおよび
メンテナンスに関する情報



SPARK® シリーズ

警告

このガイドをよくお読みください。
重要な安全情報が記載されています。
推奨されるオペレーターの最低年齢: 16才。
このオペレーターズガイドはウォータークラフトに保
管してください。

2 1 9 0 0 1 9 3 5 _ J A

初版取扱説明書の翻訳

警告

本オペレーターズガイド、セーフティビデオおよび製品に貼付されているセーフティラベルの安全にかかわる予防措置や注意事項の遵守を怠ると、死亡の可能性を含む人身事故の原因となる場合があります！

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

警告

本製品は、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害、または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品を含んでいます。



カナダの製品代理店は、ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ (BRP) です。

米国内の製品代理店はBRP US Inc.です。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその関連会社に帰属します：

ACETM

iBR™

iTC™

Rotax®

SPARK™

D.E.S.S.™

iControl™

O.T.A.S.™

Sea-Doo®

XPS™

はじめに

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

新しいSea-Doo®パーソナル・ウォータークラフト(PWC)をご購入いただき、ありがとうございます。本製品のサポートは、BRPの保証サービス、お客様が必要とされる部品、サービスやアクセサリを取りそろえているSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの認定ディーラー・ネットワークが行っています。

各ディーラーとも、お客様が満足されるように努めています。ディーラーは、初期調整やウォータークラフトの点検を行うためのトレーニングを受けており、お客様が本製品を所有される前の最終調整も行っています。詳しいサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

納入時に、お客様に保証範囲をお知らせし、新しいウォータークラフトがご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト(PREDELIVERY CHECK LIST)にご署名を頂いています。

乗車前に確認すべきこと

お客様や他の乗員が負傷したり死亡する危険の回避方法を学ぶために、ウォータークラフトの操作前に以下のセクションをよくお読みください。

- 安全に関する情報
- ウォータークラフトについての情報

ウォータークラフトに貼付されているすべてのセーフティラベルを熟読のうえ理解し、セーフティビデオを注意深く視聴してください。

『オペレーターズガイド』の指示内容に従わない場合は、重傷や死亡事故を招く恐れがあります。

BRPでは、お客様に安全な航路を取っていただくよう注意を促しています。お客様の地域のディーラーまたは地元の監督官庁などにご確認ください。

地域によっては、プレジャーボートを操縦するために、オペレーター能力カードの所有が義務付けられています。

警告

これまでにも操作された他のPWCの性能を上回っている可能性があります。このPWCについてよく理解してください。


安全上の警告


この『オペレーターズガイド』では、特定の情報を強調するために次のような警告記号と文章を使用しています。

安全警告記号△は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

警告

この指示に従わない場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあることを示しています。

 **注意** 指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く潜在的な恐れがあることを示します。

 **注記** 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品やその他に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

『オペレーターズガイド』は、このパーソナル・ウォータークラフトとそのさまざまな操作、メンテナンス、そして安全な乗船のための注意事項について、オーナー/オペレーターあるいは同乗者の方によく知っていただくために作成されています。

この『オペレーターズガイド』はウォータークラフトとともに保管し、通常の操作、他の人員の指導、メンテナンスおよびトラブルシューティングの際に参照してください。

本ガイドは、各言語に翻訳されています。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、ウェブサイト www.operatorsguides.brp.com にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドに記載の説明または仕様との間に差異が生じる場合があります。BRPは何らの義務を負うことなく、いかなるときでも製品の仕様、設計、機能、型式、装置などを変更したり、製造を終了する権利を留保します。

ウォータークラフトを売却する場合も、この『オペレーターズガイド』および安全性DVDは必ずウォータークラフトに搭載しておいてください。

目次

はじめに.....	1
乗車前に確認すべきこと.....	1
安全上の警告.....	2
このオペレーターズガイドについて.....	2

安全に関する情報

一般的な注意.....	8
一酸化炭素中毒の防止.....	8
ガソリンによる火事や危険などの防止.....	8
高温部分による火傷の防止.....	8
アクセサリーおよび改造.....	8

特別な安全メッセージ.....	9
安全な運転に関して覚えておくこと.....	9
ウォータースポーツ(ウォータークラフトによる曳航) (3UPモデルのみ).....	12
低体温.....	14
安全な航路.....	15

アクティブテクノロジー(iCONTROL).....	16
はじめに.....	16
iTC (インテリジェントスロットルコントロール).....	16
iBR (インテリジェントブレーキおよびリバース) (iBR付きモデル).....	17

安全器材.....	18
必要な安全器材.....	18
追加で推奨される装置.....	20

練習の実施.....	21
練習を行う場所.....	21
練習の実施.....	21
無視してはならない重要な要素.....	22

航行規則.....	23
運航規則.....	23

燃料.....	25
給油の手順.....	25
燃料に関する要件.....	26

トレーラーによる運搬情報.....	27
-------------------	----

重要な製品に貼付されたラベル.....	28
ウォータークラフトの警告ラベル.....	28
適合ラベル.....	33

乗船前の点検.....	37
ウォータークラフトを水に浮べる前に実施すべきこと.....	37
ウォータークラフトを水に浮べた後に実施すべきこと.....	41

ウォータークラフトについての情報

コントロール.....	44
1) ハンドルレバー.....	45
2) エンジンのスタート/ストップボタン.....	45
3) エンジンカットオフスイッチ.....	46
4) スロットルレバー.....	47
5) iBRレバー (インテリジェントブレーキおよびリバース) (iBR付きモデル).....	47

6) モードボタン.....	48
7) 可変トリムシステム (VTS) ボタン (TRIXX モデル)	48
多機能ゲージ (LCD)	49
多機能ゲージの説明.....	49
多機能ディスプレイの操作.....	51
求められ.....	52
1) グローブボックス.....	53
2) 安全器材キット用ストレージコンパートメント.....	53
3) ストレージビン (コンビニエンスパッケージ).....	54
4) シート.....	54
5) 同乗者のつかみ所.....	55
6) ボーディングステップ (コンビニエンスパッケージ).....	55
7) 乗降用プラットフォーム.....	56
8) フロントおよびリアのアイレット.....	56
9) ビルジドレンプラグ.....	57
10) スポンソン.....	57
11) リアフットレスト.....	57
12) 調整可能ハンドルバーライザー (TRIXX モデル)	57
慣らし期間.....	59
慣らし運転期間中の運転.....	59
使用上の諸注意.....	60
ウォータークラフトへの乗船.....	60
エンジンの始動方法.....	63
エンジンの停止方法.....	63
ウォータークラフトの操船方法.....	64
ニュートラルの入れ方 (IBR付きモデル).....	65
前進ギアの入れ方 (IBR付きモデル).....	65
リバースの入れ方および使用方法 (IBR付きモデル).....	65
ブレーキのかけ方および使用方法 (IBR付きモデル).....	66
可変トリムシステム (VTS) の使用方法.....	67
一般的な操作の推奨.....	69
動作モード (ROTAX 900 HO ACE).....	71
ツーリングモード.....	71
スポーツモード.....	71
特殊手順.....	74
ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃.....	74
IBR優先機能 (IBRを搭載しているモデルの場合).....	75
ウォータークラフトが転覆したとき.....	76
ウォータークラフトが水没したとき.....	77
エンジン内に水を吸い込んだとき.....	77
水上でのウォータークラフトの曳航.....	78
メンテナンス情報	
メンテナンスのスケジュール.....	80
メンテナンスの手順.....	83
エンジンオイル.....	83
エンジンクーラント.....	84
ステアリングアライメント.....	86
中央組織.....	86
バッテリー.....	91
イグニッションコイル.....	93

スパークプラグ.....	94
エキゾーストシステム.....	95
熱交換器およびウォーターインテークグレート.....	96
犠牲陽極.....	96
ヒューズ.....	97
ウォータークラフトのお手入れ.....	99
使用後のお手入れ.....	99
ウォータークラフトの清掃.....	99
保管、シーズン前の準備.....	100
保管.....	100
シーズン前の準備.....	102
技術情報	
ウォータークラフトの識別.....	104
船体識別番号.....	104
エンジン識別番号.....	104
エンジンメーカー識別表示.....	104
RF D.E.S.S. キー (該当する場合).....	105
エンジンの排出ガスに関する情報.....	106
製造者の義務.....	106
ディーラーの義務.....	106
オーナーの義務.....	106
EPA排出ガス規制.....	106
仕様.....	107
トラブルシューティング	
トラブルシューティングのガイドライン.....	112
モニタリングシステム.....	117
故障インジケータおよびメッセージ表示の情報.....	118
ブザーのコード情報.....	120
保証	
BRP限定保証-米国およびカナダ：2017SEA-DOO® パーソナルウォータークラフト パーソナル ウォータークラフト	124
米国 EPA 排出ガス関連保証.....	127
2017年型のSEA-DOO® パーソナルウォータークラフトに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定 パーソナルウォータークラフトに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定.....	129
BRP国際限定保証：2017 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト パーソナル ウォータークラフト.....	133
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルク向けBRP限定保証：2017SEA-DOO® パーソナルウォータークラフト パーソナルウォータークラフト.....	137

顧客情報

個人情報.....142
お客様窓口.....143
 北米.....143
 ヨーロッパ.....143
 オセアニア.....144
 南米.....144
 アジア.....144
住所と所有権の変更.....145

安全に関する情報

特別な安全メッセージ

安全な運転に関して覚えておくこと

このウォータークラフトは、これまでこのウォータークラフトの性能を大きく上回る性能を備えています。初めて運行する場合や同乗者を乗せる場合は、事前に『オペレーターズガイド』をよく読んで理解し、ウォータークラフトの制御や操船に十分慣れておくようにしてください。そのような機会が持てなかった場合は、他の遊泳者や水上交通のない場所を選んで1人乗りで練習をし、各操作装置の感覚や応答に慣れてください。アイドリング以上に回転を上げる場合は、事前にすべての操作装置の扱いに十分慣れるようにしてください。すべてのPWCの操縦性が同じであるとは限りません。操縦性はモデルごとに異なり、大きく異なる場合も少なくありません。

スロットルレバーをアイドルポジションに戻すと方向制御がしにくくなることを常に覚えておいてください。ウォータークラフトを旋回させるときは、ステアリングとスロットルの両方が必要です。障害物を回避しようとするときは、スロットルを離さないでください。操船にはスロットルが必要で、エンジンは停止すると、方向制御がまったくできなくなります。

大半のウォータークラフトにはブレーキはありませんが、テクノロジーの進歩によりiBRシステムと呼ばれるブレーキシステムを備えたモデルをご提供できるようになりました。他の交通がない安全な場所でブレーキ操作を練習して、ブレーキ動作時の取扱いや、様々な動作状況での停止距離に精通してください。

警告

停止距離は走行速度、積載荷重、風、乗員の人数や水面の状況などによって異なります。iBRレバー（インテリジェントブレーキおよびリバース）を使用するオペレーターが指令するブレーキ力の強さも停止距離に影響します。

ブレーキをかける場合、乗員は減速力に対して注意を払い、ウォータークラフト上で前に移動したり、バランスを失うのを防がなければなりません。

iBRを装備したウォータークラフトを操作する場合は、後続あるいは近くで動作している他のボートは同じように迅速には停止できないことに注意してください。

高速で航行していて初めてブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続のウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCをしばらく見失うことがあります。船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレータには、あなたのPWCのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、ウォータークラフト間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。

ウォータークラフトがかなりの速度で前進しているときにiBRコントロールレバーを動作させると、制動モードになり、iBRレバーのポジションに比例して減速します。iBRレバーを引っ張るほど、より大きな減速力が発生します。iBRレバーを徐々に動作させてブレーキ力を調整し、同時にスロットルレバーに戻すことに注意してください。

iBRシステムのブレーキ機能によって、PWCが流れや風により漂うのを防ぐことはできません。後方への速度には制動効果はありません。また、ブレーキを使用するにはエンジンが稼動していなければならないことにも注意してください。

ウォータークラフトのジェットスラストで負傷する恐れがあります。ジェットポンプが漂積物を巻き上げて後方へ飛ばし、人が負傷したり、ジェットポンプや他の部分に損傷を与える場合があります。

すべての警告ラベルの指示を順守してください。それらの指示は、安全で楽しい運行のために記載されています。

特に保管用に設計されていないエリアには、何も保管しないでください。

同乗者を乗せたり、チューブ、水上スキー、ウェイクボードを曳航するとPWCのハンドリングは変化し、より高い技量が求められます。

すべてのPWCモデルには水上スキー、チューブまたはウェイクボード用の引き綱を付けるのに使用できる、そしてトレーラー輸送時の係留用および固定ポイントとして使用できる曳航用アイレットが装備されています。パラセイ

ルや他の船舶を牽引するために、これらの固定ポイントやウォータークラフトの他のどの部分も使わないでください。人の負傷や重大な損傷に至る恐れがあります。

内燃エンジンの運転には空気が必要です。したがって、このPWCを完全防水にすることはできません。連続した急旋回、波を通して船首を激しく上下させたり、ウォータークラフトを転覆させると、吸気口の開口が水没し、水の吸入による重大なエンジントラブルの原因になることがあります。この『オペレーターズガイド』の使用上の諸注意のサブセクションと保証のセクションを参照してください。

エンジン排気には一酸化炭素(CO)が含まれ、大量に吸入すると深刻な健康障害または死亡に至る場合があります。狭い場所でPWCを運転したり、係留中やラフティング中などは一酸化炭素(CO)がPWCの周囲や閉じた場所などに溜まらないようにしてください。他のPWCの排気による一酸化炭素(CO)の危険性に注意してください。

さらに、水域自体に関する知識も必要です。海流、潮流、早瀬、隠れた障害物、航跡や波などが、安全な運航に影響します。波が荒い場合や悪天候下でのウォータークラフトの使用は推奨できません。

水深の浅い場所では十分な注意を払い、ごく低速で走行してください。座礁や急激な停止は事故を招き、ウォータークラフトを損傷させます。また、水底の砂や異物がジェットポンプにより巻き上げられて後方へ飛ばされ、人や物に当たる恐れがあります。

テザーコードは常にオペレーターの救命胴衣(PFD)または手首(リストストラップが必要)につないでおくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレーターが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができます。ライディング後は、子供や他の人がエンジンを始動させてしまうことのないように、エンジンカットオフスイッチからテザーコードを外してください。テザーコードを推奨通りにつなげていないと、オペレーターが転落してもウォータークラフトのエンジンが停止しません。

自身の限界と技量の範囲内での操船を心がけてください。

常に責任と安全に留意して操船してください。常識と節度を心がけてください。

環境およびその水域を利用する他の人々の権利に十分な注意を払ってください。PWCの「オペレーター」および「オーナー」として、PWCの航跡による他のウォータークラフトへの損害に責任を持たなければなりません。誰にも海中にゴミを放り投げさせないでください。

ウォータークラフトは十分な高速性能を有していますが、高速走行は理想的な条件が整い、なおかつ高速走行が許されるような場合だけに限るよう強く推奨いたします。速度が大きくなるほど高い技量が求められ、重大な事故が発生する可能性も高くなります。

旋回、波や航跡の通過、荒れた水面上での走行、ウォータークラフトからの転落などによってライダーの体にかかる力は、特に高速の場合、骨折あるいはそれ以上の重傷を招く恐れがあります。常に余裕のある走行を心がけ、急旋回は避けるようにしてください。

また、PWCは夜間使用するには設計されていません。

非常に波が荒い場合の乗船や、波や航跡でジャンプするなどの極端な操船は避けてください。

航行前に

安全上の理由と適切な整備のために、ウォータークラフトを使用する前に、必ず『オペレーターズガイド』に定める始業点検を行ってください。

使用されているウォータークラフトの積載量や定員を超過しないでください。過積載は操縦性、安定性、性能に悪影響を及ぼす可能性があります。なお、荒海の場合は積載能力が低下します。積載量や定員プレートは、常識や良好な判断の行使を怠る弁解にはなりません。

PWC、船体、エンジン、安全器材や他の全てのボート用具を定期的に点検し、安全な作動状態に保ってください。

最低限必要な安全器材、PFDや船旅に必要な全ての追加用具が揃っていることを確認してください。

消火器(船体には付属していない)を含む全ての救命器材が安全な作動状態にあり簡単に利用できることを確認し

てください。全ての乗員にPWCに保管されている安全器材の場所を示し、全員が使用方法を知っていることを確認してください。

天候に注意してください。出航前に地元天気予報を確認してください。状況の変化に気を配ってください。

乗船中は航行域の正確で最新の水路図を保ってください。航行前に、予定している航行域の天候状況を確認してください。

予定している旅程に十分な燃料を保ってください。出航前や航行中は、常に燃料レベルを確認してください。燃料の1/3は目的地のため、1/3は帰還のため、残りの1/3は予備という原則を守ってください。天候の悪化または他の遅れによる変化を考慮に入れてください。

オペレーターおよび同乗者が注意すべきこと

Sea-Doo PWCを操作する前に、PWCのすべてのセーフティラベル、オペレーターズガイドおよびその他の安全関連資料を熟読のうえ理解し、セーフティビデオを注意して視聴してください。

適用される法律を遵守してください。ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。地元の航行規則を学んでください。その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

太陽、風、疲労あるいは病気は判断力や反応時間を損なう場合があることを覚えておいてください。

16才未満の人、あるいは視力、反応時間、判断力または制御操作に障害がある人による、このPWCの操作は推奨されません。

ウォータークラフトを運行するとき、常にテザーコードを使用し、全ての同乗者がその使用方法に精通していることを確認してください。

オペレーターおよび同乗者が泳げること、水中からPWCに戻る方法を知っていることを確認してください。水深の深いところでウォータークラフトに乗るには、かなりの努力を要します。ウォータークラフトを使用したり、水深の深い場所に乗り入れたりする場合

は、事前に胸の高さ程度の水深の場所で水中からウォータークラフトに戻る練習をしてください。オペレーターおよびすべての同乗者は常にPFDを着用し、航行時には特別な注意を払う事を忘れないでください。

誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品（ノズル、iBRゲート、リンケージ等）には人を近づけないでください。

付近の水中やウォータークラフトの後部付近に人がいる場合は、決してウォータークラフトを始動、操作しないでください。

エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気を付けてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。

ウォータークラフトの始動時はオペレーターも同乗者もシートに正しく座り、しっかりとつかまり、走行中はつねにその状態を保ってください。同乗者には、備え付けのグリップを使うか、前の人の腰につかまるようにさせてください。きちんと着席すれば、各々の同乗者は各自の両足を足下の平らな空間にしっかりと置けるはずですが、波の上や荒れた水面上を走る場合、同乗者は足を使って水面からの衝撃を和らげるために、体を席から多少上げることが推奨されます。

ブレーキをかけたリ減速する場合、乗員は減速力に対して注意を払い、ウォータークラフト上で前に移動したり、バランスを失うのを防がなければなりません。

特に同乗者を乗せた状態でPWCを加速する場合は、発進時か走行中に関わらず、徐々に加速するようにしてください。急加速を行うと同乗者がバランスを崩したり、ウォータークラフト後方に落水する恐れがあります。急加速時には同乗者にその旨を知らせるか、同乗者が急加速を予測できるようにしてください。

落水やジェットスラストノズルに近くことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。したがって、ウェットスーツの下半身部分の着用を強く推奨いたします。

エンジンがかかっているときは、インテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣(PFD)のストラップなどが可動部分に絡むことがあります。

ブレーキをかけている間にスロットルレバーを押し下げると、iBRシステムがユーザーによるスロットルの指令を無効にします。スロットルレバーを押し下げたままiBRレバーを放すと、スロットルの指令が再び制御を取り戻し、短い遅延の後に加速が生じます。加速が不要なら、スロットルレバーを放してください。

再搭乗する場合は、エンジンがオフであり、テザーコードをエンジンカットオフスイッチから取り外してあることを確認してください。

人がウォータークラフトに乗ろうとしている場合や近くにいる場合、あるいはインテークグレートから海草や異物を取り外す場合は、誤ってエンジンを始動してしまうことのないよう、必ずエンジンカットオフスイッチからテザーコードを外してください。

PWC使用時は、旋回半径を小さくするために足を水中に入れないでください。

未成年者による操縦

未成年者によるウォータークラフトの操縦は、常に成人が監視してください。最低年齢に関する法律や未成年者の免許に関する要件は、地域によって異なります。使用を考えている地域におけるPWCの合法的な操船に関する情報は、必ず地域の船舶運行に関する当局に問い合わせてください。BRPは、ウォータークラフトの操作は16才以上に限ることを推奨いたします。

薬物やアルコール

薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。自動車の運転と同様に、ウォータークラフトの操船には冷静で、注意深く、機敏であることが必要です。酔っている場合や、薬物の影響を受けている場合にウォータークラフトを操縦することは危険であるだけでなく、重大な罰則を伴う連邦法の違反にもなります。これらの法律は、厳しく適用されます。薬物やアルコールの使用は、単独であれ組み合わせであれ、反応時間を低下させ、判断力を鈍らせ、

視覚を損ねて、安全にウォータークラフトを操縦する能力を阻害します。



警告

アルコールとボートは別にお楽しみください！薬物またはアルコールの影響を受けて操縦することは、同乗者、他の船の乗員およびあなた自身の命を危険にさらします。連邦法は、アルコールまたは薬物の影響を受けた状態でウォータークラフトを操縦することを禁止しています。

ウォータースポーツ(ウォータークラフトによる曳航) (3UPモデルのみ)



警告

怪我を避けてください！PWCは他の船舶、パラセイル、カイト、グライダーまたは離陸するような物体を牽引するように設計されていませんし、そのような用途で使用すべきではありません。ウォータークラフトは、設計の対象であるウォータースポーツでのみ使用してください。

水上スキー、ウェイクボード、または膨らませて使う装置を牽引して乗ることなどが、ポピュラーなウォータースポーツの一例です。どんなウォータースポーツに参加する場合でも、参加者やウォータークラフトのオペレーターはより安全を認識する必要があります。今までにPWCの後に誰かを牽引した経験が無い場合は、観察者として数時間を過ごすのが良いアイデアであり、経験豊かなオペレーターから学びましょう。また、牽引される人のスキルや経験を意識することも重要です。

ウォータースポーツに参加する人は、以下のガイドラインを守らなければなりません：

- 同乗者を乗せたり、チューブ、水上スキー、ウェイクボードを曳航したりするとウォータークラフトのハンドリングが変化し、より高い操縦技量が求められます。
- 走行時は、同乗者、およびスキーやウェイクボードの利用者の安全と快適性を常に考慮してください。

- チューブ、水上スキー、ウェイクボードなどを曳航する場合は必ず監視役を乗せ、牽引されている人を監視し、仲間の手信号を運転者に知らせるようにしてください。オペレーターは常にウォータークラフトの操縦と前方の水域に集中しなければなりません。
- 必要な速度を超えないようにするとともに、監視役の指示に従って走行してください。
- チューブ、水上スキー、ウェイクボードを曳航する場合、止むを得ない場合を除き、急な旋回やブレーキの使用はしないでください。このPWCには高い操縦性や停止機能（iBR搭載モデル）がありますが、牽引されている人が障害物や牽引しているPWCを避けられないことがあることを覚えておいてください。
- 上手に泳げる人だけが、ウォータースポーツに参加できます。
- 常に、認定された救命胴衣(PFD)を着用してください。適切にデザインされたPFDを着用していれば、気絶したり意識を失っても水上に浮かんでいられます。
- 水域を共有する他の人達に十分配慮してください。
- ウォータースポーツを楽しむ場合は、オペレーターと観察者は引き綱の位置を注視しなければなりません。緩んだ引き綱は、PWC上や水中で人や物体に絡むことがあり、急転したり、旋回する際に深刻な負傷を引き起こすことがあります。
- どんなウォータースポーツであれ、人が高濃度の排気ガスを吸入してしまうような短い引き綱で人を牽引しないでください。一酸化炭素を含む排気ガスを高濃度で吸入すると、CO中毒、傷害や死亡に至ることがあります。
- 曳航ロープは十分な長ささと太さのものを使用し、適切な方法でしっかりとウォータークラフトに接続されていることを確認します。使用しないときは、けん引ロープを必ずウォータークラフトに保管してください。使用後のけん引ロープの保管を参照してください。一部のウォータークラフトでは特別製の曳航装置を取り付けることができる場合もありますが、PWCに曳航用ポールを取り付けることは避けてください。その上に人が倒れたりすると怪我をする恐れがあり、危険です。
- 人が落下した場合には、直ちに注意してください。人は単独で水中にいと弱りやすく、他のボートからも見えないことがあるかもしれません。
- 水中にいる人には、風下の側（風の方向の反対側に）から接近してください。人に接近する前に、モーターを切ってください。
- ウォータースポーツは安全な水域でのみ楽しみください。他のボート、航路、浜辺、制限区域、遊泳者や航行量が多い水路や水中の障害物から離れていてください。
- 泳ぐ場合は、事前にエンジンを停止し、ウォータークラフトを錨で固定してください。
- 泳いでも安全であると示されている水域でのみ泳いでください。通常は、遊泳域を示すブイでマークされています。一人で、あるいは夜間は、泳がないでください。



遊泳域を示すブイ

- 日没から日の出の間は水上スキーをしないでください。大部分の地域で違法です。

- 水上スキーヤー、チューブやウエイクボードに乗っている人のすぐ後でウォータークラフトを運転しないでください。40 km/h で進んでいる場合、ウォータークラフトは、60m前方で水面に落下した人に約5秒で到達します。
- 近くの水中に人がいる場合は、エンジンを切って、テザーコードをエンジンカットオフスイッチから取り外します。
- 潜水中のダイバーのフロートによって指定される水域からは、少なくとも45 m は離れてください。

怪我を避けてください！ エンジンがオフであっても、推進システムやインテークグレート付近には人が近寄らないようにしてください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大な怪我を負ったり、溺れたりする恐れがあります。浅瀬では、貝、砂、小石または他の物がジェットポンプに吸い込まれ、後方に吹き飛ばされる場合があります。



潜水中のダイバーのフロート

認定された合法で安全なウォータースポーツに関する詳細情報については、ウォータースポーツの実行を考えている地域の法的権限を持つ当局にお問い合わせください。

使用後のけん引ロープの保管

けん引ロープは、使用することにより水から引き揚げてボートに保管してください。



警告

使用しないときは、必ずけん引ロープを水から引き揚げてウォータークラフトに固定してください。

けん引ロープは、ウォータークラフトの適切な場所に保管してください：

- クラフトにBRP Tow Proが装備されている場合は、専用のストラップでけん引ロープを固定してください。
- クラフトにBRP Tow Proが装備されていない場合は、ロープをSpark Cargo Netなどに保管してください。修理については認定Sea-Dooディーラーにお問い合わせください。



警告

緩い、重い、尖っている、または壊れやすい物を、決してストレージビンで運ばないでください。

低体温

低体温、正常以下の体温にいたる体熱の損失は、ボートの事故における死亡の重要な原因です。人は低体温になると、意識を失い、溺れます。

PFDFは、その断熱効果により、生存可能時間を長くできます。

当然、水がより暖かければ、断熱はあまり必要ではありません。低温の水域（4 °C 以下）で走行する場合、ベストスタイルのPFDFではなく、体を広くカバーするコートまたはジャケットスタイルのPFDFの着用を考えてみてください。

低体温に対する保護について覚えておくべきポイント：

- 水中に浮いている間、近くのウォータークラフト、仲間の生存者、あるいは掴まったり登ることができる浮遊物に達するため以外は、泳ごうとしないでください。不要に泳ぐと、体熱損失率を上昇させます。冷たい水中で、頭を水に入れることを必要とする溺れ防止法は推奨されません。頭は、常に水上に出しておいてください。これは、大いに体熱損失を少なくし、生存可能時間を長くします。
- 生存と救出について積極的な態度を保ってください。こうすることで、救出までの生存時間を長くさせる可能性を向上させます。あなたの生きる意志が違いを生じさせます！

- 水中に複数の人がいる場合は、一緒にいることが推奨されます。この行動は、熱損失の率を減らして、結果として生存時間を長くさせる傾向があります。
- 常にPFDを着用してください。水中にいるときに着用していないと、低体温症の影響を退けるのを助けられません。

安全な航路

多くの国が、安全なコースで航海することを推奨、要求しています。地元の所管官庁に相談してください。

ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。地元の航行規則を学んでください。その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

アクティブテクノロジー(iCONTROL)

はじめに

注：このセクションで説明する機能や特徴はすべてのモデルのPWCに当てはまるわけではありませんし、オプションとして利用できる場合もあります。

iControl™ (インテリジェント制御システム) は、ハンドルバーから手を放さなくてもオペレータが多くのシステムを制御できる環境を提供します。

オペレーターは指で全てを制御でき、ボタンを押すか、レバーを引くことによって起動します。このため、オペレーターは水面に集中して操船を続けられます。

各々の制御は電子式であり、設定されたパラメータの範囲内でそのシステムの適切な動作を保証する機能を備えた電子モジュールに命令信号を提供します。

iControlの様々なシステムは次のようにグループ化されます。

- iTC™ (インテリジェントスロットルコントロール)
- iBR (インテリジェントブレーキおよびリバース) (搭載されている場合)
- O.T.A.S. (オフスロットルアシステッドステアリング) (搭載されている場合)。

これらのシステムは協調して機能し、ブレーキ、オペレータの入力へのウォータークラフトの応答の改良、操作性と制御の向上などの機能を提供します。

オペレーターは、この『オペレーターズガイド』に記載されている全ての情報を読み、このウォータークラフト、そのシステム、制御、能力と制限を理解することが極めて重要です。

iTC (インテリジェントスロットルコントロール)

このシステムは、ECM (エンジンコントロールモジュール) への指令信号を提供する電子的スロットルコントロール(ETC)を使用しています。このシステムでは、従来型のスロットルケーブルは不要です。

iTCには、以下のような動作モードがあります：

- ツーリングモード
- スポーツモード
- O.T.A.S.TM (搭載されている場合)

ツーリングモード (Rotax 900 HO ACE)

ツーリングモードでは、完全な停止状態からの加速時や特定の状況で低エンジン出力範囲で稼働する場合、使用できるエンジンの出力や加速が低減します。

スロットルを操作すると、エンジンは動作範囲まで漸進的に加速し、フル出力が使用できるようになります。十分かつ長時間に渡ってエンジン速度を落としていると、エンジン出力と加速は再び低減します。

スポーツモード (Rotax 900 HO ACE)

スポーツモードでは、エンジンの動作範囲を通じて最大のエンジン出力を使用できます。

詳細な指示は、多機能ゲージのサブセクションを参照してください。

O.T.A.S.TMシステム (オフスロットルアシステッドステアリング) (搭載されている場合)

O.T.A.S.TM (オフスロットルアシステッドステアリング) は、iTCによってコントロールすることもできます。

O.T.A.S. (オフスロットルアシストステアリング) システムは、オフスロットル状態での追加の操作性を提供します。

O.T.A.S.システムは、オペレーターがフルターンを開始して、同時にスロットルを放した場合に、電子的に起動します。

制限

O.T.A.S.システムは、いかなる状況においても制御の維持や衝突の回避を支援できるわけではありません。

詳細は、使用上の諸注意のサブセクションを参照してください。

iBR (インテリジェントブ レーキおよびリバース) (iBR付きモデル)

このウォータークラフトでは、iBRシステム（インテリジェントブレーキおよびリバース）と呼ばれる電子的制御のブレーキおよびリバースのシステムを使用しています。

iBRモジュールは、iBRゲートの位置をコントロールして以下を行います：

- 前進
- リバース
- ニュートラル
- ブレーキ

オペレータは、前進位置の場合はスロットルレバーを、ニュートラル、後退およびブレーキの場合にはiBRレバーを使用して、iBRゲートのポジションを制御します。

注：iBRレバーを使用してゲートのポジションを変更する指令が出せるのは、エンジンが稼動している間だけです。

直進、回転、高速または低速、あるいはドック入りの際のウォータークラフトの後退や非常に狭い場所での操船など、どんな場合でも使用できるので、iBRシステムの使用によってウォータークラフトの停止距離を短縮し、操作性を大きく向上できます。

熟練したオペレーターがiBRシステムを搭載したウォータークラフトを操縦する場合、理想的な条件下であれば、80 km/hから停止するまでの距離が常に約33%短くなります。

制限

iBRシステムを装備していても、ウォータークラフトには陸上の乗り物のような能力はありません。

初速、荷重、風、水流、水面の状況やブレーキの量などにより、停止距離は大きく変化します。

iBRシステムは後方への動きには全く効果がありません。

ウォータークラフトが水流や風によって漂うのを防ぐことはできません。

安全器材

必要な安全器材

オペレーターと同乗者には、PWCでの使用に適した認定の救命胴衣（PFD）の着用が義務付けられています。

オペレーターと乗員は、乗船状況や個人の好みに合わせて、飛散防止のメガネを使用できるようにしておく必要があります。

風や水の飛沫、高速走行などによって水が目に入り、視界がぼやけてしまうことがあります。

ウォータークラフトの所有者として、あなたには全ての必要な安全装備をボートに備える責任があります。さらに、あなた自身や同乗者の安全のために必要と思われる追加装備の用意も検討する必要があります。必要な安全装備に関する国や地域の規制を確認してください。

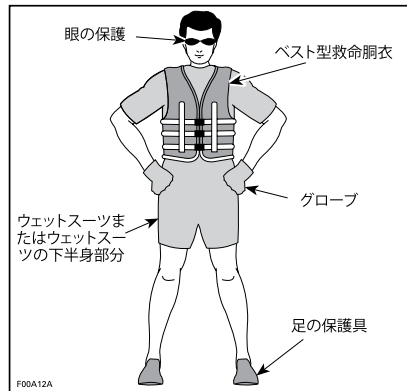
規制によって要求される安全装備は必須です。地域の規制が追加の装備を要求する場合、それは所管官庁によって認定されたものでなければなりません。最低限度必要な装備としては以下があります。

- 救命胴衣(PFD)
- 15 m 以上の浮力を持つ投げ綱
- 防水懐中電灯または認定発炎筒
- 信号装置
- 音響発生装置（エアホーンまたはホイッスル）。

推奨される保護用具

PWCのオペレーターと同乗者は、以下のような身体を保護用具を必ず着用してください。

- ウェットスーツの下半身部分、あるいは織り目が細かく体に合った服で、同等の保護効果が期待できるもの。例えば、薄手の自転車用ショーツは適切ではありません。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。
- 靴、グローブ、安全ゴーグルまたはメガネの着用を推奨いたします。足にも軽量かつ柔軟な保護具を着用するようにしてください。これは、水中の鋭い岩などによる怪我の防止に役立ちます。



F00A12A

救命胴衣(PFD)

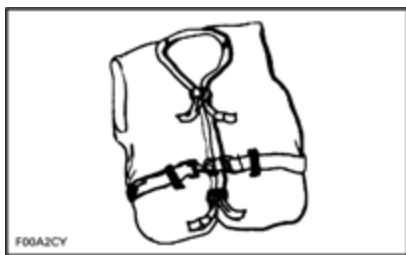
ウォータークラフトに乗船する場合、必ず全員が救命胴衣(PFD)を常に着用する必要があります。PFDが、使用する国の規制に適合していることを確認してください。

PFDは頭や顔を水上に出しておくのを助け、水中にいる間、安全な姿勢でいるのを助ける浮力を提供します。PFDを選ぶ際は、体重と年齢を考慮してください。PFDが提供する浮力は、水中で体重を支えられる程度でなければなりません。PFDのサイズは着用者に合っていないければなりません。PFDのサイズを決めるのに使用する一般的な方法は体重と胸囲です。連邦法や地域の規制に適合する適切な数とタイプのPFDが船上に装備されており、同乗者が保管場所や使用方法を知っていることを保証するのはオーナーの責任です。

PFDのタイプ

5種類の認定済みPFDがあります。

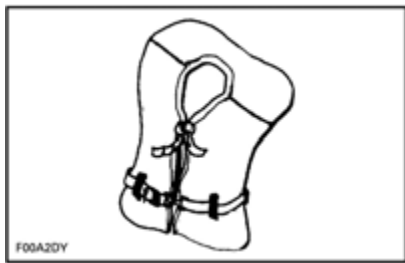
PFDタイプ I、着用型、このタイプは最大の浮力を備えています。そのデザインは、水中で大部分の意識を失った人をうつ伏せの位置から、垂直または少し後方に、仰向けの位置まで回転させることを考慮しています。そのため、生存の可能性を大いに高めることができます。タイプIは、すべての水域、特に救出が遅れる可能性がある沖合の場合に最も効果的です。また、波が荒い場合にも最も効果的です。



タイプI—着用型

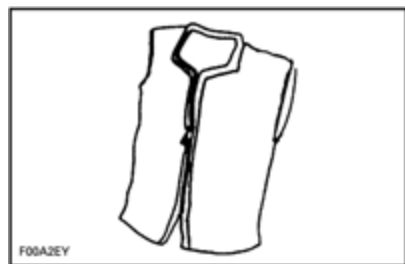
PFDタイプ II、着用型、タイプIと同様に着用者を回転させますが、タイプIほど効果的ではありません。タイプIIが同じ条件下で回転させられる人数は、タイプIと同じではありません。例えば、一般的に他の人も水中での活動に熱中しており、迅速に救出される

可能性がある区域では、このPFDの使用が好ましいかもしれません。



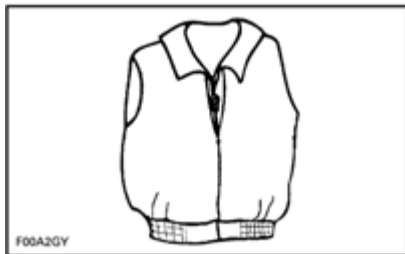
タイプII—着用型

PFDタイプ III、着用型、着用者を垂直、あるいはわずかに後方の位置に配置させます。着用者を垂直、あるいはわずかに後方の位置で支え、うつ伏せには回転させません。タイプIIのPFDと同程度の浮力であり、他の人々がウォーターアクティビティを楽しんでいるような区域に適しています。



タイプIII—着用型

PFDタイプ V、着用型、着用しなればなりません。膨らますと、タイプI、IIまたはIIIのPFDに相当する浮力を提供します。しかし、しぼんでいる場合は、人々をサポートできません。



タイプV—着用型

ヘルメット

重要な注意点

ヘルメットは、頭部への衝撃を緩和できるように設計されています。ほとんどのモータースポーツにおいては、ヘルメットの着用がその欠点を補って余りあることは明らかです。しかし、パーソナルウォータークラフトなどのようなモーターウォータースポーツの場合、水上であることに伴う特別なリスクがあるため、このような利点は必ずしもあてはまりません。

利点

ヘルメットは、衝突の際に相手のウォータークラフトに当たる場合など、頭部表面への衝撃による怪我のリスクを低下させます。同様に、チンガードの付いたヘルメットは顔面、顎、歯などの負傷防止に役立ちます。

リスク

一方で、ウォータークラフトから転落した場合など一部の状況では、ヘルメットが「バケツ」のように水を捉えてしまい、首や脊椎に大きな力加わる恐れがあります。これは窒息、首や脊椎の重大な損傷や回復不能な損傷を招き、最悪の場合は死亡に至ります。

また、ヘルメットが周囲の視界や聴覚を妨げたり疲労をもたらすことによつて、衝突の危険が増す恐れもあります。

リスクと利点の兼ね合い

ヘルメットを着用すべきか否かの判断にあたって最も望ましいのは、具体的な航行環境や個人的経験を考慮することです。交通の多い水域であるか？どのようなライディングスタイルか？などです。

結論

どのような選択をした場合でも、ある種のリスク最小限に抑えることはできる一方、他のリスクは増大します。従つてヘルメットを着用するかどうかは、具体的な状況に基づいてその都度判断を下す必要があります。

ヘルメットを着用することにした場合は、さらに、その状況にはどのタイプが最も適しているかを判断しなければなりません。ヘルメットはDOT規格またはスネル規格を満たすものを探し、可能であればモーターウォータースポーツ用に設計されたものを選んでください。

追加で推奨される装置

安全で、楽しい航行のために、追加の装置も入手することを推奨いたします。このリストは、すべては含んでいませんが、入手を検討すべきアイテムを含んでいます。

- 地域の地図
- ファーストエイドキット
- 曳船用ロープ
- 発炎筒
- 係船コード。

また、防水バッグやコンテナに携帯電話を入れておくのも有用で、遭難した場合や陸上と連絡を取る場合に使用できる場合があります。

練習の実施

練習して、水上へ出る前にウォータークラフトのすべての制御、機能および操船の特性に習熟しておくことは非常に良いアイデアです。

必ず、テザーコードをエンジンカットオフスイッチに、クリップをPFDカリストストラップにしっかりとつないでください。

練習を行う場所

練習を行うのに適している場所を見つけてください。以下の条件を満たす場所でなければなりません：

- 水上交通がない
- 障害物がない
- 遊泳者がいない
- 流れがない
- 操作するのに十分なスペース
- 水深が適切である。

練習の実施

一人で以下の練習を行います。

旋回

低速で、両方向へ丸く旋回する練習をします。自信が付いてきたら、難度を上げて「8」の字を描いてみましょう。

これをマスターしたら、速度を上げて、上記の練習を行います。

停止距離

iBRを装備していないウォータークラフト

様々な速度で、直線でウォータークラフトを停止させる練習をしてみます。

ウォータークラフトの速度を低下させ、停止距離を短くする主要な要因は水の抵抗であることを覚えておいてください。

注：ウォータークラフトの速度、積載荷重、水流や風なども停止距離に影響します。

iBRを装備しているウォータークラフト

様々な速度とブレーキ力で、直線でウォータークラフトを停止させる練習をしてみます。

停止距離は、ウォータークラフトの速度、水面、水流や風によって影響を受けることを覚えておいてください。

リバーズ (iBRを装備しているウォータークラフト)

リバーズ操作を練習して、リバーズではウォータークラフトがどのように動作するか、ステアリングの入力にどのように反応するかを学びます。

注：必ず、この練習を低速で行ってください。

障害物の回避

スロットルを維持しながら、ウォータークラフトのステアリングを操作して、障害物（水上に仮想のポイントを選びます）を回避する練習を行います。

練習を繰り返しますが、旋回中にスロットルを放してみます。

さらに、iBRレバーを作動させながら練習を繰り返します。iBRシステムもスロットルの制御を行っていることに注意してください。

注：この練習で、ウォータークラフトの方向を変えるにはスロットルが必要であることを学びます。

ドック入れ

iBRを装備していないウォータークラフト

注：ドッキング速度を減少するために、スタートおよびストップボタンを使います。

スロットルおよびステアリングを使用してドック入れを練習することで、PWCの反応に習熟し、コントロールの技量を磨きます。

iBRを装備しているウォータークラフト

スロットル、iBRレバーおよびステアリングを使用してドック入れを練習することで、PWCの反応に習熟し、コントロールの技量を磨きます。

注：後退時、反対側にステアリングを切ることを覚えておいてください。

無視してはならない重要な要素

さらに、以下の条件はウォータークラフトが様々な操作に対してどのように反応するか直接影响到することを必ず覚えておいてください。

- 積載荷重
- 流れ
- 風
- 水面の状況

必ずこれらの状況に気を配り、適切に対応してください。可能であれば、さらにこうした状況で練習してください。

難しい操作の場合、最善の助言は必ず最低速度まで減速することです。

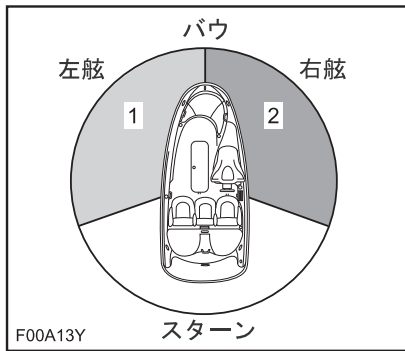
航行規則

運航規則

ウォータークラフトによる走行は、標識のない高速道路や道路上の走行に例えることができます。他の船舶との衝突の防止あるいは回避のために、運航規則には必ず従ってください。これは単なる常識ではなく、法令で定められたものです。

通常は右側を航行し、他のウォータークラフト、ボート、遊泳者や障害物との間に安全な距離を保ちながら回避します。

下の図は、方向の参照点として使われるボートの異なる部分を示しており、船首（バウ）がボートの正面です。ボートの左舷側（左側）は赤色灯によって、右舷の側（右側）は緑色灯によって視覚的に認識されます。



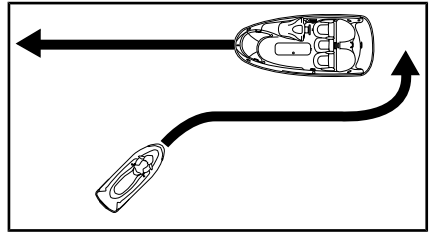
代表的な例 - 方向の参照点

1. 赤色灯
2. 緑色灯 (回避方向)

交差

前方およびあなたの右側の船舶に進路の権利があります。決して船舶の前を横切らず、相手の赤色灯を見て、相手にはこちらの緑色灯が見えるようにします（相手側に進路の権利があります）。

パーソナルウォータークラフト(PWC)にはこうした色灯はありませんが、規則は適用されます。



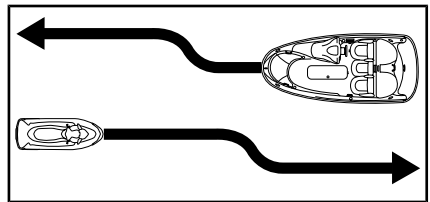
代表例

街路の交通信号と同様に、赤い灯が見える場合は、**停止して**、進路を譲ります。他の船舶が右にあり、**相手に**進路の権利があります。

緑の灯が見える場合は、**注意しながら通り過ぎます**。他の船舶が左にあり、あなたに進路の権利があります。

対向の場合

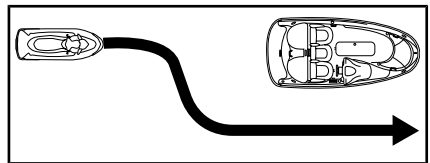
互いに右へ回避。



代表例

追い越し

他の船舶に進路を譲り、距離を保ちます。



代表例

航行システム

標識やブイなどの航行支援設備は、安全な水路の確認に役立ちます。ブイは、そのブイの右側（右舷）を通過すべきか左側（左舷）を通過すべきか、あるいは、どの水路を進むべきかを示します。ブイは、低速航行水域や減速水域などの制限水域や管理水域に入りつつあるかどうかを示します。また、危険や特別な航行情報を示すこともあります。標識は岸や水上に設置されています。これらの標識でも、速度制限、無動力船舶や無動力航行、停泊、その他の有効な情報を表わすことができます。（各種標識は形状で、ある程度識別できます）。

ウォータークラフト使用水域において水路に適用される航行システムをよく理解しておくようにしてください。

衝突回避

障害物を回避しようとするときは、スロットルを離さないでください。エンジンのパワーやジェットポンプの推進力がウォータークラフトの操船に必要です。

他の遊泳者、ボート、障害物などに対する見張りを常に怠らないでください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。

レクリエーションを楽しむ他の人々や周囲の人々の権利を尊重し、常に他のウォータークラフト、ボート、人や障害物などから安全な距離を保ってください。

航跡や波のジャンプ、波打ち際の走行、ウォータークラフトのしぶきを他の人にかける、といった行為は禁物です。ウォータークラフトの能力や自分自身の技量に関する判断を誤ると、他のボート、ウォータークラフトや人に衝突する恐れがあります。

このウォータークラフトは他のボート類よりも小さな半径で旋回することができますが、緊急の場合を除き高速での急旋回を行わないでください。このような操作は、第三者から見た場合の回避や進路予測を困難にします。また、オペレーターや同乗者が落水してしまう恐れもあります。

iBR付きモデル

大半の他のウォータークラフトとは異なり、このPWCIにはブレーキシステム(iBR)があります。

iBRを装備したウォータークラフトを操作する場合は、後続あるいは近くで動作している他のボートは同じように迅速には停止できないことに注意してください。

速度が出ていて、最初にブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方で空中まで水柱が立ち上がり、ブレーキが動作していることを示します。

船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレーターには、あなたのPWCIのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、両者の間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。

停止距離は走行速度、積載荷重、風、水面の状況などによって異なります。

障害物を回避する望ましい操作は、スロットルを開けながら操縦することですが、一杯にブレーキを入れてiBRを使用することで、障害物を回避できる適切な方向へ旋回することもできます。

燃料

給油の手順

警告

燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。常に換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。

1. エンジンを止めます。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。

2. 必ず全員がウォータークラフトから降りてください。
3. ウォータークラフトを給油用栈橋にしっかりと係留します。
4. 消火器（船体には付属していない）を間近な所に用意します。
5. シートを取り外します。機器のセクションに記載のシートをご参照ください。
6. 燃料タンクキャップを探します。



1. 燃料タンクキャップ
7. 燃料タンクキャップをゆっくり緩めます。

警告

燃料タンクに圧力がかかっており、燃料タンクキャップを外す時に燃料の蒸気が放出される場合があります。

8. ガソリンポンプの噴出口をフィルターネックに挿入し、燃料タンクを満たしてください。

警告

燃料をこぼさないために、燃料タンクから空気が逃げるようにゆっくりと燃料タンクに注いでください。

9. ガソリンポンプのノズルハンドルがリリースされたらただちに給油を止めて、少し待ってから噴出口を抜きます。より多くの燃料を燃料タンクに入れるために、ガスポンプのノズルを引き込むことはしないでください。

警告

燃料を入れすぎたり、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れたり、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

10. 燃料タンクのキャップを再度取り付け、歯止めの音がするまで右に回します。

警告

給油時にこぼれた燃料は必ずウォータークラフトから拭き取ってください。

11. 燃料補給後は、必ずエンジンコンパートメントでガソリンの蒸気の匂いがしないことを確認してください。
12. エンジンコンパートメントにアクセスするには、左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。

警告

ガソリンの液やガソリンの蒸気の匂いがある場合は、決してウォータークラフトを始動しないでください。

13. 取り外しとは逆の手順で左アクセスカバーを再度取り付け、ノブを反時計回りに1/4回転させてノブをロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。

14. シートを再度取り付けるには、機器のセクションに記載のシートをご参照ください。

燃料に関する要件

注記 必ず新しいガソリンを使用してください。ガソリンは酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の喪失、およびガム質やワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷することがあります。

アルコール燃料の混合は、国および地域によって異なります。車両は、推奨燃料を使用して動作するように設計さ

れていますが、次のことに注意してください。

- 国の規制によって定められた割合を超えるアルコールを含んだ燃料の使用は、推奨されていません。使用した場合、燃料システムコンポーネントに次のような問題が発生することがあります。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の劣化。
 - 金属部品の腐食。
 - エンジンの内部部品の損傷。
- ガソリンのアルコール含有量が国の規制を超えていると疑われる場合は、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか頻繁に点検してください。
- アルコールを混ぜた燃料は水分を引き寄せて保持するため、燃料の相分離が生じ、エンジン性能の問題やエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

オクタン価が87のAKI (RON+MON)/2、または91のRONを含んだ通常の無鉛ガソリンを使用してください。

注記 他の燃料を試さないでください。不適切な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を引き起こす場合があります。

注記 E85 のラベルがある燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S.EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

トレーラーによる運搬情報

注記 バンクの幅を含むトレーラーの木製バンクの幅は、船体の全長を支えられるように調整しなければなりません。トレーラーの木製バンクの両方の端は、ウォータークラフトの長さを上回ってはいけません。

ウォータークラフトの重量を適切に支えられるように、ウォータークラフトの重心が車輪の少し前に来るようにトレーラーの車輪の位置を確認してください。

警告

このウォータークラフトを立てて運搬するのはやめてください。通常の使用時の姿勢でウォータークラフトを運搬することを推奨いたします。

その地域におけるトレーラーの牽引に適用される法律や規制、特に次のような点を確認してください。

- ブレーキシステム
- 牽引車両の重量
- ミラー

ウォータークラフトを牽引トレーラーで運搬する場合は、次のような点に注意してください：

- メーカーが推奨する、牽引車両の最大重量とタンク重量限度を遵守してください。
- ウォータークラフトを前後（バウ/スターン）のアイレットを使って拘束し、トレーラーにしっかりと固定してください。必要があれば、さらに追加の固定ベルトを使用してください。
- 燃料タンクのキャップ、ストレージビンのフロントカバー（もし搭載されている場合）、グローブボックスのカバーやシートなどが適切に固定されていることを確認してください。
- トレーラー牽引の安全に関する注意事項を守ってください。

注記 それらの部分が完全に損傷する恐れがあるので、シートまたはクラブハンドルの上にロープや固定ベルトをかけないでください。ポンプまたはリバースゲートの上にロープやタイダウンベルトをかけないでください。これらの部分が損傷するおそれがあります。ロープや固定ベルトがウォータークラフトのボディに触れる可能性のある場所では、布くずや同等のプロテク

ターなどでロープまたはベルトを包んでください。

警告

トレーラー輸送の前に、シートのラッチがしっかりかかっていることを確認してください。

Sea-Dooカバーを取り付けるとウォータークラフトを保護することができます。特に未舗装路を牽引する場合は、エアインテークからの埃の侵入を防ぎます。

警告

ウォータークラフトをトレーラーで運搬する場合、決してウォータークラフトには装置を放置しないでください。

重要な製品に貼付されたラベル

ウォータークラフトの警告ラベル

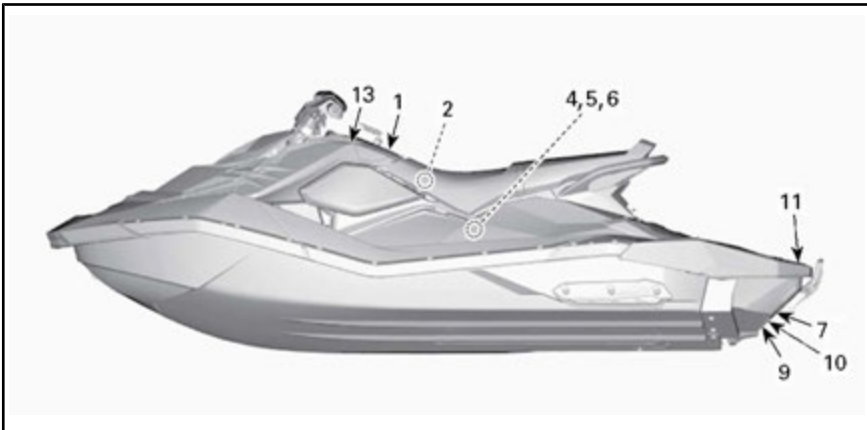
これらのラベルは、オペレーター、同乗者または周囲の人々の安全性のために船体に貼付されています。

ウォータークラフトには、以下のページに示すようなラベルが記載されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに無料で交換できます。Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

ウォータークラフトを操縦する前に、これらの各ラベルを注意深く読んでください。

注：最初のウォータークラフトの図は、様々なラベルのおおよその位置を示しています。点線はそのラベルが外側の表面にはないことを示し、一部のシートまたはカバーは開けないとラベルが見えません。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。



通常の例 - 3UP - 表示されているiBR、コンビニエンスパッケージ付き



代表例

▲ 警告

衝突は、他のどんな種類のパーソナル・ウォータークラフト (PWC) の事故よりも多くの**負傷や死亡**を招きます。

衝突を避けるには：常に、人、物、および他のウォータークラフトに**注意してください。自分自身の視界が制限されたり、他人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。**

安全な速度で慎重に運転し、人、物、および他のウォータークラフトから安全な距離を保ってください。

- PWC や他のボートのすぐ後ろを追従航行しないでください。
- 他人に近づいて、しぶきをかけることはしないでください。
- 第三者から見た場合の回避や進路予測を困難にするので、急な旋回などの操作はしないでください。
- 水深の非常に浅い場所、水に沈んだオブジェクトなどのある場所を避けてください。

衝突を避ける**操作を早めに行ってください**。一般的には PWC やその他のボートにはブレーキはありません。

障害物を回避しようとするときは、**スロットルを離さないでください** - 操船にはスロットルが必要です。PWC を始動する前に、必ずスロットルとステアリングのコントロールが適切に動作することを確認してください。PWC に適用される航行規則や行政区 / 州および地域の条例に従ってください。詳細情報は、「オペレーターズガイド」を参照してください。

▲ 警告

重大な負傷や死亡の危険性を低減するには：救命胴衣 (PFD) を着用してください。 乗員は必ず、パーソナル・ウォータークラフト (PWC) での使用に適している沿岸警備隊認定の PFD を着用してください。

保護衣を着用してください。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体内に水が入ると、内臓に**重大な損傷**を与える恐れがあります。通常の着水では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ滲入するのを十分に防ぐことはできません。乗員は必ず、ウェットスーツの下半身部分、または同等の保護を提供する衣服を着用してください (オペレーターズガイド参照)。

靴、グローブ、およびコーラルまたはマダラの着用を推奨いたします。

船舶関連法令を熟知してください。 BRP はオペレーターの最低年齢を次のように推奨します：
16 歳。行政区 / 州におけるオペレーターの年齢やトレーニングの要件を調べてください。
行政区 / 州における安全な航行コースが推奨、要求されます。

エンジンカットオフスイッチ (ランヤード) を PFD につなぎ、オペレーターが転落した場合にエンジンが停止するように、バンドル / ハーバからまないようにしてください。ライディング後は、子供や他人がエンジンを始動させてしまうことのないように、PWC からコードを取り外してください。

制御不能、落水、および衝突などのリスクを減らすため、**限度内で運転し、急激な操作は避けてください**。これは高性能のボートであり、玩具ではありません。急な旋回や波や船跡でのジャンプは、首中 / 首腫の怪我 (麻痺)、顔の怪我、足、足首や他の骨の骨折の危険性を高めます。**波や船跡でジャンプしないでください。**

PWC の後方に人がいる場合は、決してスロットルを開けしないでください。 エンジンをオフにするか、アイドリングにします。ジェットスラストノズルから吹き出される水や異物が人にあたる**と、重傷を負う恐れがあります。**

エンジンがかかっているときはインテークグレートに**近づかないでください**。長い髪、衣服の弛み、PFD のストラップなどが可動部品に巻き込まれて、重傷を負ったり溺れたりする恐れがあります。

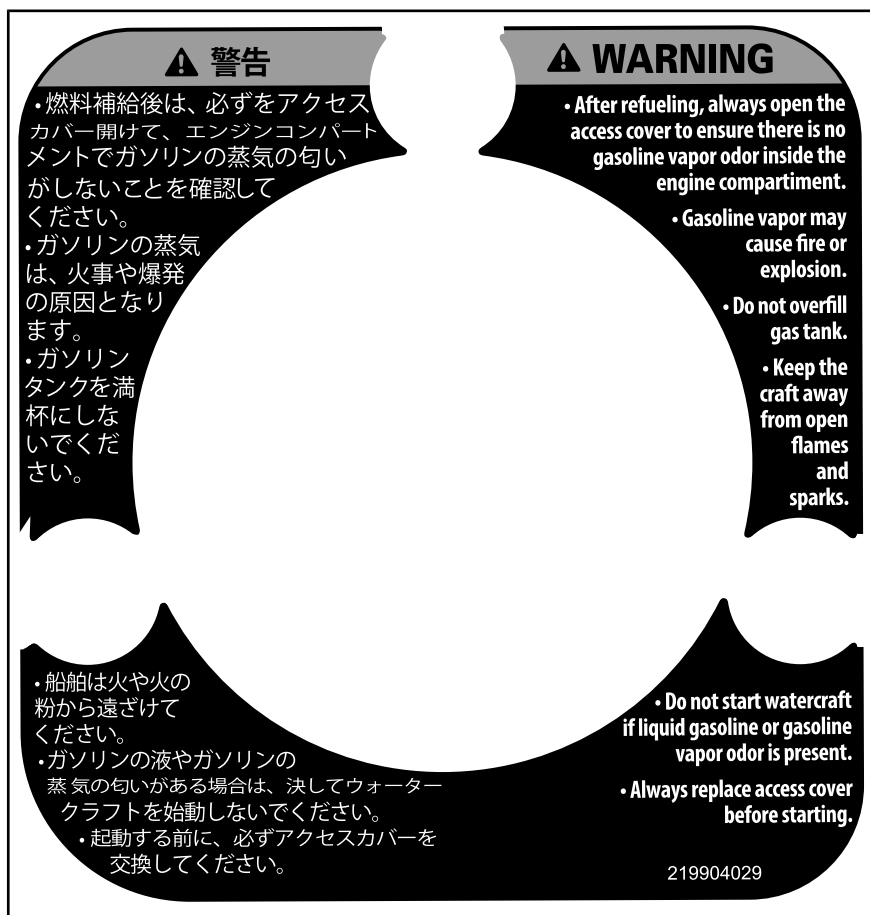
薬物やアルコールを摂取した場合は、決して乗船しないでください。
オペレーターズガイド をよく読んで、必ず守ってください。



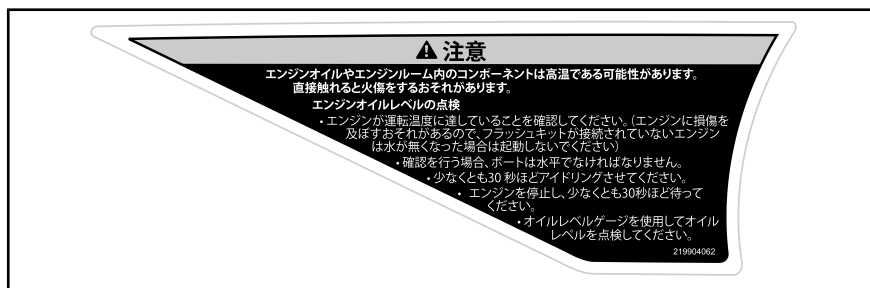


319904030

ラベル1



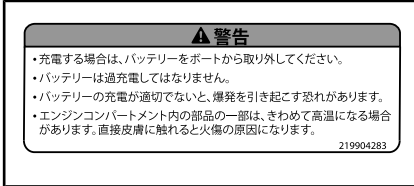
ラベル2



ラベル3



ラベル4



ラベル5



ラベル6



ラベル7



ラベル9- iBR付きモデル



ラベル10- iBR付きモデル

警告

重傷や死亡事故を回避するための注意事項

• エンジンをOFFにしてから乗ってください。• 推進システムおよびインテークグレートに近づかないでください。

乗るときの注意事項: • 1人ずつ乗ってください。• 体を船体の中心に置いて、バランスを保ってください。

ボーディングステップ(装備されている場合)を、陸に上げているPWCの牽引、曳航、飛び込みおよび搭乗に利用したり、ステップの本来の目的以外に使用しないでください。

219904576A

ラベル11



ラベル12 - 2UPモデルの後部席にスタンプされている

**iBR
指示事項**

iBR インテリジェントブレーキおよび
リバース機能:

ブレーキの使用方法

- ブレーキレバーを絞る

リバースの使用方法

- ブレーキレバーをそのまま維持する

前進方法

- スロットルを軽く押し、ニュートラルポジションから前進 (FORWARD) へ切り替えます
スロットルレバーを絞り続けると加速します。

ニュートラルにする方法

- ブレーキレバーを叩く

詳細な『オペレーターズガイド』を
参照してください。

219904655A

ラベル13 - コンソールに貼付

適合ラベル



代表例



代表例






ラベル1- 標準排出ガス抑制ラベル

カナダ適合性通知 CANADIAN COMPLIANCE NOTICE	
最大推奨安全限界 MAXIMUM RECOMMENDED SAFE LIMITS	
最大  = 2	160 kg
最大  +  =	160 kg
カテゴリー / CATEGORY : C 最大波高さ / MAXIMUM WAVE : 2.0 m 最大風速 / MAXIMUM WIND SPEED : 33.0 ノット / knots	
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. VALCOURT, QUÉBEC, CANADA (YDV)  モデル / MODEL : XXXXXXXXX	
製造者は、この製品が、船の建造が始まった日、または船が輸入された日に小型船舶建造規制に記載されていた要件に適合していることを宣言します。 THE MANUFACTURER DECLARES THAT THIS PRODUCT COMPLIES WITH THE CONSTRUCTION REQUIREMENTS OF THE SMALL VESSEL REGULATIONS, AS THEY READ ON THE DAY ON WHICH THE CONSTRUCTION OF THE VESSEL WAS STARTED OR ON THE DAY ON WHICH THE VESSEL WAS IMPROTED.	
最大重量 上記の情報は 米国内でも適用されます。	CAN ICES-2 / NMB-2*

ラベル2 - 2UPモデル - 標準カナダ適合通知 (カナダ向けモデルのみ)

カナダ適合性通知 CANADIAN COMPLIANCE NOTICE	
最大推奨安全限界 MAXIMUM RECOMMENDED SAFE LIMITS	
最大  = 2	160 kg
最大  +  =	160 kg
カテゴリー / CATEGORY : C 最大波高さ / MAXIMUM WAVE : 2.0 m 最大風速 / MAXIMUM WIND SPEED : 33.0 ノット / knots	
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 570 Montagne, Valcourt, Qc, CA, J0E 2L0 Skaldenstraat 125, Gent, 9042, BE (YDV)	
モデル / MODEL : XXX XXX XXX 	
製造者は、この製品が、船の建造が始まった日、または船が輸入された日に小型船舶建造規制に記載されていた要件に適合していることを宣言します。 THE MANUFACTURER DECLARES THAT THIS PRODUCT COMPLIES WITH THE CONSTRUCTION REQUIREMENTS OF THE SMALL VESSEL REGULATIONS, AS THEY READ ON THE DAY ON WHICH THE CONSTRUCTION OF THE VESSEL WAS STARTED OR ON THE DAY ON WHICH THE VESSEL WAS IMPROTED.	
最大重量 上記の情報は 米国内でも適用されます。	

ラベル2 - 2UPモデル - 標準 (北米以外のウォータークラフト)

カナダ適合性通知 CANADIAN COMPLIANCE NOTICE	
最大推奨安全限界 MAXIMUM RECOMMENDED SAFE LIMITS	
最大  = 3	205 kg
最大  +  =	205 kg
カテゴリー / CATEGORY : C	
最大波高さ / MAXIMUM WAVE :	2.0 m
最大風速 / MAXIMUM WIND SPEED :	33.0 ノット / knots
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. VALCOURT, QUÉBEC, CANADA (YDV)	
モデル / MODEL : XXXXXXXX 	
製造者は、この製品が、船の建造が始まった日、または船が輸入された日に小型船舶建造規制に記載されていた要件に適合していることを宣言します。	
THE MANUFACTURER DECLARES THAT THIS PRODUCT COMPLIES WITH THE CONSTRUCTION REQUIREMENTS OF THE SMALL VESSEL REGULATIONS, AS THEY READ ON THE DAY ON WHICH THE CONSTRUCTION OF THE VESSEL WAS STARTED OR ON THE DAY ON WHICH THE VESSEL WAS IMPROTED.	
最大重量 上記の情報は 米国内でも適用されます。	CAN ICES-2 / NMB-2*


ラベル2 - 3UPモデル - 標準カナダ適合通知 (カナダ向けモデルのみ)

カナダ適合性通知 CANADIAN COMPLIANCE NOTICE	
最大推奨安全限界 MAXIMUM RECOMMENDED SAFE LIMITS	
最大  = 3	205 kg
最大  +  =	205 kg
カテゴリー / CATEGORY : C	
最大波高さ / MAXIMUM WAVE :	2.0 m
最大風速 / MAXIMUM WIND SPEED :	33.0 ノット / knots
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 570 Montagne, Valcourt, QC, CA, J0E 2L0 Skaldenstraat 125, Gent, 9042, BE (YDV)	
モデル / MODEL : XXX XXX XXX 	
製造者は、この製品が、船の建造が始まった日、または船が輸入された日に小型船舶建造規制に記載されていた要件に適合していることを宣言します。	
THE MANUFACTURER DECLARES THAT THIS PRODUCT COMPLIES WITH THE CONSTRUCTION REQUIREMENTS OF THE SMALL VESSEL REGULATIONS, AS THEY READ ON THE DAY ON WHICH THE CONSTRUCTION OF THE VESSEL WAS STARTED OR ON THE DAY ON WHICH THE VESSEL WAS IMPROTED.	
最大重量 上記の情報は 米国内でも適用されます。	

ラベル2 - 3UPモデル - 標準 (北米以外のウォータークラフト)

このポートは、証明の日に有効な以下の米国沿岸警備隊安全基準への適合は要求されません:	
<ul style="list-style-type: none"> 燃料システム 積載能力情報の表示 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な積載 浮揚 強制換気
米国沿岸警備隊による免除付与の認可(CGB 88-001)。	
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 565 DE LA MONTAGNE STREET VALCOURT, QUÉBEC CANADA J0E 2L0	
メキシコで最終組立	

ラベル3 - 代表的な例

排出コントロール情報		
このエンジンは、無鉛ガソリンでの動作と、 米国環境保護庁およびカリフォルニア州の マリンスI型エンジンに対する 排出ガス/E V A P 規制への 適合が保証されています。		
エンジンファミリー	<input type="text"/>	ENGINE FAMILY
FEL	<input type="text"/>	FEL
エンジン排気量	<input type="text"/>	ENGINE DISPLACEMENT
排気ガス	<input type="text"/>	EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM
制御システム	<input type="text"/>	CONTROL SYSTEM
電源	<input type="text"/>	POWER
EMISSION CONTROL INFORMATION		
THIS ENGINE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO <input type="checkbox"/> U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSION / EVAP REGULATIONS FOR MARINE SI ENGINES.		
メンテナンスの仕様に關しては「オペレーターズガイド」を参照してください。 SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.		
219804042		

ラベル4-カナダと米国向けの全モデルが該当する。カナダと米国以外の地域においては、認定された当社モデルと等しいモデルが該当する。米国環境保護庁基準

オーストラリア製造者銘板	
輸入会社：BRP Australia Pty Ltd	
日付：2014	
最大人数	3 = 205 kg
最大荷重	= 205 kg
浮力	基本的な浮選
警告	
ボートの船体または永久的なフィッティングの改造は、このプレートの詳細を無効にしかねません。	
ISO 13590からの情報	
219904420	

ラベル5-オーストラリアの標準3UPモデルのみ

乗船前の点検

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については最寄りのディーラーまでご連絡ください。可能な限り、BRP正規ディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお勧めします。BRP正規ディーラーで定期的に保守を受けていただければ、安全に関するサービスキャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早くBRP正規ディーラーにお問い合わせいただくようお勧めします。

警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗車前の点検を実施します。乗車前の点検により、問題になる前に磨耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障や事故のリスクを低減します。

乗船前点検を実施する前に、コントロールのセクションを読んで、理解してください。

ウォータークラフトを水に浮べる前に実施すべきこと

警告

次の各項目の確認を行うまではエンジンをかけず、必ずテザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから外しておいてください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ウォータークラフトを始動してください。

ウォータークラフトを水に浮べる前に、次のテーブルに一覧表示されている項目を点検してください。

項目	作業内容	✓
船体 (ハル)	船体、ライドプレートおよびウォーターインレットグレーットの損傷の点検	
ジェットポンプウォーターインテーク	点検/清掃	
ドレンプラグ	締める	
燃料タンク	燃料を補給してください	
エンジンコンパートメント	目に見える燃料漏れやガソリンの蒸気の匂いを点検	
エンジンオイルレベル	点検/補充	
エンジン冷却液レベル	点検/補充	
熱交換機の状態	点検	
ステアリングシステム	作動を点検	

項目	作業内容	✓
iTC レバー	作動を点検（レバーが支障なく動くか確認するために、押したり放したりしてみる。摩擦が感じられる場合は、レバーを取り外して清掃し、磨耗や潤滑の点検を行います）	
iBRレバー（iBR付きモデル）	作動を点検（レバーが支障なく動くか確認するために、押したり放したりしてみる。摩擦が感じられる場合は、レバーを取り外して清掃し、磨耗や潤滑の点検を行います）	
ストレージビンのフロントカバー（搭載されている場合）、ボーディングプラットフォームおよびシート	しっかり閉じられ、ラッチがかかっていることを確認	
内蔵タイプ脱着式ストレージビン（装備されている場合）	ウォータークラフトへの取り付けを確認して、正しく閉じてラッチをかける	
エンジンのスタート/ストップボタン	作動を点検	
エンジンカットオフスイッチおよびモニタリングシステムブザー	作動を点検	
バッテリーの状態と接続	作動を点検	
犠牲陽極	月一度の点検（海水で使用の場合は頻度を高く）、必要に応じて交換	

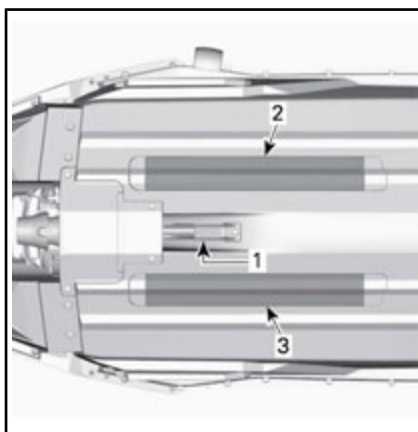
船体（ハル）

船体にひび割れやその他の損傷がないか点検してください。

ジェットポンプウォーターインテーク

水草、貝殻、異物などを取り除いてください。これらは水の流れを妨げ、推進ユニットを損傷する可能性があります。必要に応じて清掃してください。どうしても除去できないものがある場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

注：PWCの流体力が影響されないために対称性を保つために、船体の左側に強化プレートが貼付されています。

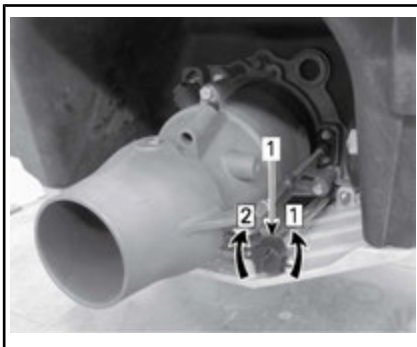


代表例

1. ウォーターインテーク
2. 熱交換機
3. 強化プレート

ドレンプラグ

ビルジドレンプラグをしっかりと締めてください。



代表例

1. ビルジドレンプラグ

手順1: 緩む

手順2: 締まる

警告

ウォータークラフトを水に浮べる前に、ビルジドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

燃料タンク

燃料タンクに給油します。

警告

給油の手順セクションの指示は厳密に守ってください。

エンジンコンパートメント

エンジンコンパートメントで燃料の蒸気の匂いがしないか点検してください。

警告

漏れがあったりガソリンの臭気を感じられる場合は、電源を入れたり、エンジンを始動しないでください。Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を実施してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンコンパートメントにアクセスするには、左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。



エンジンコンパートメント-左アクセスカバーを外します

取り外しとは逆の手順で左アクセスカバーを再度取り付け、ノブを反時計回りに1/4回転させてノブをロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。

エンジンオイル

オイルレベルがメンテナンスの手順のセクションで指定された範囲内にあることを確かめてください。

エンジンクーラント

冷却液レベルがメンテナンスの手順のセクションで指定された範囲内にあることを確かめてください。

エンジン本体、ビルジ内、熱交換機に冷却液の漏れがないか点検してください。

注意 ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、エンジンや熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、エンジン部品や熱交換器には触れないようにしてください。

ステアリングシステム

ステアリングがずれている場合、メンテナンス手順のセクションに記載のメンテナンス手順に従ってください。

誰かに手伝ってもらいながら、ステアリングが自由に動くことを確認します。

ハンドルバーが水平（直進状態）になっているとき、ジェットポンプノズルは真直ぐのポジションにあるはずで、左から右にハンドルを回し、ノズルが回ることを確認します。

警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品（ノズル、iBRゲート（iBR付きモデル）、リンケージ等）には人を近づけないでください。

スロットルレバー

電子的スロットルコントロール(ETC)レバーが引っぱりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときは、すぐにレバーが元のポジションに戻らなければなりません。

警告

スロットルレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。スロットルレバーに摩擦が感じられる場合は、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

iBRレバー（iBR付きモデル）

iBRレバーが引っぱりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときは、すぐにレバーが元のポジションに戻らなければなりません。

警告

iBRレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。iBRレバーに摩擦が感じられる場合は、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

ストレージビン（コンビニエンスパッケージ）、グローブボックスおよびシート

ストレージビンのフロントカバー（もし搭載されている場合）、グローブボックスのカバーやシートなどが閉められて固定されていることを確認してください。

警告

シート、グローブボックスカバーおよびストレージビンのフロントカバー（搭載されている場合）にしつかりラッチがかかっていることを確認します。

エンジンカットオフスイッチおよびエンジンの[スタート/ストップ]ボタン

エンジンカットオフスイッチにテザーコードキャップを取り付けます。

エンジンのスタート/ストップボタンを押してエンジンを始動させ、次にもう一度エンジンスタート/ストップボタンを押してエンジンを停止させます。

注：エンジンは、テザーコードのキャップが適切に取り付けられている

場合、必ず始動します。ECUは3分後にパワーダウンしますが、スタートボタンを押すとまた起こして始動させることができます。

エンジンを再始動させ、エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外して停止させます。

警告

テザーコードキャップのはめ合いが緩かったり、エンジンカットオフスイッチから外れてしまうような場合は、危険を避けるためただちにテザーコードを交換してください。エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外したり、エンジンスタート/ストップボタンを押してもエンジンが停止しない場合は、決してウォータークラフトを使用しないでください。Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

ウォータークラフトを水に浮かべた後に実施するべきこと

ウォータークラフトを水に浮かべたら、出発する前に以下のテーブルの項目を点検してください。

項目	作業内容	✓
多機能ゲージ	作動を点検	
インテリジェントブレーキおよびリバースシステム (iBR) (iBR付きモデル)	作動を点検	
可変トリムシステム(VTS) (該当する場合)	作動を点検	

多機能ゲージ

1. エンジンスタート/ストップボタンを押して、エンジンカットオフスイッチにテザーコードキャップを取り付けます。
2. 多機能ゲージがセルフテスト機能を行うと共に、全ての表示が点灯することを確認してください。

警告

網コードのクリップを必ず使用されているPFDまたは手首 (リストストラップが必要) に取り付けてください。

iBRシステム (iBR付きモデル)

注意 iBRシステムをテストする際は、衝突を避けるためにウォータークラフトの前後に十分な空間があることを確認してください。テスト中、ウォータークラフトは動きません。

1. ウォータークラフトをドックに固定している係留設備を取り外してください。
2. エンジンを始動させ、ウォータークラフトが動かないことを確認します。
3. 左のハンドルバーのiBRレバーを完全に押し込むと、ウォータークラフトはゆっくりと後進するはずです。
4. iBRレバーを放すと、後退スラスト (推進力) はなくなるはずで。

警告

ウォータークラフトで航行する前に、必ずiBRシステムが適切に作動することを確認してください。

可変トリムシステム(VTS) (搭載されている場合)

エンジンを前進ポジションで動作させ、VTSTMシステムを使用して、ジェットポンプノズルを上下に動かしてVTSの作動を確認してください。多機能ゲージのVTSポジションディスプレイの動きを確認してください。

VTSの[上] / [下]ボタンをダブルクリックして、VTSプリセットトリムポジションもテストします。

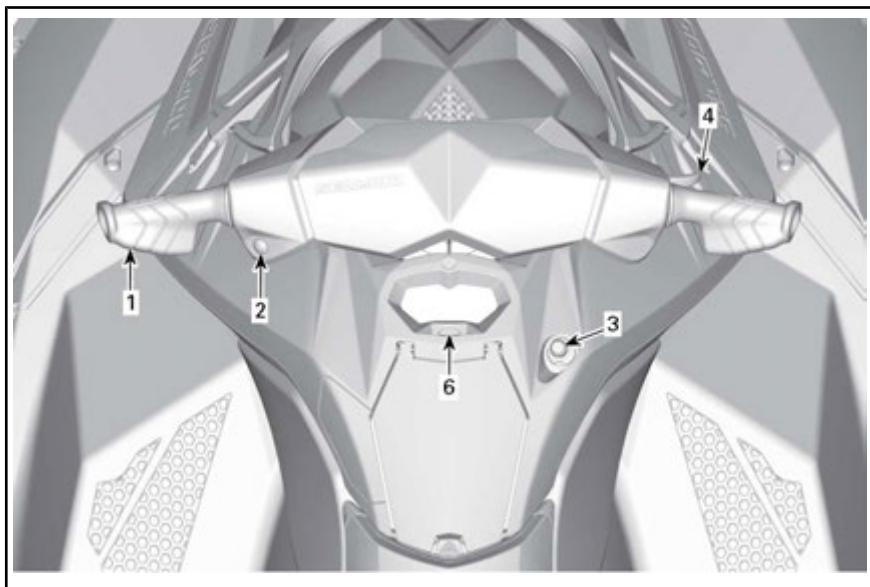
詳細な説明は、使用上の諸注意のサブセクションを参照してください。

**このページは
意図的に空白になっています**

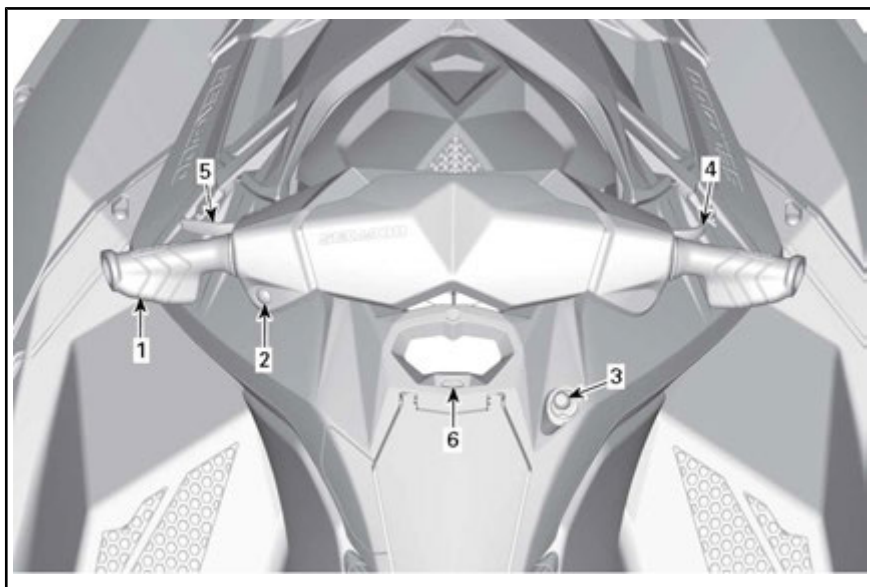
ウォータークラフトについて の情報

コントロール

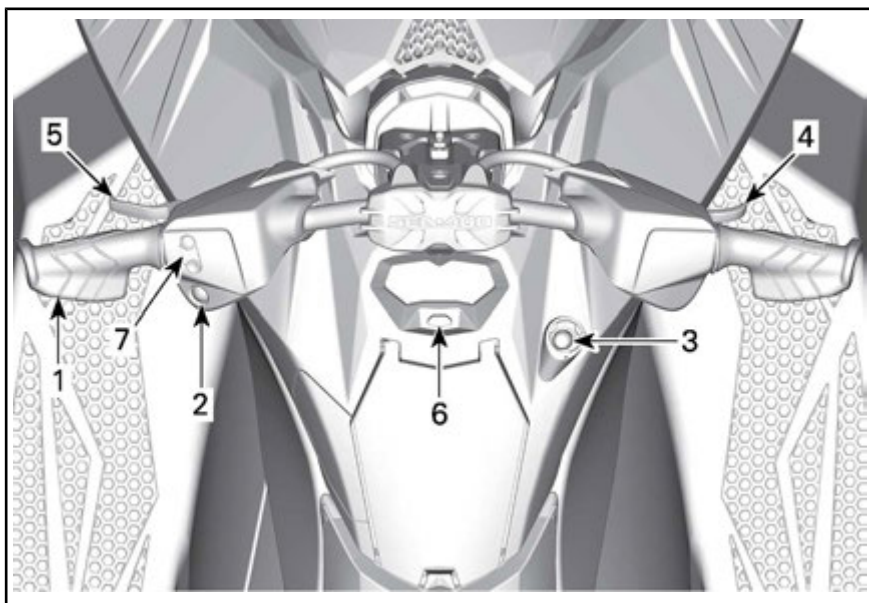
注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。船体の警告ラベルの
情報については、ウォータークラフトの警告ラベルのサブセクションをご参照く
ださい。



通常の例 - iBRなしのモデル



通常の例 - iBR付きモデル



TRIXXモデル

1) ハンドルバー

ハンドルバーはウォータークラフトの進行方向を制御します。前進中に、ハンドルバーを右に回すとウォータークラフトは右へ旋回し、左に回すと左へ旋回します。



代表例

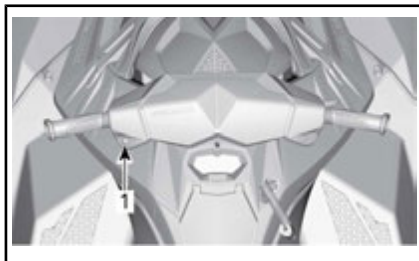
1. ハンドルバー

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。推進システムには近づかないでください。

2) エンジンのスタート/ストップボタン

エンジンのスタート/ストップボタンは左手のハンドルバーにあります。



代表例

1. エンジンのスタート/ストップボタン

エンジンの始動と停止

詳細な説明は、**使用上の諸注意**のサブセクションを参照してください。

電装システムの起動

エンジンカットオフスイッチにテザーコードを取り付けずにエンジンスタート/ストップボタンを一度だけ押します。

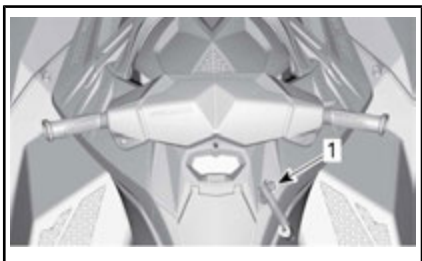
これで電子システムに電源が入ります。多機能ゲージはセルフテスト機能を行い、数秒後には表示は空白になります。

エンジンスタート/ストップボタンを押してから、約3分の間、電子システムの電源は入ったままになります。

注：テザーコードを取り付けずにエンジンスタート/ストップボタンを押し続けている間、多機能ゲージの継続して表示されます。

3)エンジンカットオフスイッチ

エンジンカットオフスイッチは多機能ゲージの右側に存在します。



代表例

1. エンジンカットオフスイッチ

エンジンを始動するには、テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチにしっかり装着することが必要です。

警告

網コードのクリップは必ずオペレーターの救命胴衣 (PFD) または手首 (リストストラップが必要) に取り付けてください。



代表例

1. エンジンカットオフスイッチのテザーコードキャップ
2. オペレーターの救命胴衣(PFD)につなげたテザーコードのクリップ

エンジンを止めるには、テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き外します。

警告

エンジンを停止すると、ブレーキ機能 (iBR搭載モデル) や全てのウォータークラフトの方向制御はできなくなります。

警告

ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、他人や子供が許可なく使用したり、盗まれないように、必ずテザーコードを外してください。

ラジオ周波数デジタル暗号化セキュリティシステム (RFD.E.S.S.) (コンビニエンスパッケージ)

テザーコードキャップには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路D.E.S.S.キーが組み込まれています。これが従来のキーと同じ役割をします。

D.E.S.S.システムは、エンジンカットオフスイッチに取り付けられたテザーコードキャップのキーを読み取り、キーを認識できる場合にだけエンジンの始動を許可します。

D.E.S.S.システムには高い柔軟性があります。追加のテザーコードを購入すれば、それをあなたのウォータークラフト用のD.E.S.S.キーとしてプログラムすることができます。

同一のウォータークラフトに対して、合計で10個までのD.E.S.S.をプログラムできます。

あなたのウォータークラフト用にキーをプログラムするには、BRP認定Sea-Dooディーラーにご相談ください。

RF D.E.S.S.キーの認識

短いブザー音が2回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。それ以外の場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。

RF D.E.S.S.キータイプ

2種類のキーが使用できます。

- ノーマルキー
- ラーニングキー(Learning key)

キーのタイプを簡単に見分けられるように、テザーコードのフロートは色が異なります。

キーのタイプ	フロートの色
通常	黄
ラーニング	緑

多機能ゲージはキーのタイプを表示します(ノーマルキーまたはラーニングキー)。

SEA-DOOラーニングキーはウォータークラフトの速度やエンジンのトルクを制限して、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせずにウォータークラフトの操縦方法を学べるようにします。

4) スロットルレバー

右手のハンドルバーにあるスロットルレバーは、エンジン速度を電子的にコントロールします。

ウォータークラフトの速度を上昇させるか、維持するには、スロットルレバーを指で引きます。

ウォータークラフトの速度を下げるには、スロットルレバーを放します。



代表例

1. スロットルレバー

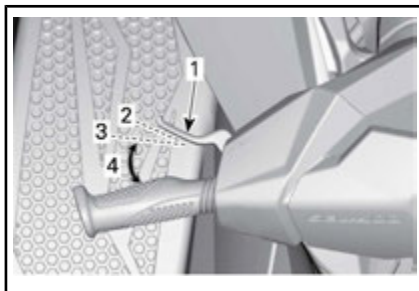
スロットルレバーにはばねが付いていて、押ししていないと静止位置(アイドルリング)に戻ります。

5) iBRレバー (インテリジェントブレーキおよびリバース) (iBR付きモデル)

左手のハンドルバーにあるiBRレバーは、次のような電子的な指令を出します。

- リバース
- ニュートラル
- ブレーキ

注：iBR機能を有効にするには、最低で25%のレバーの遊びが必要です。



代表的な例 - iBRレバー

1. iBRレバー
2. レバーの静止位置
3. iBR機能を有効にするには25%のストロークが必要
4. 動作範囲

7 km/h 未満の速度では、iBRレバーを引くとリバースに入ります。

7 km/h を超える速度では、iBRレバーを引くとブレーキがかかります。

ブレーキまたはリバース操作の後にiBRレバーを放すと、ニュートラルになります。

警告

iBRレバーを放したときにスロットルレバーを引いていると、少し遅れて前進が始まります。加速が不要なら、スロットルレバーを放してください。

詳細な説明は、**使用上の諸注意**のサブセクションを参照してください。

注：ブレーキ力はiBRレバーの位置に対して相対的です。

6) モードボタン

MODEボタンは多機能ゲージの真下にあります。



代表例

1. [モード]ボタン (MODE)

Rotax 900-TEC

多機能表示をスクロールするために使用されます。

Rotax 900 HO ACE

スポーツモードを有効または無効にしたり、多機能表示をスクロールするために使用されます。

詳細については、**多機能ゲージ**のサブセクションを参照してください。

7) 可変トリムシステム (VTS) ボタン (Trixx モデル)

VTSボタンは左手のハンドルバーにあります。



VTSコントロールボタン

1. 船首アップ
2. 船首ダウン

VTSコントロールボタンを使用して、ウォータークラフトのライディング姿勢を調整します。

詳細は、**使用上の諸注意**のサブセクションを参照してください。

多機能ゲージ (LCD)

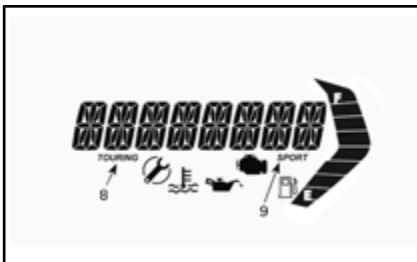
多機能ゲージ (LCD) はグローブボックスの上にあります。

多機能ゲージの説明



1. 多機能表示
2. 燃料レベル表示
3. 低燃料レベル表示
4. エンジン点検インジケータ
5. エンジン温度インジケータ
6. 低油圧インジケータ
7. メンテナンスインジケータ

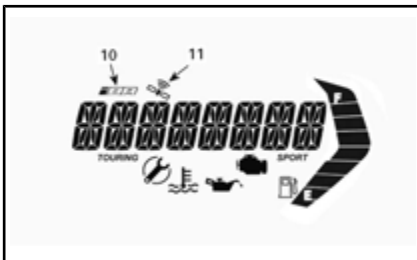
Rotax 900 HO ACE



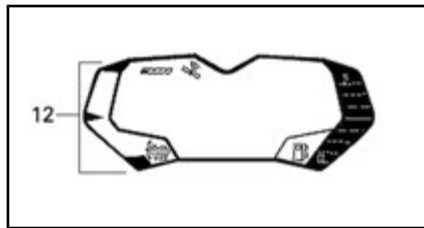
代表例

8. ツーリングモードインジケータ (Touring)
9. スポーツモードインジケータ (Sport)

iBR付きモデル



10. iBR故障インジケータ
11. GPS衛星間同期



10. VTSポジション表示

1) 多機能ディスプレイ

多機能ディスプレイを使用して、次を行えます：

- 電源投入時のようこそメッセージの表示 (WELCOME)。
- 動作モードの起動および設定。
- 機能の起動やシステムの異常に関するスクロールするメッセージの表示。
- 故障メッセージの表示。

2) 燃料レベル表示

棒状のゲージによって、運転中の燃料タンク内の量を常時表示します。



1. 燃料レベル表示
2. 上部セグメント
3. 下部セグメント

燃料タンクが満杯の場合、インジケータの8つセグメント (四角の点) 全部が点灯します。

燃料タンクがもうすぐ空の状態になると、二つの下部セグメントが閉き、低燃料インジケータランプが点滅し始めます。

3) 低燃料レベルインジケータ



このインジケータが点滅し始めた場合、燃料タンクの残量は約12Lです。

4) エンジン点検インジケータ (CHECK ENGINE)



このインジケータがONになると、エンジンの故障を意味します。LCD表示にメッセージが表示されているか確認してください。

このインジケータが点滅すると、**LIMP HOME**モードが起動していることを示します。

エンジン点検インジケータが点灯した場合は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を実施してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」を参照してください。

詳細は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。

5) エンジン温度インジケータ



このインジケータがONの場合、エンジンまたはエキゾーストシステムがオーバーヒートしている可能性を示します。

6) 低油圧インジケータ



このインジケータがONになった場合、低油圧を示します。LCD表示にメッセージが表示されているか確認してください。

7) [メンテナンスが必要]インジケータ



必要なメンテナンスの時期になると、[メンテナンスが必要]インジケータが点灯します。

[メンテナンスが必要]インジケータが点灯した場合は、認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細

は、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」を参照してください。

8) ツーリングモードインジケータ (Rotax 900 HO ACE)

ツーリングモードインジケータがONであると、デフォルトでツーリングモードが有効です。

注：ツーリングモードインジケータは、スポーツモードが起動された時にOFFになり、スポーツモードがOFFになった時にまた起動されます。

9) スポーツモードインジケータ (Rotax 900 HO ACE)

スポーツモードインジケータは通常は消灯しています。

スポーツモードを選択すると、スポーツ(SPORT)モードインジケータが点灯し、スポーツモードを解除するか、ウォータークラフトを停止するまで点灯し続けます。

10) iBR故障インジケータ (iBR付きモデル)



iBRシステムの故障が検出されると、iBR故障インジケータが点灯します。

詳細は、トラブルシューティングのサブセクションを参照してください。

11) GPSアクティブインジケータ (iBR付きモデル)



多機能ゲージに組み込まれたGPSが速度情報を多機能表示に提供します。

これは、デジタル画面にGPSのアクティブな表示があることで確認できます。

12) VTSインジケータ (VTS搭載モデル)



VTSを操作している間、VTSインジケータは点灯します。

左側バーゲージも点灯し、ウォータークラフトの船首の相対的姿勢を示します。

多機能ディスプレイの操作



制御できなくなる場合があるので、運転中は、表示を調整しないでください。

機能の選択

電装システムに電源が入り、クラスタがセルフテスト機能を完了すると、数秒の間、SEA-DOOへようこそ (WELCOME ABOARD SEA-DOO) というスクロールメッセージが表示されます。ウェルカムメッセージの後、多機能表示は最後に選択されたオプションを表示します。

注：MODEボタンを押してウェルカムメッセージをスキップすることができます。

多機能表示は、数値の表示、システムの動作モード (Rotax ACE 900 HO) およびアクティブシステムの故障メッセージなどを変更できる、様々な機能の選択メニューを表示するのにも使用されます。

注：測定の単位や言語の変更方法については、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

1. 多機能表示で使用できる様々なオプションを選択するには、次の中から使用したい表示オプションが表示されるまで[モード (MODE)]ボタンを素早く繰り返して押します。
 - 速度
 - RPM
 - 時間

表示オプションの詳細

速度

速度情報は測定単位設定に応じてkm/hまたはMPHの単位で表示することができます。

iBR付きモデル

速度表示は、多機能ゲージに組み込まれたGPS(グローバルポジショニングシステム)に基づいています。

何らかの理由でGPS信号が失われると、デフォルトモードになり、他のシステムから受信した情報で算出した速度がウォータークラフトの推定速度になります。

RPM

RPMは数字として表示されます。

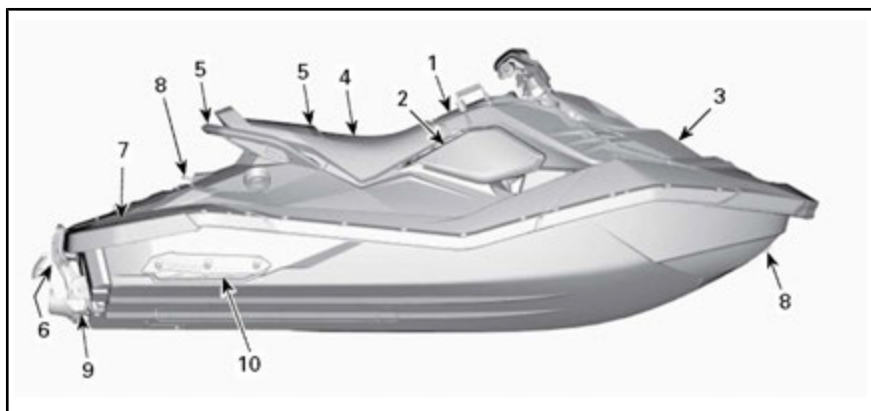
時間

「時間」はエンジンの累積時間を表示するために使用します。

求められ

注：図はすべてのモデルに対して必ずしも正確であるわけではなく、単なる視覚的なガイドです。

注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。船体の警告ラベルの情報は、ウォータークラフトの警告ラベルのサブセクションをご参照ください。



標準 - 2UPモデル



標準 - 3UPモデル



TRIXXモデル

1) グローブボックス

身の回りの品やセーフティDVDを保管するのに適している、シートの前に設置されている小型ストレージコンパートメントです。

注：グローブボックスは完全防水ではありません。

タブを前に押し、グローブボックスを開きます。



1. グローブボックス
2. タブ

2)安全器材キット用ストレージコンパートメント

安全器材キットまたは緊急キットのみ（別売用品）を保管する小さいエリアです。

注記 このエリアは一般の物を保管するために設計されていません。このエリアには他の物を保管しないでください。このエリアに他の物を入れると船体を損傷させる恐れがあります。

このストレージコンパートメントを開くには、右サイドパネルを手動で解除し、取り外します。



1. 右サイドパネル

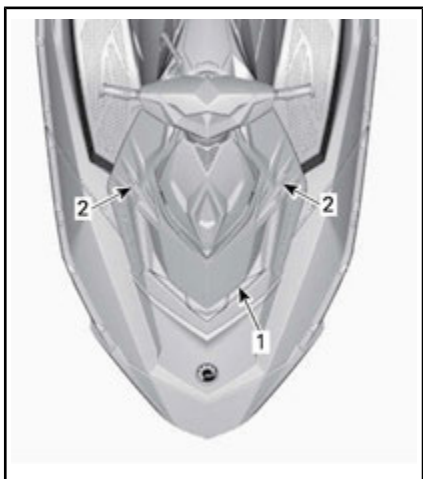


代表的な例 - 取り外された右サイドパネル

3) ストレージビン(コンビニエンスパッケージ)

防水性で取り外しもできる便利なエリアです。身の回り品を納めるのに適しています。

ストレージビンのフロントカバーを開くには、両側の蓋フックを外します。ライディングする場合は、必ずカバーを閉じてラッチします。



代表例

1. フロントカバー
2. 蓋フック

警告

緩い、重い、尖っている、または壊れやすい物を、決してストレージビンで運ばないでください。最大積載量2.5 kgを超えないでください。ストレージビンのフロントカバーを開けたままでウォータークラフトを操作しないでください。このコンパートメントは防水ではありません。

4) シート

シートラッチはシートの下にあります。

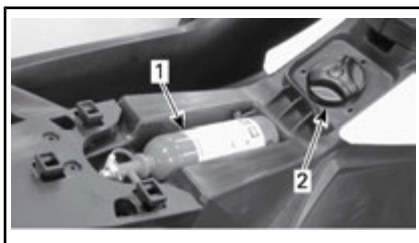
シートを取り外すにはラッチハンドルを上押し上げます。ラッチハンドルを放し、シートを後方にスライドさせます。



代表的な例L - シートラッチ

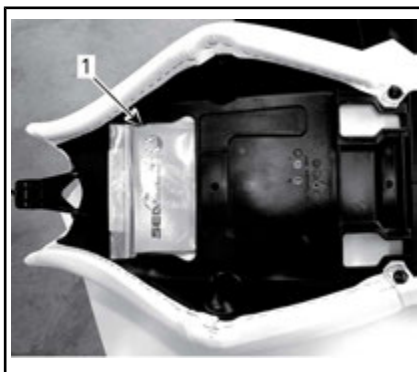
1. シートのラッチハンドル

シートを取り外すと、リアストレージコンパートメント (3UPモデルのみ)、オペレーターズガイド、消火器 (別売用品) および燃料キャップにアクセスできます。



代表的な例 - 取り外されたシート

1. 消火器
2. 燃料キャップ



代表的な例 - 取り外されたシートの裏面

1. オペレーターズガイド

シートを取り付けるには、シートを適切に位置付け、ラッチがカチッと入るまでシートを後方に押しします。

シートの後部を引き上げて、適切にラッチされていることを確認します。

5) 同乗者のつかみ所

シートストラップは、同乗者が乗船する際のつかみ所になります。

シートの後ろ側の鋳造されたグラブハンドルの横の部分も、同乗者のつかみ所になります。

注記 この鋳造されたグラブハンドルは、曳航やウォータークラフトの吊り上げには決して使わないでください。



代表的な例 - 同乗者のつかみ所

1. シートストラップ
2. 鋳造されたグラブハンドル

鋳造されたグラブハンドルの後ろの部分もスキーヤー/ウエイクボーダーの監視者 (3UPモデル) や水中からウォータークラフトに乗船する人のつかみ所になります。

6) ボーディングステップ (コンビニエンスパッケージ)

水中からウォータークラフトへ乗船する際に使用する便利なステップです。



代表例

1. ボーディングステップ

⚠ 警告

ボーディングステップを使ってウォータークラフトに乗船する場合は、必ず事前にエンジンを停止してください。

手でステップを引き下げ、膝がステップを乗るまで手で押さえておきます。



水中から乗船するために下げられたボーディングステップ

注記

- 陸上にあるウォータークラフトに乗る際は、決してステップを使わないでください。
- 牽引、曳航、潜水や飛び込み、あるいはボーディングステップとしての用途以外では、ステップを使用しないでください。
- 同時に2人以上でステップを使用しないでください。
- ステップは足ではなく、膝だけを使って乗り込んでください。

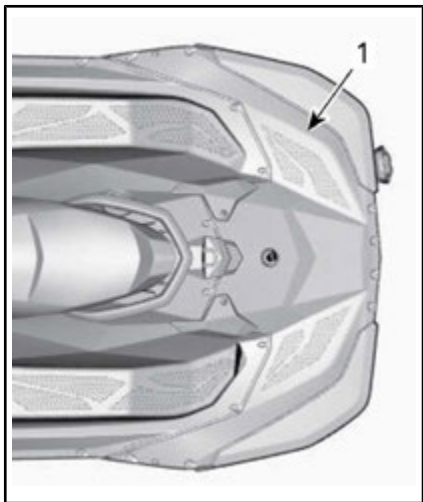
iBR付きモデル

警告

エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気をつけてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。

7) 乗降用プラットフォーム

後方のデッキ部分は乗降用プラットフォームとして使えます。



代表的な例 - 2UPモデル

1. 乗降用プラットフォーム



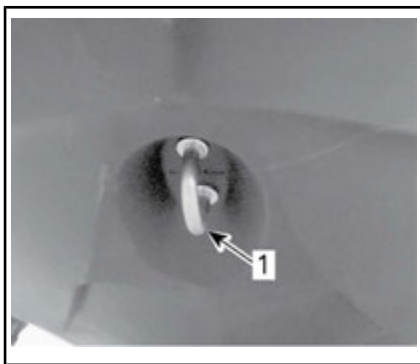
代表的な例 - 3UPモデル

1. 乗降用プラットフォーム

8) フロントおよびリアのアイレット

アイレットは係留、水上スキーヤー(3UPモデル)、ウェイクボードやチューブに乗っている人(3UPモデル)の曳航、およびウォータークラフトのトレーラー輸送時の固定ポイントとして使用できます。

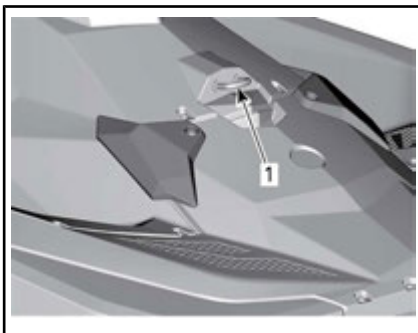
フロントアイレット



代表例

1. フロントアイレット

リアアイレット

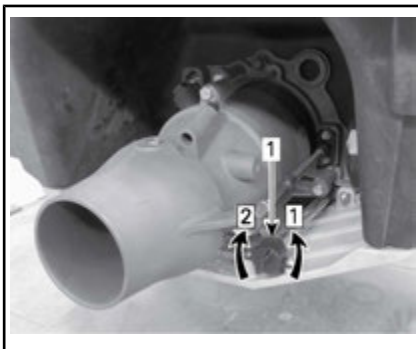


代表例

1. リアアイレット

9) ビルジドレンプラグ

ウォータークラフトをトレーラーに乗せるときは必ずドレンプラグを抜いてください。こうすると、ビルジ内に溜まった水が排出され、結露を防げます。



代表例

1. ドレンプラグ

手順1：緩む

手順2：締まる

注記 ウォータークラフトを水に浮べる前に、ドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

10) スポンソン

船体後部の両側に一つずつ固定されているスポンソンはウォータークラフトの安定性をさらに高めます。スポンソンは調整不可です。



1. スポンソン

11) リアフットレスト (Trixx モデル)

傾斜の付いたフットレストは、意図的に船尾を持ち上げる場合、コントロールを高めるために使用します。

12) 調整可能ハンドルバーライザー (Trixx モデル)

ハンドルバーの高さは、オペレーターの好みに合うように設定できます。

1. レバーを使用して、メカニズムのロックを解除します。



2. ハンドルバーを望む高さに調整します。
3. レバーを使用して、メカニズムをロックします。



慣らし期間

慣らし運転期間中の運転

5 時間の馴らし運転が終了するまでは、ウォータークラフトをフルスロットルで連続航行しないことが推奨されます。

この期間中は、最大スロットルを 1/2 ~ 3/4 以上に開けないようにしてください。ただし、短時間の全力加速やスピードの変化は適切な慣らしに役立ちます。

注記 慣らし運転期間中に、スロットルを全開にして航行を続けたり、長時間の巡航は有害です。

使用上の諸注意

警告

ウォータークラフトを使用する前に、必ず始業点検を実施してください。安全に関する情報およびウォータークラフトについての情報のセクションをよく読んで、iControlテクノロジーに習熟しておいてください。

操縦装置や注意事項についてよくわからないことがある場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトへの乗船

どんなウォータークラフトにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。

警告

ウォータークラフトへの乗船時、あるいはボーディングステップの使用時は、エンジンをオフにして、テザーコードを取り外さなければなりません。ウォータークラフトに乗り込むときに、決して推進システムのコンポーネントを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。

iBR付きモデル

警告

ウォータークラフトに乗り込むときに、iBRゲートを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。乗り込む際はゲートに体がぶつからないように気をつけてください。

ドックからの乗船

ドックから乗り込むときは、ハンドルバーを押さえながら、ウォータークラフトのドックに近い方のフットボードに一方の足をゆっくりと置き、同時にもう一方の側へと体重を移動してウォータークラフトのバランスを取ります。

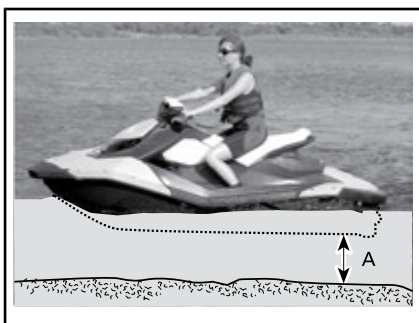
続いて、シートを跨ぐようにして、もう一方の足を反対側のフットボードに移してください。ドックを押して、ウォータークラフトをドックから離れさせます。



水中からの乗船

船体後部の最低位置の下に少なくとも90 cmの水深があることを確認してください。

すべての同乗者が乗り込むと、水上では船体が沈むことも考慮してください。推進システムが砂、小石や岩を吸い込んでしまわないように、指定された水深を必ず保つようにしてください。



A. すべての乗員が乗り込んだ状態で、船体後部の最低位置の下に少なくとも90 cmの水深があることを確認する

注記 水深の浅いところでウォータークラフトのエンジンを始動したり、航行したりすると、推進システムを損傷するおそれがあります。

オペレーターだけの場合 ボーディングステップなしのモデル

1. 片手を使って、リアハンドルをつかみます。
2. もう片方の手でボーディングプラットフォームをつかみながら、ボーディングプラットフォームの方膝

を乗っつけられるまで体を持ち上げます。



3. もう片方の膝をボーディングプラットフォームに乗せます。



4. シートのストラップを持ってバランスを保ちながら、シートのいずれかの側でフットボードの上へと前進してください。



シートを跨いで座ってください。

ボーディングステップ付きのモデル

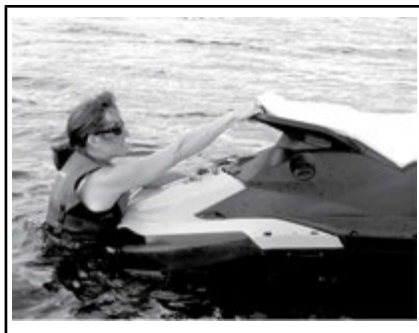
片手を使って、ボーディングステップを下げます。

もう一方の手を使って、ボーディングプラットフォームの端を掴み、ボーディングステップの上で跪けるように自分の体を引き上げてください。

注記

- ウォータークラフトに乗り込むときに、推進システムのコンポーネントを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。
- ステップは足ではなく、膝だけを使って乗り込んでください。

片方の手を前方へ伸ばして、シートの裏にある鋳造されたハンドルを掴み、ボーディングステップに膝を乗っけます。



シート裏のハンドルにつかまりながら、ボーディングプラットフォームに上がってください。





シートのストラップを持ってバランスを保ちながら、シートのいずれかの側でフットボードの上へと前進してください。



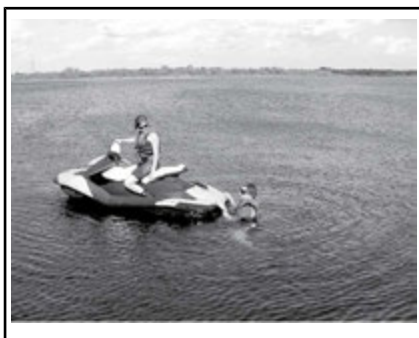
続いて同乗者がウォータークラフトに乗り込みます。このとき、オペレーターはできるだけコンソールの近くに座ってバランスを保ってください。



シートを跨いで座ってください。

オペレーターと同乗者が乗り込む場合

まず、先に説明したのと同じ方法でオペレーターがウォータークラフトに上がります。



警告

ウォータークラフトへの乗船時、あるいはボーディングステップの使用時は、エンジンをオフにして、テザーコードを取り外さなければなりません。ウォータークラフトに乗り込むときに、決して推進システムのコンポーネントを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。

波が荒いときは、水中にいる同乗者がウォータークラフトを支えて、オペレーターの乗り込みを助けてあげるとよいでしょう。



エンジンの始動方法

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、オペレーターも同乗者も必ず以下を守ってください：

- ウォータークラフトのシートに正しく座ってください。
- つかみ所をしっかり掴むか、前の人の腰につかまります。
- 地元の監督官庁等が認定したPFDなどの適切な保護衣およびウェットスーツの下半身部分を着用すること。
- iBRなしのモデルでは、PWCはエンジンが起動した直後に前進し始めます。

注記 エンジンを始動する前に、すべての同乗者が乗り込んだ状態で船体後部の最も低い場所の下に少なくとも90 cmの水深があることを確認してください。そうしないと、推進システムが損傷する場合があります。

1. 網コードのクリップを使用されているPFDまたは手首（リストストラップが必要）に取り付けてください。

2. 左手でハンドルバーをしっかりと握り、両足をフットボードに置いてください。
3. エンジンカットオフスイッチにテザーコードを取り付けます。
4. エンジンのスタート/ストップボタンを軽く押して、クランクを回しエンジンを始動させます。
5. エンジンが始動したら、エンジンの[スタート/ストップ]ボタンを直ちに放します。

⚠ 警告

ウォータークラフトを始動または操作する場合は、必ずテザーコードのクリップをオペレーターの救命胴衣(PFD)または手首（リストストラップが必要）につないでください。

注記 スターターの過熱を避けるため、エンジンのスタート/ストップボタンは10秒以上押し続けしないでください。クランキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。

エンジンの停止方法

iBR付きモデル

⚠ 警告

ウォータークラフトの方向制御を維持するため、ウォータークラフトが停止するまで、エンジンを止めないでください。

iBRなしのモデル

⚠ 警告

ウォータークラフトが完全に停止するには、エンジンが停止する必要があります。

全モデル

次の2つの方法のどちらかでエンジンを停止できます：

- エンジンの[スタート/ストップ]ボタンを押すか、
- エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外します。

警告

ウォータークラフトから降りる場合、盗まれたり、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したりしないように、必ずエンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外してください。

ウォータークラフトの操船方法



ハンドルバーを回すと、ジェットポンプノズルが軸を中心に向きを変え、ウォータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右へ回すとウォータークラフトが右へ旋回し、ハンドルバーを左へ回すとウォータークラフトが左へ旋回します。ウォータークラフトを旋回させるときはスロットルを開いてください。

警告

ウォータークラフトの向きを変えるには、スロットルを開いた状態でハンドルバーを回してください。ステアリング効率は、スロットル開度、同乗者の人数、荷重、水面のコンディション、および風などの環境要因によっても変化します。

自動車とは異なり、ウォータークラフトを旋回させるにはある程度スロットルを開く必要があります。安全な場所でスロットルを開けながら旋回して、想像上の物体を回避する練習を行ってください。これは衝突を避けるための大切なテクニックです。

警告

スロットルを放すと進路を制御しにくくなり、エンジンを止めると進路を制御できなくなります。

同乗者が乗っているとウォータークラフトは異なった挙動を示すようになり、より高い技術が必要になります。同乗者は必ずシートストラップ、鋳造されたクラブハンドルか前の人の腰につかまってください。速度を落とし、急旋回は避けてください。同乗者を乗せているときは、波の荒い水面を避けてください。

急回転や他の特別な操作

吸気口の開口が長い時間、水面下にあるような急回転や他の特別な操作を行うと、水がビルジにしみ込みます。

内燃 エンジン の運転には空気が必要です。したがって、このPWCを完全防水にすることはできません。

注記 狭い円で絶えず回転したり、波を通して船首を激しく上下させたり、ウォータークラフトを転覆させるなどで吸気口の開口が水面下にあると、水がビルジにしみ込み、エンジン内部の重大な損傷の原因になることがあります。このガイドに記載されている保証のセクションを参照してください。

O.T.A.S.™システム (オフスロットルアシステッドステアリング) (搭載されている場合)

O.T.A.S. (オフスロットルアシストステアリング) システムは、オフスロットル状態での追加の操作性を提供します。

旋回を始めてから、運転者がスロットルを放してアイドルにするると、O.T.A.S.システムが電子的に起動し、エンジンの回転数が少し上がって旋回を完了できます。

ハンドルバーがセンターポジションに戻ると、スロットルもアイドルに戻ります。

最初の操船の際に、この機能に慣れておくことをお勧めします。

ニュートラルの入れ方 (iBR付きモデル)



警告

ニュートラルポジションであっても、エンジンが動いているときはドライブシャフトやインペラーは常に回転しています。ウォータークラフトの推進システムには、決して近づかないでください。

ウォータークラフトを始めて始動させると、デフォルトでiBRシステムは自動的にニュートラルポジションにセットします。

ニュートラルから前進へポジションを切り替えるには、iBRレバーを叩きます。

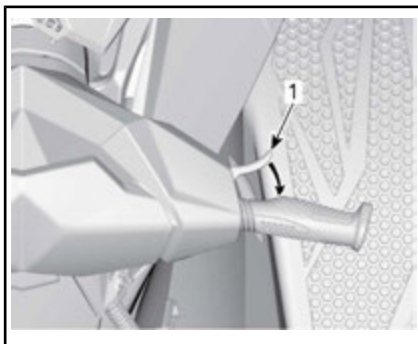
ニュートラルからリバースへポジションを切り替えるには、iBRレバーとスロットルレバーを放します。

前進ギアの入れ方 (iBR付きモデル)

前進からニュートラルに切り替えるには、スロットルレバーを叩いてください。ウォータークラフトは前進で加速します。

前進からリバースへポジションを切り替えるには、iBRレバーを放して、スロットルレバーを叩きます。

前進からブレーキに切り替えるには、iBRレバーを放しながら同時にスロットルレバーを引きます。少し遅れて、ウォータークラフトは前進で加速します。



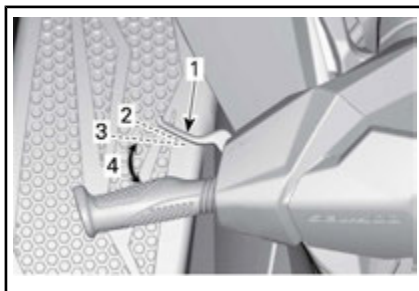
通常の例 - ニュートラルへの切り替え

1. スロットルレバー

リバースの入れ方および使用方法 (iBR付きモデル)

リバースに入れられるのは、速度がアイドリング速度以上で、前進基準速度7 km/h 以下の場合だけです。

リバースポジションにするには、左手のハンドルバーのiBRレバーを少なくともレバーの遊びの25%は引っ張らなくてはなりません。



代表的な例 - iBRレバー

1. iBRレバー
2. レバーのリリース位置
3. 約25%の位置
4. 動作範囲

iBRレバーをリバースモードで操作する場合、スロットルレバーを使ってエンジンのRPM、つまり発生する後退スラストの量を制御できます。

スロットルレバーを調節することで、後退スラストをより正確にコントロールすることができます。エンジンの回転数を上げすぎると、水の渦が発生してリバースの効率は低下します。

注：iBRレバーのポジションを変更するたびに、エンジンの出力は制限されます。

iBRレバーを放すと、リバース操作が終了します。

iBRレバーを放した後、後方への動きを止めるには、十分にスロットルを引いて後方への動きを止めます。



警告

後退時は、ブレーキ機能は効果がありません。

リバースモードでは利用できるエンジン出力に限りがあり、後退速度も制限されます。

警告

リバースは低速でのみ使用し、かつできるだけ短時間にとどめてください。必ず、後退する方向に物、障害や人が存在しないことを確認してください。

リバース操作では、ウォータークラフトの後部を動かしたい方向とは反対の方向へハンドルバーを回してください。

例えば、ウォータークラフトの後部を左舷（左）へ寄せたいときには、ハンドルバーを右舷（右）へ切ります。



代表例 - 後退時、反対側にステアリングを切る

注意 リバースでのステアリングの方向は前進の場合とは反対になります。後退時にスターン（船尾）を左舷（左）に操縦するには、ハンドルバーを右舷（右）へ回します。スターン（船尾）を右舷（右）に操縦するには、ハンドルバーを左舷（左）へ回します。狭い場所で操船する前に、制御やウォータークラフトのハンドリングの特性に慣れるために広い水域でリバースの操作を練習してください。

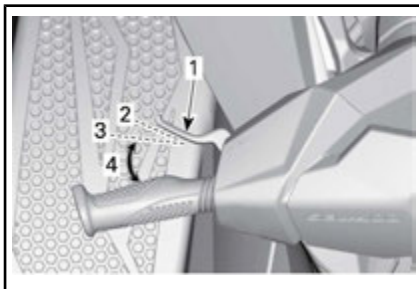
ブレーキのかけ方および使用方法 (iBR付きモデル)

警告

- ブレーキを使うには、エンジンが動いていなければなりません。
- ブレーキを使用できるのは前進中だけであり、後方への動きには効果がありません。
- ブレーキでは、PWCが水流や風によって漂うのを防ぐことはできません。

ブレーキ機能は、基準速度の 7 km/h 以上で前進している場合にだけ有効です。

左手のハンドルバーのiBRレバーを少なくとも遊びの25%以上引くと、ブレーキが利き、制御できます。



代表的な例 - iBRレバー

1. iBRレバー
2. レバーのリリース位置
3. 約25%の位置
4. 動作範囲

警告

制御やウォータークラフトのハンドリングの特性に慣れるために、必ず広い水域で、徐々に速度を上げて、ブレーキを練習してください。

iBRレバーを操作すると、スロットルレバーによる指令に優先し、エンジンのスロットルの制御はiBRレバーのポジションに依存するようになります。こうして、iBRレバーだけを使用して、ブレーキを調整できます。

ウォータークラフトの原則は、ブレーキ力に比例します。より強い力でiBR

レバーを引くと、より強くブレーキが利きます。

注：iBRレバーを徐々に作動させてブレーキ力を調整し、同時にスロットルレバーを戻すことに注意してください。

注意 ブレーキをかける場合、乗員は減速力に対して注意を払い、ウォータークラフト上で前に移動したり、バランスを失うのを防がなければなりません。オペレーターは常に両手をハンドルバーに乗せ、全ての同乗者は必ず、つかみ所、または前に乗っている人の腰をしっかり握っていません。

警告
初速、荷重、風、搭乗者の人数、水面の状況やオペレーターによるブレーキの量などにより、停止距離は大きく変化します。常に、状況に応じてライディングスタイルを調整してください。

ウォータークラフトの速度を 7 km/h より低くすると、ブレーキモードが終了し、リバースモードになります。ウォータークラフトが停止したら、iBRレバーを放してください。iBRレバーを放さないで、後方への動きが始まります。

注意 ウォータークラフトは停止するのに時間がかかるので、ウォータークラフト自身が作った波が追いつき、前に押し出す傾向があります。航行する方向に障害物や水遊びをしている人がいないことを確認してください。

iBRレバーを放したときにスロットルレバーを引いていると、少し遅れてウォータークラフトは前進し始めます。加速は、スロットルレバーのポジションに比例します。

警告
ブレーキレバーを放したときに前進方向への加速を望まない場合は、スロットルレバーを放してください。

高速で航行していて初めてブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続の

ウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCをしばらく見失うことがあります。

警告

- 船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレーターには、あなたのPWCのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、ウォータークラフト間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。
- 近くで後続または航行している他のボートは、同じように迅速には停止できないかもしれないことに注意してください。

旋回中のブレーキ

前述したように、iBRレバーを使って旋回するとブレーキを利かせられます。PWCと航跡が交差する場合は、バランスを失わないように気をつけてください。

注意 旋回中にブレーキをかけてもウォータークラフトが停止するのに時間がかかるので、ウォータークラフト自身が作った波が追いつき、横に押し流す傾向があります。航跡とウォータークラフトが交差する場合は、バランスを失わないように気をつけてください。

可変トリムシステム(VTS)の使用法

可変トリムシステム(VTS)はジェットポンプノズルの角度を変えます。

ウォータークラフトを初めて使う場合、オペレーターは様々な速度と水面の状態でも可変トリムシステム(VTS)を操作してみて、その使い方に慣れておいてください。コンディションに応じた最良のトリムの判断は、経験に頼るほかありません。低速での航行が推奨されているウォータークラフトの慣らし運転期間中は、トリムの調整とその効果について経験を積む絶好の機会になるでしょう。

VTSシステムでは、ノズルのトリムポジションを手動で調整することや、2つのプリセットトリムポジションを選択することが可能です。

VTsの手動調整

トリムポジションは9か所あります。ウォータークラフトを前進走行させている場合、以下のように操作します。

VTsの[上] / [下]ボタンを押して放し、1つのポジションのVTsを動かします。

VTs [上]ボタンやVTs [下]ボタンを押したままにすると、ボタンを放すまでポンプノズルが動き続けます。



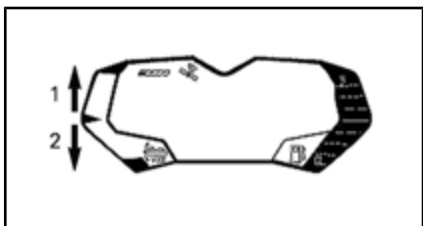
VTsコントロールボタン

1. 船首アップ
2. 船首ダウン

エンジンをOFFにした状態でVTsボタンを押すと、ゲージの向きが変わりますが、ジェットポンプノズルのポジションは変わりません。ノズルのポジションが変わるのは、次回エンジンを始動して前進するときです。

エンジンがニュートラルで動作しているときにVTsボタンを押すと、VTsポジションが変化し、オペレーターはニュートラルポジションを調整することができます。

VTsポジションが多機能ゲージに表示されます。



1. VTs[上]表示
2. VTs[下]表示

VTs設定ガイドライン

設定	使用
センター	高速で走行する
Down (下)	負荷を補正する、ニュートラル姿勢を取る、船体が水面を飛び跳ねるのを抑制する
わずかに上げる	ニュートラル姿勢を取る
Up	意図的に船首を上げる

注意 VTsを高い設定にして高速走行すると、ハンドリングが影響を受けます。

プリセットトリムポジションの使用

2つのプリセットトリムポジション（センターとフルアップ）が選択できます。

最高トリムポジションを選択するには、VTs [上]ボタンをダブルクリックします。

注意 VTsを高い設定にして高速走行すると、ハンドリングが影響を受けます。

センタートリムポジションを選択するには、VTs [下]ボタンをダブルクリックします。



[上]または[下]のVTSボタンをダブルクリックして、プリセットポジションを使用する

1. [上]矢印の最高プリセットポジション
2. [下]矢印のセンタープリセットポジション

一般的な操作の推奨

波の荒いときや視界の悪いときの航行

このように条件の悪いときはできるだけ航行を避けてください。どうしても航行しなければならない場合は、最低限の速度で警戒しながら慎重に進んでください。

波を横切るとき

オペレーターはハンドルをしっかり握り、両足をフットボード上に留めておく必要があります。

同乗者は両手で取っ手を握り、両足をフットボード上に留めておく必要があります。

速度を落としてください。

必要に応じていつでもステアリングを操作し、バランスを取れるよう構えてください。

波の上を走る場合、足を使って水面からの衝撃を和らげるために、体を席から多少上げてください。

他の船の航跡を横切るときは、必ず先行するウォータークラフトとの間に安全な距離を保ってください。

警告

航跡を横切るときは十分に速度を落とすとしてください。オペレーターや同乗者は自分の体を支え、衝撃を吸収できるように半立ちの姿勢でいてください。波や航跡でジャンプしないでください。

停止/ドック入れ

スロットルを放すと、船体が水を引っ張り、ウォータークラフトは減速します。停止距離はウォータークラフトのサイズ、重量、速度、水面の状況、風や潮流の有無とその向きによって変わってきます。



異なる状況での停止距離に慣れるために、オペレーターは広い水域で様々な速度で練習する必要があります。

iBRなしのモデル

警告

ウォータークラフトが完全に停止するには、エンジンが停止する必要があります。

iBR付きモデル

警告

広い水域でブレーキをかける場合、必ず周囲、特に後方に他のウォータークラフトやボートがないことを確認してください。あなたがいきなり水路の他の人達の前で急停止することになり、彼らが余裕をもって操作や停止ができない場合があります。

iBRシステムは、ウォータークラフトを迅速に減速または停止させるためにも使用できませんし、特にドック入れの際の操作性を向上させるためにも使用できません。ブレーキを部分的、あるいは全面的にかけた場合のウォータークラフトのハンドリング特性に慣れるために、特に直進や旋回でのiBRシステムを使用した停止の練習をするべきです。

高速で航行して初めてブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続のウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCをしばらく見失うことがあります。

警告

船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレータには、あなたのPWCのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、両者の間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。

また、オペレータは利用できる様々なコントロール（iBRレバーやスロットルレバー）を使用して、想像上のドックでドック入れの練習もしておくべきです。

予定の上陸地点から逆算して、十分に手前からスロットルを戻してください。

アイドリング状態まで減速します。

iBRレバーとスロットルレバーを組み合わせた操作、ニュートラル、リバースや前進へのシフト変更などが必要です。

後進中は、ステアリングの方向が逆になることを覚えておってください。後進中は、ハンドルバーを左に回すと船尾は右に動き、逆も同様です。

警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。ウォータークラフトを後進させている場合、ステアリングの方向は逆になります。

浜辺に乗り上げるとき

注記 ウォータークラフトを直に浜辺に乗り上げることは推奨できません。

浜辺に向かってゆっくり進み、船体後部の最も低い場所の下の水深が90 cm未満になる前にエンジンを停止してください。そこから浜まではウォータークラフトを引いてください。

注記 水深が浅い場所でウォータークラフトを走らせると、推進システムのコンポーネントが損傷するおそれがあります。水深が90 cm未満になる前に必ずエンジンを停止し、絶対にリバースやブレーキを使用しないでください。

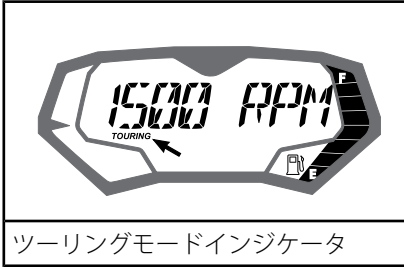


動作モード (ROTAX 900 HO ACE)

ツーリングモード

デフォルトでは、最初の始動時はウォータークラフトはツーリング (TOURING) モードになります。

多機能ゲージでツーリング (TOURING) モードインジケータがオンであれば、有効な動作モードを確認できます。



スポーツモード

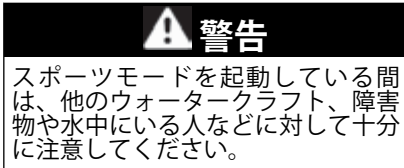
選択すると、スポーツ (SPORT MODE) モードではスロットルの俊敏な応答が可能になり、ツーリング (TOURING MODE) モードより速い加速ができます。

多機能ゲージでスポーツ (SPORT) モードインジケータがオンであれば、有効な動作モードを確認できます。

有効にすると、オペレーターが無効にするか、エンジンが停止してデフォルトでツーリング (TOURING MODE) モードに戻るまで、スポーツ (SPORT MODE) モードのままになります。

スポーツモードを起動する

スポーツモードを起動するには、以下を実行します。



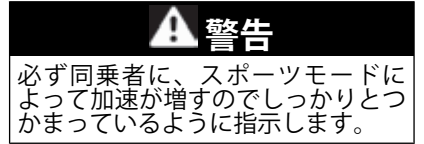
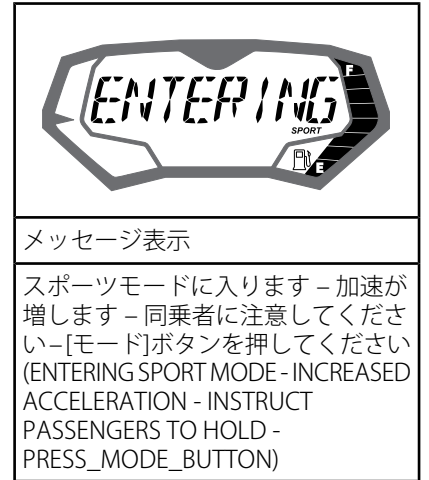
1. エンジンを始動します。
2. モードボタンを3/4秒以上押し続けます。



代表例

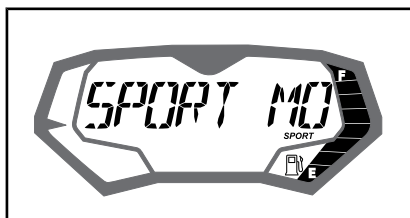
1. モードボタン

ブザー音が2回鳴り、次のメッセージが多機能ゲージに表示されます。



3. MODEボタンをもう一度押してメッセージを承認し、スポーツモードを起動します。

ブザー音が1回鳴り、スポーツモード有効 (SPORT MODE ACTIVATED) というメッセージがしばらくスクロール表示され、スポーツモードが起動されたことが示されます。

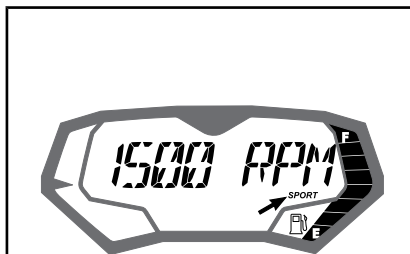


メッセージ表示

スポーツモード有効 (SPORT MODE ACTIVATED)

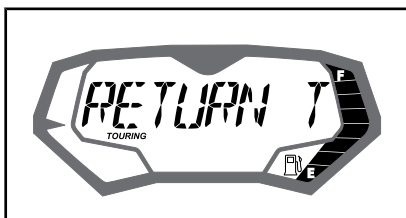
注：数秒で、ゲージは通常の表示に戻ります。

4. スポーツモード (SPORT) インジケータが点灯していることを確認します。



スポーツモードインジケータ

注：スポーツモード (SPORT) が起動している間は、スポーツモードインジケータが点灯しています。スロットルが完全にリリースされておらず、エンジンがアイドル状態でない場合、スポーツモードを起動することはできません。次に、多機能ゲージに次のメッセージが表示されます。



メッセージ表示

スポーツモード - アイドル状態に戻って起動させる (SPORT MODE - RETURN TO IDLE TO ACTIVATE)

スロットルを放します。エンジンがアイドル状態に戻った後に、スポーツモードは起動されます。

スポーツモードの停止

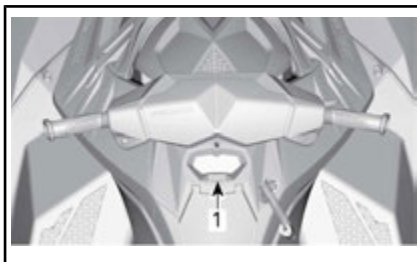
スポーツモードを停止するには、以下を実行します：

⚠ 警告

スポーツモードをOFFにする際は、他のウォータークラフト、障害物や水中にいる人などに対して十分に注意してください。

1. モードボタンを3/4秒間押し続けます。

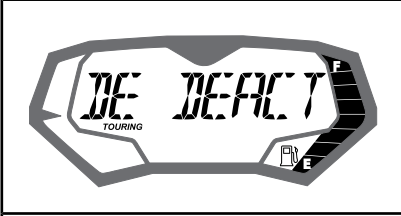
注：多機能表示に次のメッセージがスクロール表示されます：スポーツモード無効 (SPORT MODE DEACTIVATED) .



代表例

1. [モード]ボタン (MODE)

注：多機能表示に次のメッセージがスクロール表示されます：スポーツモード無効 (SPORT MODE DEACTIVATED)。

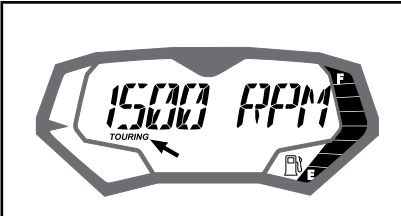


メッセージ表示

スポーツモード無効 (SPORT MODE DEACTIVATED)

注：数秒で、多機能ゲージは通常の表示に戻ります。

2. ツーリング(TOURING) モードインジケータが点灯していることを確認します。



ツーリングモードインジケータ

特殊手順

ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃

警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡むことがあります。

水草、貝殻、あるいはその他の異物が、インテークグレート、ドライブシャフトおよび/またはインペラーに引っかかったり、絡んだりすることがあります。ウォーターインテークが詰まると、次のようなトラブルの原因になります：

- **キャビテーション**：推進力が低下するため、エンジンの回転を上げてもウォータークラフトが低速でしか進まず、ジェットポンプのコンポーネントを損傷する恐れがあります。
- **オーバーヒート**：エキゾーストシステムを冷却する水の流れはジェットポンプの作動に依存しているため、インテークが詰まるとエキゾーストのオーバーヒートの原因になり、エキゾースト部品が損傷するおそれがあります。

水草が詰まった部分は、次のような手順で清掃することができます：

警告

推進システムに入っている異物を取り除くために手を入れる必要がある場合、必ずエンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外してください。

水中での清掃

エンジンが始動しない程度に[エンジンスタート/ストップ]ボタンを瞬間的に繰り返して押しながら、ウォータークラフトを左右に数回揺さぶります。大半の場合は、これで詰まりが解消されるはずですが、エンジンが始動して、ウォータークラフトが正常に作動するか確認してください。

注記 エンジンを始動する前に、すべての同乗者が乗り込んだ状態で船体後部の最も低い場所の下に少なくとも90 cmの水深があることを確認してく

ださい。そうしないと、推進システムが損傷する場合があります。

iBR付きモデル

また、上記の方法で効果がなければ、次のような方法も試してみてください：

- エンジンがかかっている状態で、スロットルを開ける前に、iBRレバーをリバースのポジションに入れ、すばやく数回スロットルを変動させてみます。
- 必要に応じて、この手順を繰り返します。

全モデル

まだシステムが詰まっているようなら、ウォータークラフトを水中から揚げて清掃します。陸上での清掃を参照してください。

陸上での清掃

警告

推進システムのコンポーネントの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動しないように、必ずテザーコードをエンジンカットオフスイッチから取り外してください。

清掃のためウォータークラフトを横倒しにしたときにキズがつかないように、ウォータークラフトの脇に厚紙カーペットを敷きます。

清掃のためにウォータークラフトを左右どちらかに回転させるように傾けま



通常の例 - iBRなしの2UPモデル

ウォーターインテークまわりを清掃してください。それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

注記 清掃と併せて、ウォーターインテークグレートに損傷がないか点検してください。必要があれば、Sea-Doo認定ディーラーに修理を依頼してください。

BR付きモデル：推進システムへアクセスしやすくするために、iBRを前方へ移動させます。詳細な方法は、iBR優先機能を参照してください。

iBR優先機能(iBRを搭載しているモデルの場合)

iBR優先機能が有効な場合、ユーザーはVTSコントロールボタンを使って、iBRゲートやノズルを可動範囲全体で電氣的に動かせます。

注：iBR優先機能が利用できるのは、エンジンが動作してない間だけです。

警告

iBR優先機能を使用してiBRゲートを動かす場合、ウォータークラフトの後部周辺に人がいないことを確認してください。ゲートが動いて、指などを挟みこむ場合があります。

注記 iBR優先機能を使用する際にiBRシステムに物体や工具が挟まると、iBRコンポーネントの損傷の原因となります。iBRゲートを動かす前に、障害となる全ての堅い異物を取り除いてください。

警告

推進システムに入っている異物を取り除くために手を入れる必要がある場合、必ず事前に以下を守ってください。

- エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外します。
- 5分以上待ちます。
- [START]/[STOP] ボタンを押さないでください。[スタート/ストップ] ボタンを押してしまった場合は、5分以上待ちます。

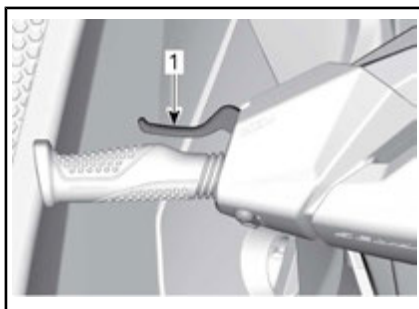
iBRオーバーライド機能の起動

iBR優先機能を有効にするために、以下の手順を実行します。

1. [スタート/ストップ] ボタンを押して、電子システムの電源をオンにします。
2. エンジンカットオフスイッチにテザーコードを取り付けます。

注：セルフテスト機能が終了した後も、インフォメーションセンターのすべての表示が消えないように、テザーコードをつないでおきます。約3分間、電源はオンになっています。

3. 手順の間、iBRレバーを引いて保持しておきます。

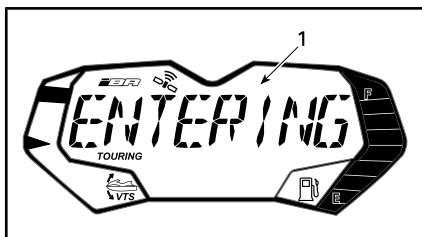


1. iBRレバーを引いて保持した状態

4. 以下のメッセージが多機能ゲージに表示されたら、[SET]ボタンを押します。

多機能ゲージのメッセージ

「ENTERING iBR OVERRIDE - PRESS SET BUTTON (iBR優先機能を有効にします - [SET]ボタンを押してください)」



代表例

1. 多機能ゲージのメッセージ

数秒後、以下のメッセージが多機能ゲージに定期的にスクロール表示されます。

多機能ゲージのメッセージ

「iBR OVERRIDE ON- RELEASE LEVER TO EXIT (iBR優先機能が有効になりました - 停止するにはレバーを放します)」

5. iBRレバーを押し込んだままでVTS UP/DOWNボタンを押してiBRゲートを希望する位置まで動かします。多機能ゲージ内のVTSの表示が、iBRゲートの移動とともに変わることを確認してください。iBRゲートが上方に動けば、表示が上方に動きます。
6. iBRレバーを放します。
7. エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外します。

警告

推進システムに入っている異物を取り除くために手を入れる必要がある場合、必ず事前に以下を守ってください。

- エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外します。
- 5分以上待ちます。
- [START]/[STOP]ボタンを押さないでください。[スタート/ストップ]ボタンを押してしまった場合は、5分以上待ちます。

iBR優先機能の停止

iBR優先機能を停止するには、iBRレバーを放します。多機能ゲージ内の「iBR OVERRIDE ON- RELEASE LEVER TO EXIT」(iBR優先機能が有効になりました - 停止するにはレバーを放します)メッセージのスクロール表示が消えます。

注：エンジンを始動すると、iBRゲートはニュートラルポジションに移動します。

警告

iBR優先機能を使用してiBRゲートを動かす場合、ウォータークラフトの後部周辺に人がいないことを確認してください。ゲートが動いて、指などを挟みこむ場合があります。

ウォータークラフトが転覆したとき

ウォータークラフトは簡単には転覆しないように設計されています。船体の両サイドにはスポンソン（浮き）が取り付けられており、ウォータークラフトの安定性をさらに高めています。ただし、一度転覆してしまうと、自力では復帰しません。

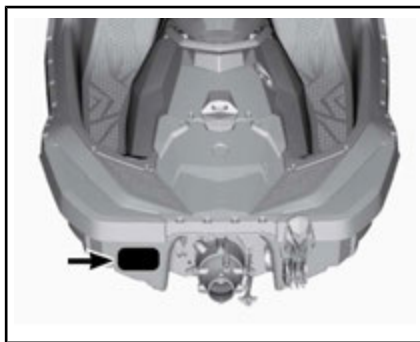
警告

ウォータークラフトが転覆しているときは、エンジンの再始動を試みないでください。オペレーターと同乗者は認定された救命胴衣を着用してください。

注意 船体内の熱交換器が大変熱くなる場合があります。火傷の恐れがありますので、熱交換器には触れないでください。

ウォータークラフトを正立状態に戻すには、エンジンがオフであり、テザーコードがエンジンカットオフスイッチにないことを確認します。インレットグレートをつかみ、サイドバンパーレールに足をかけ、体重を利用してウォータークラフトを手前へ回転させてください。

注：船尾のフラッシングコネクタ付近のラベルに、ウォータークラフトを正立状態に戻す方法が記載されています。ウォータークラフトが転覆した場合に正しく読めるように、ラベルは上下逆になっています。



ウォータークラフトが本来の姿勢に戻ると、通常通りにエンジンを始動できます。

注：ビルジ内に蓄積された水を排出するために、5000RPM以下のエンジン速度で車両を約5分間乗り続けることが推奨されます。絶対に5000RPM以上の速度を出さないこと。さもないと、水がエンジン内に入ってしまう恐れがあります。

注記 ウォータークラフトが5分間以上転覆していた場合は、水を吸い込んでエンジンが損傷するのを避けるため、クランキングを試みないでください。できるだけ早くSea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

注記 エンジンがクランキングをしない場合は、それ以上、始動を試みないでください。エンジンを損傷する恐れがあります。できるだけ早くSea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

できるだけ早いうちにビルジ内に水が入っていないか点検してください。岸に戻ったら、必要に応じてビルジ内の排水を行います。

ウォータークラフトが水没したとき

エンジンの損傷を最小限にとどめるため、できるだけ早いうちに次の手順を行ってください。

ビルジの排水を行います。

塩水に沈んだ場合は、散水用ホースを使ってビルジとすべてのコンポーネントを真水で洗い流し、塩水による腐食を防いでください。

注記 エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトをSea-Doo認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注記 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。

エンジン内に水を吸い込んだとき

注記 エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトをSea-Doo認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注記 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。また、適切なエンジンの整備を受けないと、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

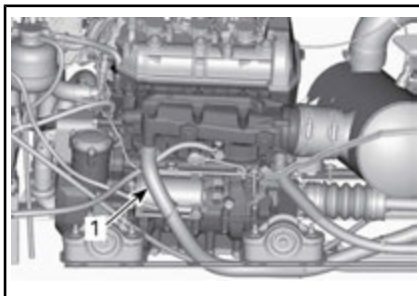
水上でのウォータークラフトの曳航

Sea-Dooウォータークラフトを水上で曳航するには、いくつかの特別な注意を払う必要があります。

推奨される最高曳航速度は、21 km/hです。

ウォータークラフトを牽引する場合、給水ホースをエンジンコンパートメント内に固定させてください。

給水ホースにアクセスするには、左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



1. 給水ホース

取り外しとは逆の手順で左アクセスカバーを再度取り付け、ノブを反時計回りに1/4回転させてノブをロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。




左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。

警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。怪我を避けるために、エンジンがクールダウンするまで待ってください。

 **注意** ウォータークラフトを牽引する前にホースが適切に固定されていることを確認してください。エンジンが起動されていない状態でホースが適切に固定されていない場合、エキゾーストシステム内に水が溜まり、水がエンジン内に浸入し、損傷を招きます。

注記 この指示を守らないとエンジンに損傷を及ぼす恐れがあります。自力走行できなくなったウォータークラフトを曳航する場合、最高曳航速度の21 km/h以下の速度を維持してください。

メンテナンス情報

メンテナンスのスケジュール

ウォータークラフトを安全な作動状態に保つためには、メンテナンスが非常に重要です。ウォータークラフトはメンテナンススケジュール通りに整備される必要があります。

サービス店または担当整備士が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には BRP または Sea-Doo 認定ディーラーによるサービスや部品は必要ありません。Sea-Doo 認定ディーラーは、Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトのサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、Sea-Doo 認定ディーラーまたは BRD と取引のある工場の使用を条件としていません。排出ガス関連保証の請求では、BRP は排出ガス関連部品の診断と修理を Sea-Doo 認定ディーラーに制限しています。詳細は、本書に記載された米国 EPA 排出ガス関連保証を参照してください。適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA はエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

ウォータークラフトに次の機能が搭載されていない場合、以下に記載されているシステムの情報は無視してください。

- iBR (インテリジェントブレーキおよびリバース)

各列の使用時間が超過される度に、該当するスケジュールに記載されているすべてのメンテナンスを行ってください。

注：例：200時間または2年経過した場合、この列のすべてのメンテナンス、および100時間ごとまたは1年ごとの列のメンテナンスも実施します。

警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切にウォータークラフトを維持しないと、安全な作動を損ねます。

スケジュール通りにメンテナンスを行っていても、日常点検は必要です。

年一度シーズン前に、または100運転時間ごと (いずれか早い方)
故障コードの有無の確認
走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。
エンジンオイルとフィルターの交換
エンジンラバーマウントの点検
エンジンコンパートメントの金属部品への防錆潤滑剤の吹き付け（塩水環境の場合は10時間ごと）
エキゾーストシステムの漏れ、ホースやクランプの緩みを点検。（塩水または汚れた水で使用した後は毎回洗浄）
冷却システムの点検（クーラントのレベル、ホースおよびファスナでの漏れ）

年一度シーズン前に、または100運転時間ごと (いずれか早い方)
エンジンの濯ぎ (海水で使用後は毎回)
燃料システムの漏れテスト
スロットルボディおよび接続ソケットから吸気マニホールドまで点検
エアインテークホースおよびクランプの損傷を点検
スパークプラグとイグニッションコイルを点検
電気系コネクター類の状態と締め付け (イグニッションシステム、始動システム、燃料インジェクター、ヒューズボックスなど) の点検
ステアリングケーブルと接続部を確認する
O.T.A.S.の動作確認 (動作の点検) -O.T.A.S.装備を装備したウォータークラフトのみ
ステアリングノズルブッシングの確認
ステアリングケーブルと接続部を確認する
カーボンリングとドライブシャフトラバーブーツの点検 (汚れた水の中でPWCを使用している場合はより頻繁に点検)
インペラ、インペラブーツおよびウエアリングの状態の点検
インペラとインペラウエアリングのクリアランスの測定
インペラシャフトの半径方向の遊びの確認
ジェットポンプハウジングの点検
ドライブシャフトのスプラインおよびインペラの確認と潤滑
iBRゲートバックラッシュの確認
VTSトリムリング、リバーサポートおよびiBRゲートの確認
iBR保護ガードの点検
以下の項目は、100使用時間の経過または保管時期の、どちらか先に訪れた時に行ってください。
インペラシャフトシール、スリーブ、Oリングおよびインペラカバーを点検する
燃料キャップ、フィルターネック、燃料タンク、燃料タンクストラップ、燃料ライン、接続の点検

走行200時間ごと

スパークプラグの交換

フレームアレスターを点検する

ドライブシャフト/PTOスプラインを点検・潤滑する

以下の項目は、年数に関係なく200時間毎に行ってください。

PTOスリーブを点検・潤滑し、オイルシールと両方のウォーターシールを交換する。（オイルシールまたは両ウォーターシールおよびPTOスリーブの表面に漏れや損傷がないか点検してください。（両ウォーターシール間の）グリース室を潤滑します。（900 ACEエンジン）

5年に一度、または走行300時間ごと
(いずれか早い方)

クーラントの交換

メンテナンスの手順

注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。船体の警告ラベルの情報については、ウォータークラフトの警告ラベルのサブセクションをご参照ください。

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

警告

ロック用部品（ロッキングタブ、セルフロッキング締め付け具など）の取り外しが必要な場合は、常に新しいものと交換してください。

注記 エンジンコンパートメントやビルジ内に物体、ウエス、工具などを入れたままにしないでください。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

XPS 4ストローク合成ブレンドオイル (P/N 293 600 121)を使用します。

（推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合は、5W40または10W40のAPIサービスSJ、SL、SMまたはSN合成オイルを使用してください）。

エンジンオイルレベル

注記 オイルレベルは頻繁にチェックし、必要に応じて補充してください。入れ過ぎないでください。不適切なオイルレベルの状態ではエンジンを動作した場合、エンジンへの重度な損害を起こす可能性があります。

注意 エンジンコンパートメント内の多くの部品は、極めて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

オイルレベルの点検は水上でも、またはウォータークラフトを水から上げた状態でもかまいません。

水切れ

注記 ウォータークラフトは水平でなければなりません。

注意 ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、熱交換器がたいへん熱くなります。火傷の恐れがありますので、熱交換器には触れないでください。

1. トレーラー曳船用ポール等で上げて、ウォータークラフトのバンパーレールが水平になるように傾きを調整します。
2. エキゾーストシステムのフラッシングコネクターに散水用ホースをつないでください。このセクションのエキゾーストシステムを参照して、手順に従ってください。

注意

- エキゾーストシステムに水を供給しないでエンジンをかけることは決してしないでください。エキゾーストシステムの冷却を失敗すると、重大な損傷を与える可能性があります。
- エンジンを2分間以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライブラインシールが冷却されないためです。また、極端な熱さはエンジンを損傷させます。
- 3. エンジンが既に通常の作動状態にある場合は、**30秒間**アイドルさせた後でエンジンを止めてください。
- 4. オイルがエンジン内で留まるまで最低でも30秒待ってください。

水上または陸上にある場合

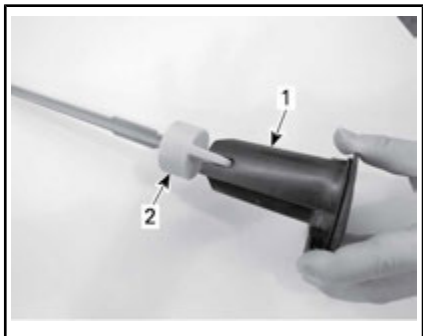
5. 量を確認するには、ウォータークラフトの右側の後部にあるアクセスカバーを左に回して取り外します。



代表例

1. 右アクセスカバー
6. オイルレベルゲージを外してを引き抜き、オイルを拭き取ってください。

注：右アクセスカバーの内側には、オイルレベルゲージを外すのを容易にするエキステンションが搭載されています。



1. 右アクセスカバー-エキステンション側
2. ディップスティック
7. オイルレベルゲージを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。
8. もう一度オイルレベルゲージを外して、オイルレベルを読み取ってください。MAXとMINのマークの間にあるはずです。



1. 最大
2. 最小
3. 動作範囲
9. 適正なレベルになるまでオイルを補給してください。

注：入れ過ぎないでください。

オイルを補給するには：

- オイルネック部分にある開口にじょうごを入れます。
- 推奨オイルを適切なレベルまで給油します。

注：エンジンに給油するたびに、このセクションで説明された手順を完全に必ず再実行してください。この手順を守らないと、正しいオイルレベルを知ることができません。

10. オイルレベルゲージおよび右アクセスカバーを適切に再度取り付けます。

エンジンのオイル交換とオイルフィルター交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人により実施してください。

エンジンクーラント

推奨エンジンクーラント

BRP推奨品	クーラント
フィンランド、ノルウェー、スウェーデン	ロングライフアンチフリーズ (F) (P/N 619 590 204)
その他のすべての国	ロングライフアンチフリーズ (P/N 219 702 685)
代替品あるいは推奨品が入手できない場合	蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水 50%、不凍液 50%)

【注記】 内燃機関であるアルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドおよびグレードの不凍液を使ってください。冷却システムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドまたはグレードの異なる不凍液を混ぜないでください。

エンジン冷却液レベル



警告

クーラントレベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが熱いときに、クーラントをクーリングシステムに注ぎ足してはなりません。

【注意】 エンジンコンパートメント内の多くの部品は、極めて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

リザーバータンクにアクセスするには、左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



左アクセスカバー

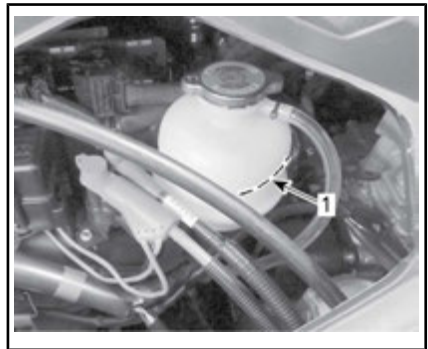
1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。

リザーバータンクのキャップを探します。



1. リザーバータンクのキャップ

ウォータークラフトが水平の状態およびエンジンが冷たい状態でCOLD（冷たい）レベルのマークを超えないで見える程度まで冷却液を足します。



1. COLDレベルマーク

注：ウォータークラフトは水上に浮かんでいるときは、水平になります。トレーラーに載っているときは、トレーラー曳航用ポール等で上げて、バンパーレールが水平になるように傾きを調整します。

必要に応じて、冷却液レベルがマークの間に来るようにブリックス冷却液を補充します。こぼさないように、じょうごを使ってください。入れ過ぎないでください。

リザーバータンクのキャップを適切に再度取り付けて締め付け、取り外しとは逆の手順で左アクセスカバーを再度取り付けて、ノブを反時計回りに1/4回転させてノブをロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。

注：頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

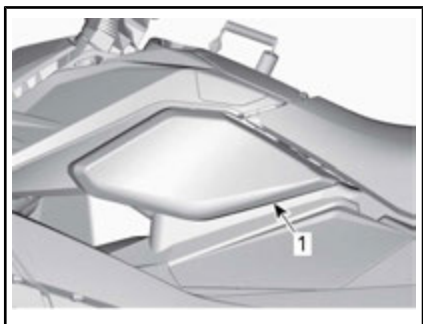
エンジンクーラントの交換

冷却液の交換はSea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

ステアリングアライメント

1. 左側の膝当てを手動で外して取り外します。

注：このエリアはステアリングケーブルのアセンブリにアクセスするためだけに利用されます。このエリアを保管目的のために利用しないこと。



1. 左膝当て
2. リングをナットに対して押し上げてステアリングケーブルを外します。



外されたステアリングケーブル

1. リング
2. ナット
3. ジェットポンプノズルを真直ぐになるように位置付けます。
4. ハンドルを右に回すには、ナットを外します。
5. ハンドルを左に回すには、ナットを締め付けます。
6. ステアリングアライメントが完了した後、リングを押し下げて左膝パッドを再度取り付け、ステアリングケーブルのクリップを取り付けます。

中央組織

セントラルボディの取り外し

必要であれば、次のように中央組織を取り外します。

⚠ 警告

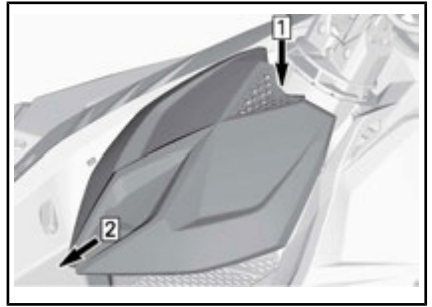
一人で中央組織を持ち上げることは絶対にしないこと。同僚の助けを借りるか、適切な持ち上げ装置を使用して持ち上げてください。一人で持ち上げると、重傷事故を招く恐れがあります。

1. 左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。
2. ステアリングコネクタを取り外します。



手順1：タブを押す

手順2：フロントに向かって滑らせる

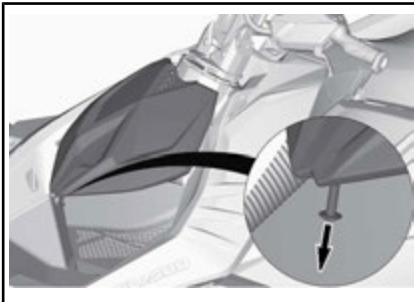
5. ステアリングケーブルの接続を外します。



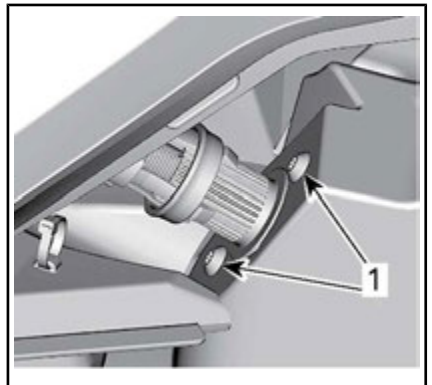
1. コネクタ
3. フロントトリム留めネジを外します。



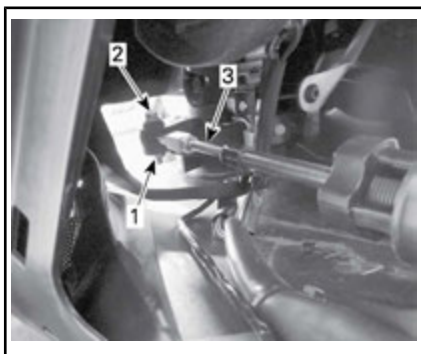
1. ステアリングケーブル留めボルト
6. ケーブルアセンブリから2つのスクリューを抜きます。



4. フロントトリムを取り外します。



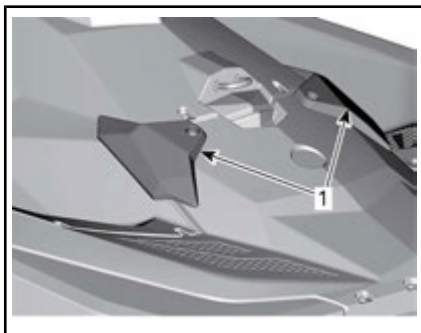
1. ケーブルアセンブリのスクリュー
7. ナット、ボルトおよびワッシャを抜き、ロッドをステアリングコラムから取り外します。



1. ナットおよびワッシャ
2. ボルト
3. ロッド

Trixxを除く全モデル

8. 車両の後部にある各リアパネルトリムから2つのセルフタッピングネジを抜きます。
9. リアパネルトリムを取り外すには、トリムをPWCの外部に目掛けてスライドさせます。



代表例

1. リアパネルトリム

Trixxモデル

10. リアフットレストを両方とも外します。

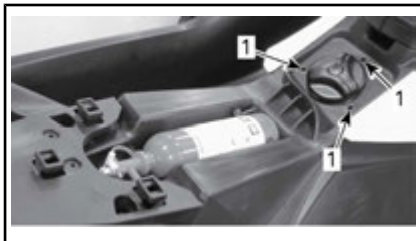


図は左側です

1. フットレスト

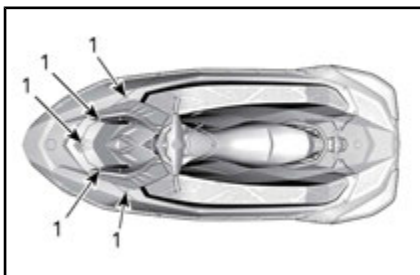
全モデル

11. シートを取り外します。機器のサブセクションに記載のシートをご参照ください。
12. 燃料キャップ付近にある3つのセルフタッピングねじを抜きます。

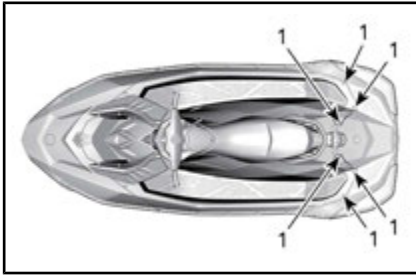


1. スクリュー
13. 中央組織の前部にある5つのセルフタッピングねじを抜きます。

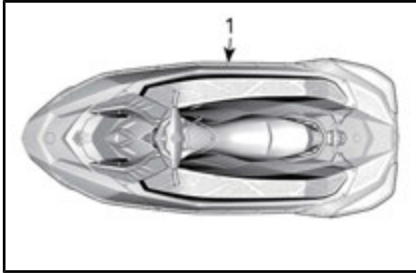
注：ストレージビンが搭載されている場合、ストレージビンをまず先に開きます。ストレージビンのサブセクションを参照してください。



1. セルフタッピングねじ
14. 中央組織の後部にある6つのセルフタッピングねじを抜きます。



1. セルフタッピングねじ
15. 中央組織の両サイドから10つのM6ナットを抜きます。

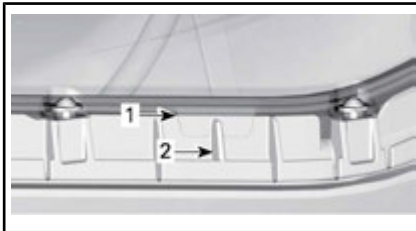


1. ナットおよびスクリュー
16. 持ち上げベルトを使って船体から中央組織を慎重に持ち上げます。

注：中央組織を持ち上げる時は、ベルトをハンドルに巻きつけます。中央組織の他の部分にベルトを巻きつけてしまうと損傷を与える恐れがあります。

セントラルボディの取り付け

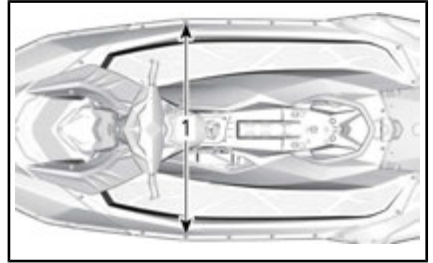
1. セントラルボディのアライメントタブを船体に適切に設置します。



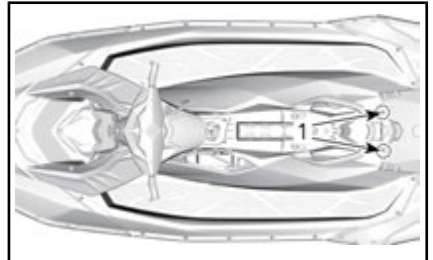
セントラルボディ - 右舷側の図

1. 中央組織の溝つきアライメントタブ
2. 船体上のリブ
2. アライメントタブの適切な位置づけが保持されるように、まず最

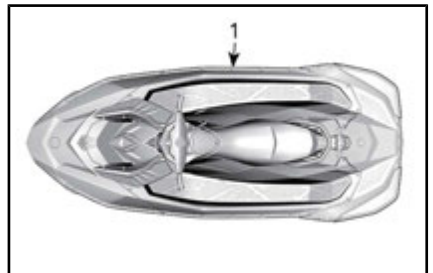
初にスクリューをアライメントタブに隣接して取り付けます。



1. アライメントタブに隣接したスクリュー
3. リアサポートにスクリューを2つ取り付けます。



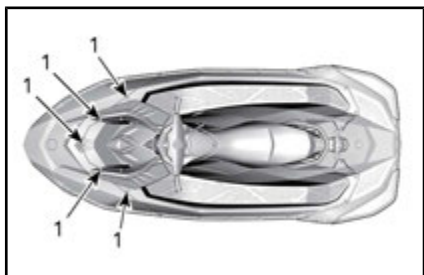
1. リアサポートのスクリュー
4. 推奨されるトルクがかかるまで、中央組織の両側にスクリューを取り付け、ナットを締め付けます。



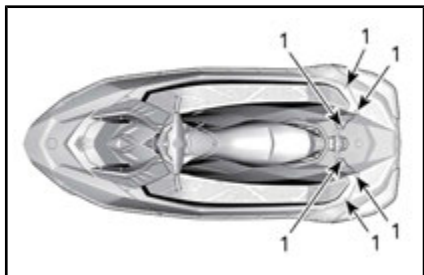
1. ナットおよびスクリュー

締め付けトルク	
M6ナット	3.5 N・m ± 0.5 N・m

5. 推奨されるトルクがかかるまで、中央組織の前部および後部にスクリューを取り付けて締め付けます。



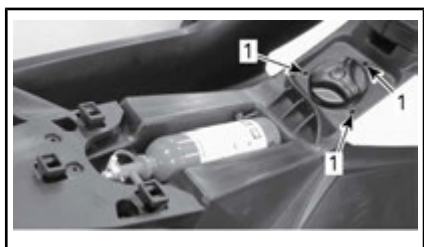
1. セルフタッピングねじ



1. セルフタッピングねじ

締め付けトルク	
セルフタッピング ねじ	5.5 N・m ± 0.5 N・m

6. 推奨されるトルクがかかるまで、燃料キャップ付近にセルフタッピングスクリューを取り付け、締め付けます。



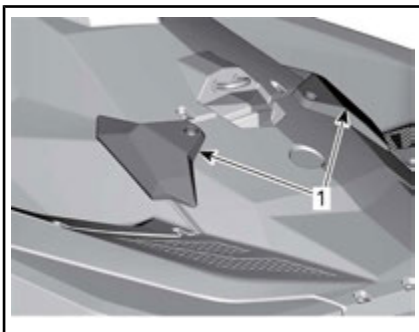
1. スクリュー

締め付けトルク	
セルフタッピング ねじ	4.5 N・m ± 0.5 N・m

7. シートを再度取り付けます。機器のサブセクションに記載のシートをご参照ください。

Trixxを除く全モデル

8. リアパネルトリムをPWC内に目掛けてスライドさせて位置づけて、セルフタッピングスクリューを再度取り付けます。推奨されるトルクがかかるまで締め付けます。



代表例

1. リアパネルトリム

Trixxモデル

9. そこにリアフットレストを取り付けます。

全モデル

締め付けトルク	
タッピングネジ (フットレスト またはリアパネ ルトリム)	5.5 N・m ± 0.5 N・m

10. ステアリングコネクターを接続します。



1. コネクター

11. 取り外しの逆の手順でステアリングケーブルを接続します。
12. 左側アクセスカバーを閉め、ノブを反時計回りに1/4回転させてロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。
13. フロントトリムを取り付けます。

締め付けトルク

フロントトリム 留めネジ	3.5 N・m ± 0.5 N・m
-----------------	-------------------

バッテリー

バッテリーアクセス

左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。

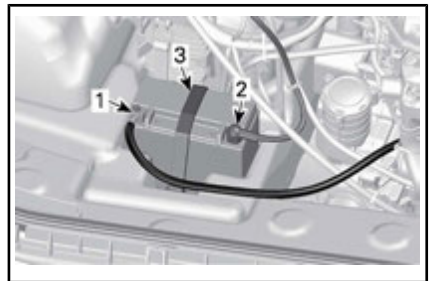
バッテリーの取り外し



警告

BLACK (-)バッテリーケーブルを必ず最初に取り外し、最後に再接続する必要があります。ウォータークラフトに取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。

1. BLACK (-)バッテリーケーブルを取り外します。
2. REDゴムプロテクターをRED (+)ケーブルターミナルから外れるようにスライドさせ、バッテリーポストから取り外します。
3. 取り外しの際は留めナットを固定するためにボルトを再度取り付けます。
4. リテーニングストラップを外します。



より分かりやすい図を作るため、中央組織は取り除かれています

1. BLACK (-)ケーブル
2. 赤の (+) ケーブル
3. リテーニングストラップ
5. 船体からバッテリーを取り外します。

注記 電解液がこぼれた場合、曹と水の溶液でこぼれた場所を直ちに拭き取り、しっかり洗浄します。



バッテリーの清掃

曹と水の溶液でバッテリーケース、ケーブルおよびバッテリーポストを清掃します。

硬めのワイヤーブラシを使用して、バッテリーケーブルターミナルおよびバッテリーポストの腐食物を取り除きます。

蓄電池上板は、バッテリー柔らかいブラシおよび任意のグリース用ソープまたは重曹溶液で清掃する必要が推奨されます。

清水で洗い流し、よく乾かします。

バッテリーの点検

バッテリーケースに割れ目、漏れまたはその他の損傷がないか視覚的に点検します。

変色、歪みまたは隆起した上部は、バッテリーがオーバーヒートまたはオーバーチャージされたことを示します。

ケースが損傷している場合、バッテリーを取替え、水と重曹の溶液でバッテリートレイおよび周辺部分をしっかりと清掃します。

▲注意 バッテリーケースが損傷していて、手でバッテリーを取り外す場合、適切な非吸収性手袋を着用してください。

マウントの安定性を確認するために、バッテリーポストを点検します。

バッテリーの保管

▲注記 バッテリーの寿命には、バッテリーの保管が影響します。保管中にバッテリーを定期的に充電すると、セルの硫酸化を防ぐことができます。バッテリーを船体に保管し続ける場合、もし凍結が起こった場合、接続部の劣化/腐食につながる恐れがありま

す。凍結が起きる環境では、放電しているバッテリーは凍結しひび割れを起こします。電解液の漏れは周囲の部品を損傷させます。保管する時は必ず船体からバッテリーを取り外し、最適な状態を保つために定期的に充電してください。

バッテリーターミナルおよびケーブルの接続部をワイヤーブラシで清掃します。

ターミナルに誘電性グリースを薄く塗布します。

曹と水の溶液でバッテリーケースを清掃します。

バッテリー清水で洗い流し、清潔なウエスでしっかり乾燥させます。

バッテリーを涼しい乾燥した場所に保管します。これにより、自己放電を減少させ、流体の蒸発を最小限に抑えます。バッテリーを結露、高湿度および直射日光から遠ざけてください。

充電頻度はバッテリーの状態および保管温度に依存します。次のテーブルに従ってバッテリーを管理します。

注：バッテリーは常に完全充電の状態です。保管する必要があります。

外気温	充電頻度
16 °C 以下	毎月
16 °C 超	2週間ごと

バッテリーの充電



警告

ウォータークラフトに取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。



警告

必ず安全ゴーグルを着用し、換気のよい場所でバッテリーを充電します。船体に取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。充電中に密封されたキャップを開けないこと。バッテリーを裸火の近くに置かないこと。

注記 バッテリーを触ってみて熱い場合、充電を停止し、続行する前に冷めるまで待ちます。

注：密封されたVRLA/バッテリーには内部安全バルブが付いています。過充電によりバッテリー内の圧力が増した場合、バルブが開いて過剰圧力を逃がし、バッテリーの損傷を防ぎます。

このサブセクションに記載のバッテリーの無負荷電圧計試験を実行し、ここで説明されている通りに進めてください。

間違いないように充電する最速かつ最も便利な方法が自動充電器です。

定電流充電器を使用する場合、以下の表を参照してバッテリーを充電してください。

12.8V以下および11.5V以上のバッテリー電圧

YTX20L-BS	時間	充電
標準充電 (推奨される)	4から9 時間	2 A
急速充電	50分	10 A

11.5V以下のバッテリー電圧

11.5 V以下の電圧のバッテリーを充電するには、特別な手順を必要とします。過度に放電されたバッテリーを充電する場合、その内部抵抗力は普通の充電速度で充電するには高すぎる可能性があります。

充電器を10Aの充電速度に設定し、約30分間充電電流を監視します。充電電流に変化がない、またはバッテリーが異常に熱くなった場合、恐らくバッテリーが完全に尽きていて、交換する必要があります。

バッテリーの取り付け

1. バッテリーをウォータークラフトに取り付け、リテーニングストラップを使って固定します。

警告

まず最初にRED (+)ケーブル、そして最後にBLACK (-)のケーブルを取り付けます。バッテリーケーブルを接続する場合、この指定された順序を必ず守ってください。

2. 赤 (+)ケーブルを接続します。
3. 黒 (-)ケーブルをあとで接続します。
4. バッテリー電極に電装品用グリースを塗布します。
5. ケーブルの取り回しおよび取り付け状態を検証します。
6. 残りの取り外されたコンポーネントを取り付けます。

バッテリーのメンテナンス

これらのバッテリーを完全の状態で使用するには、多少のメンテナンスが必要です。バッテリーの最適なパフォーマンスを実現するには、次のシンプルなチェックリストに従ってください。

- 電圧計を使って3ヶ月ごとに電圧を確認します。
- バッテリーを常に100%のフルチャージにしておきます (2時間の放置後に12.8 V以上残っている)。
- 電圧が12.5V以下に降下しているかどうか、バッテリーを点検して充電します。
- 蓄電池上板に常にほこりがない状態にしておきます。
- 必要であれば、ターミナルおよびコネクタを清掃します。
- 保管する場合、バッテリーを引き抜くか、またはバッテリーケーブルの接続を切っておきます。

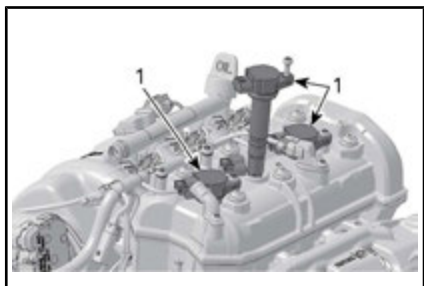
イグニッションコイル

イグニッションコイルの取り外し

1. イグニッションコイルにアクセスするには、中央組織を取り外します。中央組織の取り外しセクションを参照してください。

注記 入力コネクタを外す前にイグニッションコイルを取り外すと、ワイヤーを損傷する場合があります。損傷を防ぐため、イグニッションコイルをドライバーでこじり取らないでください。

2. イグニッションコイルコネクターを外します。
3. イグニッションコイル取り付けスクリューを取り外します。
4. イグニッションコイルを引き上げながら左右に回転させながらスパークプラグからコイルを取り外します。



1. イグニッションコイル

イグニッションコイルの取り付け

1. イグニッションコイルの取り付けスクリュー穴をバルブカバーのねじ穴に合わせます。
2. イグニッションコイルをスパークプラグに取り付け、バルブカバーに乗っかるまで一番下まで押し下げます。
3. 留めネジを取り付け、以下の仕様通りに締め付けます。

イグニッションコイル取り付けスクリュー

締め付けトルク	11 N・m
---------	--------

4. イグニッションコイルのコネクターを取り付けます。

スパークプラグ

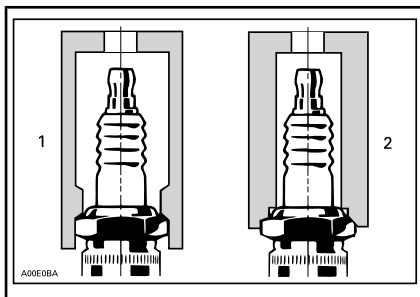
スパークプラグの取り外し

1. イグニッションコイルインプットコネクターを外します。
2. イグニッションコイルを取り外します。イグニッションコイルの取り外しを参照してください。

警告

絶対に、ワイヤリングハーネスから取り外す前にイグニッションコイルをスパークプラグから取り外さないください。ビルジ内に、可燃性の蒸気が存在する場合があります。テザーコードがエンジンカットオフスイッチに取り付けられていると、コイルのスパークプラグ側でスパークが発生して、爆発を引き起こす恐れがあります。

3. スパークプラグソケットを使用してスパークプラグを緩めます。



1. 適切なソケット
2. 不適切なソケット
4. 圧縮エアでスパークプラグ周りのシリンダーヘッド穴を清掃します。
5. スパークプラグを緩め、次にイグニッションコイルを使ってスパークプラグをスパークプラグホールから引き出します。

スパークプラグの取り付け

取り付ける前に、シリンダーヘッドやスパークプラグの接触面に汚れが付いていないことを確認します。

警告

このタイプのスパークプラグのギャップを調整しないでください。調節してしまうと、負極が弱まってしまいかねず、電極が壊れてしまい、エンジンの深刻な損傷につながる恐れがあります。

1. ワイヤフィーラーゲージを使用して、技術仕様で指定するように電極のギャップを点検します。

2. スパークプラグのねじ山にLOCTITE 767 (焼き付き防止潤滑剤) (P/N 293 800 070)を塗布し、焼き付きを防止します。
3. スパークプラグを手でシリンダーヘッドにねじ込みます。次に、認定スパークプラグソケットで、スパークプラグを時計方向へ指定トルクまで締め付けます。

スパークプラグ	トルク
NGK CR8EB (または同等)	13 N・m ± 1 N・m

4. イグニッションコイルを取り付けます。イグニッションコイルの取り付けを参照してください。

中央組織の取り付けのセクションを参照し、中央組織を再度取り付けます。

エキゾーストシステム

エキゾーストシステムの洗浄

真水によるエキゾーストシステムの洗浄は、水に含まれる塩分やその他の化学物質による腐食効果を中和するために必要不可欠です。また、これによってウォータージャケットおよび/またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

洗浄作業は、その日はもうウォータークラフトを使用しないと思われるとき、またはウォータークラフトを長期間にわたって保管するときに実施してください。

警告

この作業は換気のよい場所で行ってください。

次の手順に従ってください：

推進システムのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後XPSループコーティング剤または同等品を塗布してください。

注意 ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、熱交換器がたいへん熱くなります。火傷の恐れがありますので、熱交換器には触れないでください。

ウォータークラフトの後部（船尾の左舷）に位置するコネクターに散水用ホースをつなぎます。この場合、水栓は開けないでください。

注記 必ずエンジンを起動してから、水栓を開けてください。さもないと、水がエンジン内に入ってしまいます。



より明確な表示のために、ジェットノズルは省略されています

1. フラッシングコネクターの位置(任意のホースアダプターが表示されています)

注：オプションのクイックコネクトホースアダプターおよびホース金具を使用できます (P/N 295 100 555)。エンジンの洗浄には、ホースピンチャーは必要ありません。

洗浄を行うには、まずエンジンをかけてから、その後ただちに水栓を開けてください。

注意 エンジンコンパートメント内の多くの部品は、極めて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンが動作している間は、電子系の部品や推進システムのコンポーネントに触れないでください。

注記 まだエンジンが冷えていない場合は洗浄を行わないでください。必ずエンジンを始動してから、水栓を開けてください。オーバーヒートを防ぐため、エンジンがかかったらすぐに水栓を開けてください。

エンジンをアイドル速度で90秒起動させます。

注記 ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾーストシステムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

洗浄している間、ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認してくだ

さい。水が出て来ない場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

水栓を閉じ、エンジンを5,000RPMで5秒間走らせ、エンジンを止めます。

注記 必ず水栓を開めてから、エンジンを止めてください。さもないと、水がエンジン内に入ってしまう。

注記 洗浄作業を終えたら、クイックコネクトアダプターを取り外してください（使用した場合）。

熱交換器およびウォーターインテークグレート

熱交換器およびウォーターインテークグレートの点検

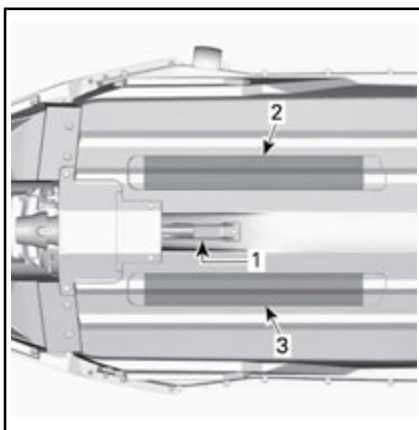
熱交換器とジェットポンプのウォーターインテークグレートに割れ目やその他の損傷がないか点検します。損傷した部品の修理や交換については、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。



警告

インテークグレートを点検する場合は、必ず前もってテザーコードをエンジンカットオフスイッチから取り外してください。

注：PWCの流体力が影響されないために対称性を保つために、船体の左側に強化プレートが貼付されています。

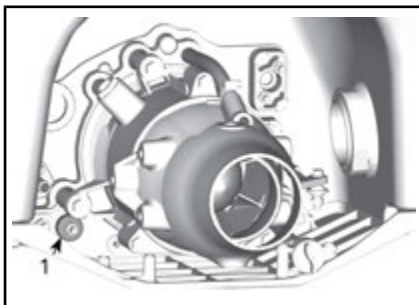


1. ウォーターインテーク
2. 熱交換機
3. 強化プレート

犠牲陽極

犠牲陽極の点検

磨耗を確認します。半分以上磨耗している場合は、陽極を交換してください。



1. 犠牲陽極の位置

犠牲陽極の取り外し

犠牲陽極の留めナットをゆるめ、陽極を取り外してください。

犠牲陽極の取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

締め付けトルク

8 N・m

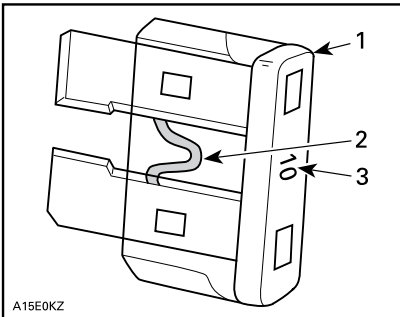
ヒューズ

ヒューズの取り外しと取り付け

ヒューズの取り外しがしやすいように、ヒューズボックス内にあるヒューズリムーバー/インスローラーを使用します。

ヒューズの点検

電気系に問題が生じたときはヒューズを点検してください。ヒューズが溶けている場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。



1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認
3. 定格アンペア値

警告

本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。重大な損傷の原因になることがあります。ヒューズが溶けた場合は、再始動をする前に問題の原因を特定して、修理を行ってください。修理についてはSea-Doo認定ディーラーに問い合わせてください。

ヒューズの位置

すべてのヒューズは、単一のヒューズボックスの中にあります。

ヒューズボックスにアクセスするには、左側アクセスカバーのノブを反時計回りに1/4回転させ、カバーを引き出して後部を外し、後方にスライドさせて取り外します。

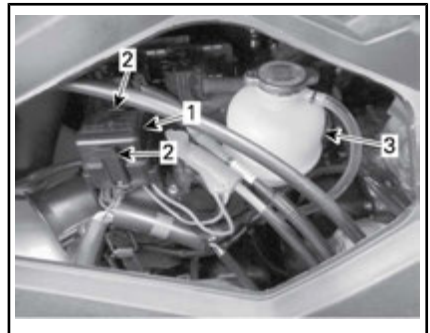


左アクセスカバー

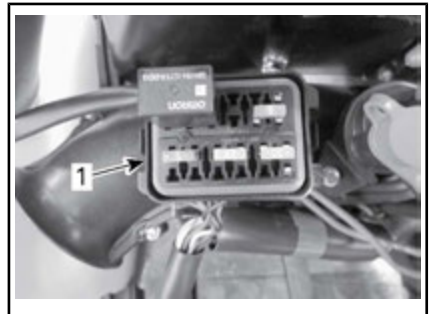
1. ロックするには、ノブを時計回りに1/4回転します。

ヒューズボックスはリザーバータンクの左にあります。

ヒューズボックスのカバーを取り外すには、ヒューズボックスの両側のロックングタブをつまんだままで取り外します。



1. ヒューズボックスカバー
2. ロックングタブ
3. リザーバータンク



通常の例 - 取り外されたヒューズボックスカバー

1. ヒューズボックス

注：ヒューズの定格と場所は、ヒューズボックスカバーに図示されています。

ヒューズボックスカバーおよび左アクセスカバーを再度取り付けるには、取り外しの逆の手順を行い、ノブを反時計回りに1/4回転させてノブをロックします。



左アクセスカバー

1. ロックするには、ノブを反時計回りに1/4回転させます。

ヒューズの説明

ヒューズ	定格	説明
1	10 A	ECM、クラスター、スターターソレノイド、OTAS（装備されている場合）およびCAPS
2	5 A	エンジンのスタート/ストップボタン
3	15 A	バッテリー
4	30 A	充電
5	30 A	iBR

ウォータークラフトのお手入れ

ウォータークラフトは毎日水中から出してください。

使用後のお手入れ

エキゾーストシステムの洗浄

ウォータークラフトを塩水や汚れた水で使用した場合、エキゾーストシステムは毎日洗浄しなければなりません。

メンテナンスの手順を参照してください。

泥水や塩水で使用した場合の追加の手入れ

ウォータークラフトを泥水や特に塩水で使用した場合は、ウォータークラフトとそのコンポーネントを保護するため、さらに追加の手入れを行う必要があります。

ウォータークラフトのビルジ部分を真水で洗い流してください。

ビルジ部分を洗うために高圧洗浄器を使用しないでください。**低水圧だけを使用してください（例、散水用ホース）。**

高圧の水は電気系統や機械系統の損傷につながる可能性があります。

⚠ 注意 メンテナンス作業を行う前に、十分にエンジンの熱を冷ましてください。

注記 次のような適切な手入れを行わないと：ウォータークラフトを塩水で使用した場合、ウォータークラフトのすすぎ、エキゾーストシステムの洗浄、防蝕処理などを行わないと、ウォータークラフトとそのコンポーネントの損傷につながります。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。

ウォータークラフトの清掃

ボディと船体

時々、船体および様々なコンポーネントを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗ってください。エンジンおよび/または船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。汚れた表面は、織り目加工されたプラスチックを傷つけないXPS多目的クリーナー（P/N 219 701 709）（または同等品）で清掃できます。

注記 強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトン、またはXPS SPRAY CLEANER（スプレークリーナー）とPOLISH（研磨用）（P/N 219 701 706）など、その他の強い化学物質または石油タイプのクリーナーは、織り目加工されたプラスチックを損傷するため、プラスチック部品を清掃する場合は絶対に使用しないこと。

シートの染みは、ビニールや金属の表面に安全なBRP HEAVY DUTY CLEANER（強力クリーナー）（P/N 293 110 001）または同等のクリーナーで取り除くことができます。

注記 プラスチック部品には絶対にBRP HEAVY DUTY CLEANER（強力クリーナー）（P/N 293 110 001）を使用しないこと。この製品は織り目加工されたプラスチックを傷つけます。

⚠ 警告

表面がつるつるになり、乗船者がウォータークラフトから落ちるかもしれないので、濡れたグリップフロアボードエリアやシートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けしないでください。

環境を守るため、燃料、オイル、洗浄用溶剤などを水路に流さないでください。

保管、シーズン前の準備

保管



警告

燃料とオイルは可燃性です。定期点検チャートでも指定されているように、燃料システムの機能の点検は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人にご依頼ください。

Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人によるウォータークラフトの整備を受けることを推奨していますが、次のような作業は最小限の工具で自分で実施できます。

注：このセクションで説明されている通りの順番で以下の作業を実行してください。

注記 保管中はエンジンをかけないでください。

推進システム

ジェットポンプの清掃

ジェットポンプのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後でXPSループコーティング剤 (P/N 293 600 016) または同等品を塗布してください。



警告

推進システムのコンポーネントの清掃を行う場合は、予期せずエンジンを始動してしまわないように、必ずテザーコードをエンジンカットオフスイッチから取り外してください。この操作を行う場合、必ずエンジンを停止してください。

ジェットポンプの点検

ジェットポンプに水が入った場合、インペラーのカバーを取り外してチェックします。その場合、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

燃料システム

燃料システムの保護

XPS FUEL STABILIZER (XPSガソリン安定化剤) (P/N 413 408 601) (または同等品) を燃料タンクに注入すると、ガソリンの劣化や燃料システムのゴム質の堆積を防止できます。正しい使い方

については、安定化剤のメーカーの使用上の注意に従ってください。

注記 燃料システムを良好な状態で維持するために、保管時には燃料安定剤を追加することを強く推奨いたします。燃料システムのコンポーネントをニス状の堆積物から保護するため、ガソリン安定化剤はエンジンの潤滑を行う前に燃料タンクの上まで添加してください。

給油のセクションで説明されている通りに燃料タンクを満タンにします。燃料タンク内に水がないことを確認してください。

注記 燃料タンクに水が入ったままにすると、燃料噴射装置の内部に重大な損傷が発生する恐れがあります。

エンジンおよびエキゾーストシステム

エキゾーストシステムの洗浄

メンテナンスの手順のセクションで説明されている手順を実行します。

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人により実施してください。

エキゾーストシステムの排水

凍結温度まで下がる場所では、エキゾーストシステムに溜まった水を取り除かなければなりません。

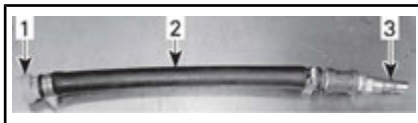
船尾の左舷側にあるフラッシングコネクタを使って、ジェットポンプから水が流れなくなるまで、379kPaの圧力がかかった空気をシステムに噴射します。



より明確な表示のために、ジェットノズルは省略されています

1. フラッシングコネクタ(任意のホースアダプターが表示されています)

排水手順を簡単にするため、次のホースを組み立てできます。



1. フラッシングコネクターアダプター (P/N 295 500 473)
2. ホース 12.7 mm
3. エアホース雄アダプター

注記 エキゾーストシステムから排水しないと、エキゾーストマニホールドに重大な損傷が起きるおそれがあります。

特殊工具を取り外します。

エンジン内部の潤滑

1. 中央組織を取り外します。メンテナンス手順のセクションに記載の中央組織の取り外しを参照してください。
2. イグニッションコイルを取り外します。メンテナンスの手順を参照してください。
3. スパークプラグを取り外します。メンテナンスの手順を参照してください。
4. スパークプラグホール内にXPS LUBE (P/N 293 600 016)または同等品をスプレーしてください。
5. 燃料が噴射したり、エンジンのクランキング中に点火したりしないように、スロットルレバーをいっぱいまで押し、ハンドルバーに対して保持します。
6. エンジンスタート/ストップボタンを押して、エンジンを数回クランクさせます。これで、シリンダーウォールにオイルを行き渡らせます。
7. スパークプラグのねじ山に少量の焼き付き防止潤滑剤を塗布し、スパークプラグを元通りエンジンに取り付けます。メンテナンスの手順を参照してください。
8. イグニッションコイルを取り付けます。メンテナンスの手順を参照してください。

エンジン冷却液のテスト

不凍液を交換しないなら、密度をテストしてください。

不凍液の交換と比重テストは、Sea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

注：不凍液の劣化を防ぐため、300時間ごと、あるいは5年ごとに不凍液を交換してください。

注記 不凍液の密度が適切でない、気温が氷点下になる場所にウォータークラフトが保管された場合、冷却システム内で液体が凍る恐れがあります。これはエンジンに重大な損傷を及ぼします。

電装システム

バッテリーの取り外しと充電

メンテナンス手順のセクションに記載のバッテリーを参照してください。

エンジンコンパートメント

エンジンコンパートメントの清掃
ビルジを温水と中性の洗剤、またはビルジクリーナーで清掃します。

洗った後はよくすすいでください。

ウォータークラフトのフロント部分を持ち上げて、ビルジドレンプラグからビルジ内の水を完全に排水してください。

防蝕処理

エンジンコンパートメント内に残っている水を拭き取ってください。

XPS LUBE (潤滑剤) (P/N 293 600 016) (または同等品)、あるいはANTICORROSION SPRAY (防錆潤滑スプレー) (P/N 219 700 304) (または同等品)のみを使ってエンジンコンパートメント内のすべての金属コンポーネントにスプレーします。スプレーしすぎないように気をつけてください。

注：保管中は、左アクセスパネルおよび右アクセスカバーを部分的に開けておく必要があります。エンジンコンパートメントの結露と、それによる腐食の可能性を防ぐことができます。

ボディと船体

ボディと船体の清掃

ボディを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗います。洗った後は真水でよくすすいでください。船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。

注記 プラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンやその他の強い化学または石油タイプのクリーナーなどは使用しないでください。

ボディと船体の修理

ボディのコンポーネントや船体に修理が必要な場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ボディと船体の保護

ウォータークラフトを屋外に保管する場合は、太陽光線と汚れがプラスチック製コンポーネントやウォータークラフトの仕上げを損なったり、ホコリが堆積したりするのを防ぐため、不透明な防水カバーで覆ってください。

注記 ウォータークラフトを水に浮かせてそのまま長期間保管しないでください。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。ウォータークラフトをビニール製の袋に入れて保管しないでください。

シーズン前の準備

定期点検チャートに従ってメンテナンスの準備を実施します。

保管する前に、**100時間または1年間ごとの**項目に記載されている全作業を必ず実施してください。

シーズン前のメンテナンス準備は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人により実施してください。

注：メーカーによる安全に関するサービスクャンペーン作業を認定Sea-Dooディーラーで受けられる場合は、同時に、ディーラーにてシーズン前メンテナンスを受けていただくようお勧めします。

警告

定期点検チャートで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れていないコンポーネントやシステムについては、定期的にSea-Doo認定ディーラーに整備を依頼されることを推奨いたします。

注記 コンポーネントの状態がよくなれないと思われる場合は、BRP純正部品または認定された同等品と交換してください。

技術情報

RF D.E.S.S. キー (該当する場合)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。

操作には、以下の二つの状態が条件です。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号：
12006A-M01456

FCC ID：2ACERM01456

私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。

無線装置指令 (RED) 2014/53/EU および
整合規格：

EN 300 330-2、EN 60950-1

エンジンの排出ガスに関する情報

製造者の義務

1999年型以降のエンジンについて、船舶用エンジンのPWC製造者は各エンジンの出力分類に応じて有害排出物レベルを測定し、アメリカ合衆国環境保護局(EPA)によるエンジンの認証を受けなければならないようになりました。これに伴い、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を表示した排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点でウォータークラフトに貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス制御情報ラベルを貼付された1999年型以降のすべてのSea-Dooウォータークラフトの整備を行う場合、各部の調整はメーカー指定の公表された仕様値以内でなければなりません。

排出ガス関連部品の交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるような方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはけません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

オーナーの義務

オーナー/オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

オーナー/オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせてはなりません。

EPA排出ガス規制

BRPが製造した1999年型以降のすべての新しいSea-Dooウォータークラフトは、ウォータークラフト用エンジンによる大気汚染防止のための規則の要求事項に適合した製品として、EPAの認証を受けています。この認証は特定の調整箇所をメーカー基準値に合わせることで条件となっています。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければなら

ず、現実的に可能な限り、設計の当初の意図に忠実な形で行われなければなりません。

以上に挙げたそれぞれの義務は概説的なものでしかなく、船舶用エンジンの有害排出物に関するEPAの要求事項に関連した規則と規制の完全な一覧ではありません。この件についてより詳しい情報をお求めの場合は、下記にお問い合わせください：

U.S. Environmental Protection Agency
Certification Division
Gasoline Engine Compliance Center
2000 Traverwood Drive
Ann Arbor MI 48105
USA

**EPAのインターネットウェブサイト：
www.epa.gov/otaq**

仕様

スパーク		
エンジン		
タイプ	Rotax 903	
モデル	Rotax 900 ACE、900 HO ACE	
	4ストローク、ダブルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、ドライサンプ、液冷	
定格出力(1)	Rotax 900 ACE	44.13 kW @ 7,000 rpm
	Rotax 900 HO ACE	66.19 kW @ 8,000 rpm
吸気	自然吸気	
シリンダー数	3	
バルブ数	12バルブ (自己調整型油圧バルブリフター)	
ボア	74 mm	
ストローク	69.7 mm	
排気量	899.31 cm ³	
圧縮比	11.0:1	
クーリングシステム		
タイプ	クローズループ冷却システム (CLCS)	
燃料システム		
燃料噴射タイプ	iTC (インテリジェントスロットルコントロール) 付きマルチポイント燃料噴射アクチュエーター付きシングルスロットルボディ (46 mm)	
電装システム		
イグニッション	IDI (誘導放電点火)	
スパークプラグ	メーカーと型式	NGK CR8EB または同等
	ギャップ	0.70 mm ~ 0.80 mm
バッテリー	12 V	

スパーク			
推進			
推進システム		Sea-Doo®ジェットポンプ	
ジェットポンプ	タイプ	軸流式、単段。 複列玉軸受け付きラージハブ	
	材質	アルミニウム	
インペラ		ステンレス	
トランスミッション	タイプ	直接駆動	
寸法			
全長	2-アップ	279 cm	
	3UP	305 cm	
幅		118 cm	
高さ		104 cm	
重量および積載量			
重量(乾燥時)	iBR付きモデル	2-アップ	190 kg
		3UP	197 kg
	iBRおよびコンビニエンスパッケージ搭載モデル	2-アップ	193 kg
		3UP	200 kg
	iBRなしのモデル	2-アップ	184 kg
		3UP	191 kg
Trixx		192 kg	
乗員数	2UPモデル		2(最大許容荷重を参照)
	3UPモデル		3(最大許容荷重を参照)
収納容量	ストレージビン(コンビニエンスパッケージ)		2.5 kg
	グローブボックス		1.6 L
	後部シート下のストレージコンパートメント(3UPモデル)		0.5 L
積載重量制限 (同乗者)	2UPモデル		160 kg
	3UPモデル		205 kg

スパーク		
燃料、オイル、冷却液		
燃料 - 燃料に関する要件を参照してください	タイプ	無鉛レギュラー
	最小オクタン価	87 AKI (RON+MON)/2
		(91 RON)
タンク容量	30 L	
エンジンオイル	タイプ	XPS 4ストローク合成ブレンドオイル (P/N 293 600 121)またはXPS 4ストローク合成オイル (P/N 293 600 112) 推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合は、5W40または10W40のAPIサービスSJ、SL、SMまたはSN合成オイルを使用してください。
	容量	2.01 L、フィルターとともにオイルを交換するとき(2)
冷却システム	冷却液タイプ	このガイドのメンテナンス手順のセクションに記載のエンジン冷却液をご参照ください。
	容量	3.0 L

(1)プロペラシャフトに関するISO 8665に基づく定格出力。

(2)エンジンオイル交換時に必要な量。ドライエンジンで必要な全量は3.4Lです。

注：BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良を行う権利を留保します。

**このページは
意図的に空白になっています**

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン

エンジンが始動しない

1. ヒューズが切れている：メイン、電気スターター、またはECM。
 - 配線を点検し、ヒューズを交換してください。
2. ECMがD.E.S.S.キーを認識しない(該当する場合)。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. バッテリーが放電している。
 - バッテリーを充電してください。バッテリーセクションに記載のバッテリーの充電を参照してください。

警告

ウォータークラフトに取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。電解液は有毒で危険です。目に入らないように、また皮膚や衣服に触れないように注意してください。

4. バッテリー接続部の腐食または緩み。アース不良。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
5. エンジンが水を吸った。
 - 特殊な手順のエンジンが水を吸い込んだときを参照してください。
6. センサーまたはECMの異常。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
7. ジェットポンプが回らない。
 - 異物を取り除いてみてください。異物が絡んだのではない場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジンがゆっくりとクランクする

1. バッテリーケーブルの接続が緩んでいる。
 - 点検/清掃/締め付けを行ってください。
2. バッテリーが放電しているか、弱っている。
 - バッテリーを充電してください。バッテリーセクションに記載のバッテリーの充電を参照してください。
3. スターターが弱っている。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

クランクは回るが、エンジンが始動しない

1. 燃料タンクに燃料が入っていない、または水が混入している。
 - 燃料を補給してください。残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を入れてください。
2. スパークプラグが汚れている、またはプラグの異常。
 - 交換してください。
3. ヒューズが切れている。
 - 配線を点検し、ヒューズを交換してください。

4. エンジンが水を吸った。
 - 特殊な手順のエンジンが水を吸い込んだときを参照してください。
5. エンジンマネージメントシステムの異常を検出（エンジンのパイロットランプがオンであることを確認）。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
6. 燃料ポンプの異常。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンのミスファイア、不安定な回転

1. スパークプラグがかぶっている／プラグの異常／電極の摩滅。
 - 交換してください。
2. 燃料：残量が少なすぎる、または燃料が古くなっているか水が混入している。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
3. イグニッションコイルの異常。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
4. インジェクターの詰まり。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
5. エンジンマネージメントシステムの異常を検出（エンジンのパイロットランプがオンであることを確認）。
 - モニタリングシステムを参照してください。

エンジンから煙が出る

1. オイルレベルが高すぎる。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
2. 水の吸い込み、冷却液の漏れ、損傷したシリンダーヘッドガスケット。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
3. エンジン内部の損傷。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンのオーバーヒート

1. エキゾーストシステムが詰まっている。
 - エキゾーストシステムを洗浄します。

2. エンジン冷却液のレベルが低すぎる。
 - メンテナンスの手順を参照してください。
3. フラッシングコネクタにクイックコネクタアダプターを取り付けたままになっている。
 - フラッシングコネクタからアダプターを外して、もう一度ウォータークラフトを走らせてみます。問題が解消されない場合は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンの加速力または出力不足

1. スポーツモードでない場合 (Rotax® 900 HO ACE)。
 - スポーツモードを選択してください。
2. ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。
 - 清掃してください。特殊な手順のセクションのジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃を参照してください。
3. インペラーの損傷またはウエアリングの磨耗。
 - 交換してください。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
4. オイルレベルが高すぎる。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
5. 点火火花が弱い。
 - エンジンのミスファイア、燃料噴射の不良、不安定な回転を参照してください。
6. エンジンマネージメントシステムの異常を検出（エンジンのパイロットランプがオンであることを確認）。
 - モニタリングシステムを参照してください。
7. インジェクターの詰まり。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
8. 燃圧が低い。
 - 認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
9. 燃料に水が混入。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
10. 水の吸入によるエンジンの損傷。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトが最高速度に達しない

1. ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。
 - 清掃してください。特殊な手順のセクションのジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃を参照してください。

2. インペラーの損傷またはウエアリングの磨耗。
 - 交換してください。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. エンジンマネージメントシステムの異常を検出（エンジンのパイロットランプがオンであることを確認）。
 - モニタリングシステムを参照してください。

IBRレバーの操作後、ウォータークラフトがニュートラルのままである（IBR付きモデル）

1. iBRゲートがニュートラルのままである。
 - アイドリングのRPMになるまでスロットルを放します。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

IBRがニュートラルポジションに戻らない（IBRインジケータライトはON）（IBR付きモデル）

1. iBRに異物が詰まっている。
 - iBRゲートやノズルの部分を清掃し、損傷がないか点検します。
2. iBRシステムの異常。
 - テザーコードを取り外して、5分待ちます。
 - エンジンのスタート/ストップボタンを押します(start/stop)。
 - テザーコードを取り付けて、故障が解消されたかiBRライトを点検します。
 - 故障が続くか、頻発するなら、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

IBRがニュートラルポジションに戻らない（IBR故障インジケータはOFF）（IBR付きモデル）

1. 操作中、スロットルレバーが完全にリリースされない。
 - スロットルレバーを完全にリリースして、iBRゲートがニュートラルに戻るか確認します。
2. リリースしても、スロットルレバーが完全に元に戻らない。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

推進システムからの異常な騒音

1. 水草や異物がインペラーに絡み付いている。
 - 清掃してください。特殊な手順のセクションのジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃を参照してください。
 - 損傷がないか点検します。
2. インペラーシャフトまたはドライブシャフトの損傷。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. ジェットポンプに水が入り、ベアリングが焼き付いた。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ビルジ内に水が入った

1. ベイラーシステムの異常。
 - Sea-Doo認定ディーラーにシステム点検を依頼してください。
2. エキゾーストシステムが漏れる。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

3. 船体およびデッキ間の周辺シールを交換する必要がある可能性があります。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
4. フロントおよび中央デッキ間のシール、および後部および中央デッキ間のシールを交換する必要がある可能性があります。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
5. ドライブシャフトのベローが損傷している、または不適切に取り付けられている。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
6. PTOウォーターシールが損傷しています。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

モニタリングシステム

EMS(エンジンマネージメントシステム)、iBR (iBR付きモデル)、iSなどの電子部品やその他の電気系コンポーネントは、システムによってモニターされています。何らかの故障が起これると、システムは多機能ゲージに視覚的メッセージを表示したり、あるいはブザー音による警告を行って、ある特定の状態が生じていることを知らせます。

軽度または一時的な故障が発生した場合、故障の原因となった状況が解消すれば、故障メッセージやブザー音は自動的に消えます。

スロットルを放してエンジン回転数がアイドリングまで落ちると、通常の作動に復帰する場合があります。これが機能しない場合、エンジンカットオフスイッチからテザーコードを取り外し、5分待ってから再始動してください。

電子システムは故障の種類によって異なる対応をします。重大な故障の場合は、エンジンが始動できなくなる場合があります。その他の場合には、エンジンは応急帰還モードで作動します(速度低下)。





何らかの故障が起こった場合は、Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」を参照してください。

故障インジケータおよびメッセージ表示の情報

多機能ゲージに表示されるインジケータラやメッセージは、特定の状態または例外が発生したことを知らせます。

多機能ゲージで故障インジケータまたは故障メッセージが表示されたら、認定 Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を実施してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国 EPA 排出ガス関連保証を参照してください。

通常の機能インジケータに関する情報については、モデルに該当する多機能ゲージのセクションを参照してください。

故障インジケータ (オン)	メッセージ表示	説明
	HIGH TEMPERATURE (エンジン高温)	エンジンまたはエキゾーストシステムのオーバーヒート
	CHECK ENGINE (エンジン点検の必要あり) または LIMP HOME MODE (応急帰還モード)	エンジン点検(メンテナンスを要する軽度の故障)または iBR システムの故障 (iBR付きモデル) または LIMP HOME MODE (重度のエンジン故障)
	LOW or HIGH BATTERY VOLTAGE (バッテリーの電圧が低い/高い)	バッテリーの電圧が低い/高い
	LOW OIL PRESSURE (エンジンの油圧が上がらない)	エンジンの油圧低下を検出
iBR付きモデル		
	IBR モジュールエラー (IBR MODULE ERROR_)	iBRシステム故障

メッセージ表示情報	
LOW OIL PRESSURE (エンジンの油圧が上がらない)	エンジンの油圧低下を検出
HIGH EXHAUST TEMPERATURE (排気温度が高い)	排気温度の上昇を検出
HIGH TEMPERATURE (エンジン高温)	エンジン温度の上昇を検出
CHECK ENGINE (エンジン点検の必要あり)	エンジンシステムの作動不良、またはメンテナンスが必要
HIGH BATTERY VOLTAGE (バッテリーの電圧が高い)	バッテリーの電圧上昇を検出
LOW BATTERY VOLTAGE (バッテリーの電圧が低い)	バッテリーの電圧下降を検出
LIMP HOME MODE (リンプホームモード)	重度の故障を検出、エンジン出力を制限
FUEL SENSOR DEFECTIVE (燃料センサー異常)	燃料レベルセンサー故障
iBRモジュールエラー (iBR付きモデル)	iBRシステムの異常
CALIBRATION CHECKSUM ERROR (校正チェックサムエラー)	クラスタのプログラミングにエラー
MAINTENANCE REQUIRED (メンテナンスが必要)	ウォータークラフトのメンテナンスが必要

注記 油圧が低下したままエンジンを回し続けると、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

ブザーのコード情報

ブザーのコード	名称
1回の長いブザー音 (エンジンカットオフスイッチへのテザーコードの取り付け中)	モデル、D.E.S.S.装備：システムの接続不良。 エンジンカットオフスイッチにテザーコードを正しく取り付け直します。
	モデル、D.E.S.S.装備：キー。 そのウォータークラフト用にプログラムされたテザーコードを使用してください。
	モデル、D.E.S.S.装備：キーの異常。 プログラムされた別のテザーコードを使用してください。
	エンジンカットオフスイッチの異常。 Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「 <i>米国EPA 排出ガス関連保証</i> 」を参照してください。
	ECMの誤作動または配線ハーネスの異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
15分間隔で 2秒間のブザー音	エンジンマネジメントシステムの異常。 Sea-Doo認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「 <i>米国EPA 排出ガス関連保証</i> 」を参照してください。
5分間隔で 2秒間のブザー音	燃料残量が少ない。 燃料の補給。問題が解消されない場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	燃料タンクのレベルセンサーまたは回路の異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ブザーのコード	名称
ブザー音が鳴り続ける	<p>エンジン冷却液の温度が高い。 エンジンのオーバーヒートを参照してください。</p>
	<p>排気温度が高過ぎ。 認定Sea-Doo、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。</p>
	<p>油圧の低下。 できるだけ早くエンジンを止めてください。オイルレベルを点検し、必要があればオイルを補給します。認定Sea-Dooディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。</p>

注記 モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

**このページは
意図的に空白になっています**

保証

BRP限定保証 – 米国およびカナダ：2017 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト

1. 適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします) * は、米国（「USA」）およびカナダの認定BRPディーラー（以下に定義します）によって販売されたモデル年 2017 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトについて、指定の期間の間、下記の条件のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合；または(2) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、変えたか、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で改変、修正した場合、または、意図された用途を変えるために改変、修正した場合。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認されない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRPディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

以下は保証対象ではありません：

- 通常の摩耗および消耗品。
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整。
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）。
- エレメントへのさび、腐食または露出から生じた損傷。
- 異物による冷却システムやジェットポンプの詰まり。
- 水の吸入による損傷。

- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、ブリストア（ふくれ）またはブリストアに起因するファイバークラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび；および
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらだけに限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この限定的保証は、(1) 最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

1. 個人使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。
2. 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。これは最小限の保障期間で、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。
3. 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証も参照してください。
4. Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトはカリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図してBRP製造されており、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はそれらの州の住民に登録されます。本書に記載された、関係するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

該当するいかなる保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によっても、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5. 保証の適用を受けるための条件

次の各条件が満たされたときにのみこの限定的保証は適用されます。

- 2017年型のSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトは、その販売が行われた国においてSea-Dooパーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されているBRPディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入される必要があります。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成し、購入者が署名しなければなりません；
- 2017 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトはBRP認定ディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- 2017Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトは、購入者が居住する国で購入する必要があります；
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から3日以内に、整備を行うBRPディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、適用される保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいSEA-DOO純正部品と交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定Sea-Dooディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

このBRP限定保証に関して議論または論争が生じた場合、BRPはまず問題をディーラーレベルで解決すべく努力されることをお勧めします。その問題についてBRP認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2016 Bombardier Recreational Products Inc. 無断複写・転載を禁じます。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社の登録商標。

米国 EPA 排出ガス関連保証

Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」) * は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気ガス制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含むこの新しいエンジンは、下記の2つの事項を満たしていることを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1045 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するように設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1045 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

すべての排出ガス関連保証の請求では、以下のリストの項目2によって要求される緊急修理を除き、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理をSea-Doo認定ディーラーに制限しています。

認証メーカーとして、BRPは下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPまたはBRP認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. 運転者になるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRPに起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、運転者による処置の有無。
4. BRPが指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRPの過失または責任であることのみ。
6. 機器を稼働させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること（ただし、BRPのメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、運転者が適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く）。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	時間	月数
排出ガス関連コンポーネント	175	30
蒸発ガス関連コンポーネント	非適用	24

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント
 - 吸気システム
 - 燃料システム
 - イグニッションシステム
 - 排気ガス再循環システム

2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
 - 後処理機器
 - クランクケースベンチレーションバルブ
 - センサー
 - 電子制御ユニット
3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
 - 燃料タンク
 - 燃料キャップ
 - 燃料管路
 - 燃料管路フィッティング
 - クランプ*
 - プレッシャーリリーフバルブ*
 - 制御バルブ*
 - 制御ソレノイド*
 - 電子制御*
 - 真空制御ダイヤフラム*
 - 制御ケーブル*
 - コントロールリンケージ*
 - パージバルブ
 - 蒸気ホース
 - 液体/蒸気セパレータ
 - カーボンキャニスター
 - キャニスターのマウンティングブラケット
 - キャブレターパージポートコネクター
4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン/機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者または運転者の不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、運転者によるエンジン/機器の酷使、または運転者による設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

* 蒸発ガス制御システム関連

* 米国国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

2017年型のSEA-DOO® パーソナルウォータークラフトに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定

カリフォルニア州では、2017 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトにはカリフォルニア大気資源委員会が規定した特別な環境ラベルを貼ります。ラベルには、1、2、3、4 スターがあります。パーソナル・ウォータークラフトの品質表示票にはスター等級システムの意味が説明されています。

スターラベルは、クリーンな船舶用エンジンを意味します

クリーンな船舶用エンジンの記号：



F18L3CQ

クリーンな空気と水

より健康的なライフスタイルと環境。

燃料節約

燃料節約従来の気化2ストロークエンジンと比べてガソリンとオイルの燃焼を30 - 40パーセント減らし、資金と資源を節約します。

排気ガス保証の延長

消費者が心配なく操業できるよう保護します。

1スター - 低排出

1スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2001年排気物質基準を満たしていることを示します。この基準を満たすエンジンは、従来の気化2ストロークエンジンより排気物質を75%削減します。これらのエンジンは、船舶用エンジンのU.S. EPAの2006基準と同等です。

2スター - 超低排出

2スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2004年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を20%削減します。

3スター - 極超低排出

3スターラベルは、エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2008年排気物質基準または船尾と船内船舶用エンジン2003年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を65%削減します。

4 スター – スーパー極超低排出

4スターラベルは、エンジンが大気資源委員会の船尾と船内船舶用エンジン2012年排気物質基準を満たしていることを示します。パーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジンもこれらの基準に準拠します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター 低排出エンジンより排気物質を90%削減します。

詳細： クリーンなウォータークラフト。-詳細は次の通りです。
1 800 END-SMOG
www.arb.ca.gov

排出ガス制御保証権利と義務

カリフォルニア大気資源委員会、ニューヨーク州環境保護局、およびBombardier Recreational Products Inc. (BRP) は、2017年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御システム保証について説明いたします。カリフォルニア州およびニューヨーク州では、新規のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備しなければなりません。BRPは、貴方のパーソナル・ウォータークラフトを酷使、不注意、不適切なメンテナンスがない限り下記の期間パーソナル・ウォータークラフトのエンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバータ等の部分が含まれます。またホース、ベルト、コネクタ、その他の排出関連のアクセサリーが含まれます。

保証可能な条件が存在する場合、BRPは、BRP認定ディーラーによってなされる場合に限り、診断、部品代および工賃を含めて、貴方のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを無償で修理します。

製造業者の限定補償範囲

この排出ガス保証は、カリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図してBRPによって認証そして製造された2017年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトに適用され、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に登録されます。Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフト用のBRP限定保証条件は、必要な変更を加えたこれらのモデルに適用可能です。2017Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御パーツに関して、最初に購入した消費者に納入された日から4年間または250使用時間のうちどちらか先に訪れた保証時期を選択してください。しかし、時間に基づく保証適用は適切な時間メーターまたは同等品を装備したパーソナル・ウォータークラフトにのみ可能です。エンジンの排出関連の部品が異常な場合、保証の元にBRPが修理または交換します。

**保証される2017年型のSea-Doo® パーソナルウォータークラフトの部品
は以下の通りです。**

アイドルバイパスバルブ	エアインテークアダプター
スロットルポジションセンサー	スパークプラグ
吸気マニホールド気圧センサー	イグニッションコイル
吸気マニホールド気温センサー	エアボックス
エンジン温度センサー	インテークおよびエキゾーストバルブおよびシール
ノックセンサー	インテークマニホールド
エンジンコントロールモジュール ECM	クランクケースベンチレーションバルブ
スロットルボディ	スロットルボディシール
フューエルレール	吸気マニホールドシール
燃料インジェクター	配線ハーネスとコネクタ
燃圧レギュレータ	燃料フィルター
燃料ポンプ	スーパーチャージャー

排出ガス保証は、保証部分の異常によって引き起こされる他のエンジンコンポーネントの損傷に適用されます。BRPオペレーターズガイドは、パーソナル・ウォータークラフトの正しいメンテナンスと使用に関する指示を記載しています。すべての排出ガス保証部品は、『オペレーターズガイド』のメンテナンスで要求されている部品交換を予定していない限りパーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体で保証されます。

メンテナンスを必要とする、交換を予定している排出ガス保証部品は、部品の最初の交換予定日までの期間の間BRPにより保証されます。定期的な交換ではなく、通常点検を予定している排出ガス保証部品は、パーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体でBRPにより保証されます。この保証規定の条項の元で修理または交換された排出ガス保証部品は、本来の部品の保証期間の残りの間BRPにより保証されます。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

メンテナンスの受け入れと記録は、パーソナル・ウォータークラフトの次の各所有者に移譲されます。

所有者の保証責任

2017 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトのオーナーとして、『オペレーターズガイド』に記載された要求されているメンテナンスを実施する責任があります。パーソナル・ウォータークラフトのエンジンに関する全受領書を保持することをBRPは推奨しますが、受領書の紛失またはすべての予定メンテナンスの不履行だけを理由にしてBRPは保証適用を拒否できません。

Sea-Doo®パーソナル・ウォータークラフトのオーナーとして、BRPが酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変によりパーソナル・ウォータークラフトのエンジンまたは部品に対する保証適用を拒否できることに留意してください。

問題が発生した場合、エンジンをBRP認定ディーラーにできるだけ早く見せます。保証修理は、30日を超えない合理的な長さの期間内に完了します。

保証の権利と責任、または最寄の BRP 認定ディーラーの名前と場所に関して質問がある場合、Consumer Assistance Center までお問い合わせください (1 715 848-4957)。

BRP国際限定保証：2017 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします) * は、米国、カナダ、欧州経済地域（「EEA」）の加盟国（欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される）、独立国家共同体（ウクライナ、トルクメニスタンを含む）の加盟国（「CIS」）、およびトルコ以外の地域に Sea-Doo パーソナルウォータークラフトを供給するために BRP 認定ディストリビューター/ディーラー（以下「Sea-Doo ディストリビューター/ディーラー」とします）によって販売された 2017 年型の SEA-DOO パーソナル・ウォータークラフト（以下「パーソナルウォータークラフト」とします）について、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1) パーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合；または(2) パーソナル・ウォータークラフトを、変えたか、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で変更、修正した場合、(3) または、パーソナルウォータークラフトの意図された用途を変えるために変更、修正した場合。

2. 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

Sea-Dooのディストリビューター/ディーラーまたはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および損耗による部品交換。
- 限定ではないが、チューンアップ、調整、オイル、潤滑とクーラント交換、スパークプラグ交換、ウォーターポンプ等を含む定期メンテナンスが必要な部品と整備。
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。
- 合理的な判断によって製品と互換性がない、あるいはその操作、性能や耐久性に悪影響を与えると判断される、部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品またはアクセサリの使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行う Sea-Doo 認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷。

- 誤用、誤用、乱用、過失、不適切な操作、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 外部の損害、事故、浸水、火災、水または異物の吸い込み、窃盗、破壊行為またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）。
- エLEMENTの錆、腐食または露出から生じた損傷。
- 異物による冷却システムやジェットポンプの詰まりから生じた損傷。
- ゲルコート仕上げの外見的な損傷、水膨れ、癬痕化、ひび割れなどの外装のゲルコート仕上げの損傷、水膨れ、ひび割れ、クモの巣、または髪の毛状の割れ目に起因するファイバークラスの層間剥離、および
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、交通費、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失、またはメンテナンス作業に関わる作業停止時間による収入および時間の損失を含むがそれらにのみ限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この限定的保証は、(1) 最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する12ヵ月間。
2. 連続する4ヶ月間の商業利用には、これは最小限の保障期間で、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争消費者法) によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重大故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重大故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 2017年モデルSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国においてSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されているSea-Dooディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものを意味します。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 2017 Sea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトはSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません。
- 2017年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うSea-Dooディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをSea-Dooディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいBRP純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるもして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が移譲された場合は、この保証も同時に移譲され、BRPまたはSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移譲に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Sea-Dooのディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定Sea-Dooディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスはボンバルディア エレクリエーションナルプロダクツまたは子会社が行います。

© 2016 Bombardier Recreational Products Inc. 無断複写・転載を禁じます。

® Bombardier Recreational Products Inc.の登録商標です。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルク向け BRP 限定保証：2017 SEA-DOO® パーソナルウォータークラフト

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします) * は、米欧州経済地域 (「EEA」) の加盟国 (欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体 (ウクライナ、トルクメニスタンを含む) の加盟国 (「CIS」)、およびトルコの地域に、Sea-Doo パーソナルウォータークラフトを供給するために BRP 認定ディストリビューター/ディーラー (以下「Sea-Doo ディストリビューター/ディーラー」とします) によって販売された 2017 年型の SEA-DOO パーソナル・ウォータークラフト (以下「パーソナルウォータークラフト」とします) について、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1) パーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合；または(2) パーソナル・ウォータークラフトを、変えたか、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で改変、修正した場合、(3) または、パーソナルウォータークラフトの意図された用途を変えるために改変、修正した場合。

2. 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Sea-Doo のディストリビューター/ディーラーまたはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および損耗による部品交換。
- 限定ではないが、チューンアップ、調整、オイル、潤滑とクーラント交換、スパークプラグ交換、ウォーターポンプ等を含む定期メンテナンスが必要な部品と整備。
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 合理的な判断によって製品と互換性がない、あるいはその操作、性能や耐久性に悪影響を与えると判断される、部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品またはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷。
- 誤用、誤用、乱用、過失、不適切な操作、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷。
- 外部の損害、事故、浸水、火災、水または異物の吸い込み、窃盗、破壊行為またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）。
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷。
- 異物による冷却システムやジェットポンプの詰まりから生じた損傷。
- ギルコート仕上げの外見的な損傷、水膨れ、癬痕、ひび割れなどの外装のギルコート仕上げの損傷、水膨れ、ひび割れ、クモの巣、または髪の毛状の割れ目に起因するファイバーグラスの層間剥離、および
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、交通費、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失、またはメンテナンス作業に関わる作業停止時間による収入および時間の損失を含むがそれらだけに限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この限定的保証は、(1) 最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する24ヵ月間。
2. 業務用使用の場合は連続する4ヶ月。

保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 2017年モデルSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国においてSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されているSea-Dooディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものを意味します。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 2017 Sea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトはSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません。

- 2017年のSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトは、EEA域内ではEEA居住者、CIS域内ではCIS居住者、およびトルコではトルク居住者によって購入されなければなりません。さらに、
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から 2 ヶ月以内に、整備を行うSea-Dooディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをSea-Dooディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいSea-Doo純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Doo/パーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、およびCIS居住者がCIS外でサービスが必要とする場合、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が移譲された場合は、この保証も同時に移譲され、BRPまたはSea-Doo認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移譲に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Sea-Dooのディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定Sea-Dooディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

フランスのみに適用する追加利用規約

次の諸条項はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約に適合する製品を納品し、納品時に認められる瑕疵の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常の用途に適合していること。さらに、該当する場合：
 - ・ 製品が販売者の説明に合致し、サンプルまたは模型により購入者に説明された品質を有していること；
 - ・ 製品が、広告やラベルを含む、販売者、見本の製造業者の公的発表により購入者が合理的に期待する品質を有していること；または
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

不適合に関する訴訟は、納品から2年間と定められています。販売者は、製品に購入者の使用目的を満足できなくなるほどの潜在的な欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていればより安価で購入していた可能性がある場合、その潜在的欠陥に対する保証の責任を負います。そのような潜在的欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータについて相談、訂正する、あるいはダイレクトマーケティング用の宛先人リストからの削除を希望される場合は、BRPまでご連絡ください。

Eメール： **privacyofficer@brp.com**

郵便： BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt, QC
Canada
J0E 2L0

お客様窓口

www.brp.com

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

Circuito de la Productividad #111
Parque Industrial Guadalajara
Col. Las Pintas
El Salto, Jalisco, 45690
Mexico

Av. Ferrocarril # 202
Parque Industrial Querétaro
Santa Rosa Jáuregui, Querétaro
Querétaro
C.P. 76220 México

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondeim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Formvägen 16
S-906 21 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

南米

Rodovia Anhanguera Km 104
Loteamento Techno Park
Condominio Empresarial AZTech
Avenida James Clerck Maxwell, 280 - Modulo 04
13069-380, Campinas SP
Brazil

アジア

15/F Parale Mitsui Building,8
Higashida-Cho, Kawasaki-ku
Kawasaki 210-0005
Japan
Room Dubai, level 12, Platinum Tower
233 Tai Cang Road
Xintiandi, Lu Wan District
Shanghai 200020
PR China

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合またはウォータークラフトの新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。
- **北米のみ**：1 888 272-9222に電話する。
- このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送する。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じてウォータークラフトの所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに連絡することは所有者の責任です。

盗難に遭った場合：あなたのウォータークラフトが盗まれた場合は、お住まいの地域を管轄するディストリビューターの保証部門までご連絡ください。 お客様のお名前、ご住所、電話番号、船体識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

**このページは
意図的に空白になっています**

**このページは
意図的に空白になっています**

**このページは
意図的に空白になっています**

注記：

注記：

ウォータークラフトモデル番号 _____

船体

識別番号(H.I.N.) _____

エンジン

識別番号(E.I.N.) _____

所有者 _____

氏名

番号

通り

アパート

市/郡

州

郵便番号

購入日

年

月

日

保証有効期限

年

月

日

販売時に認定Sea-Dooディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所



219 001 935_JA

オペレーターズガイド、SEA-DOO SPARKシリーズ/
日本語・日本

U/M:PC